B6FH-1281-01

パソコンの準備の後は

# FMV活用ガイド

基本・使い方・トラブル解決



FUJITSU

# 知りたいことを調べるには

まずはここから!

## パソコンの準備

買ってから、使い始める前の準備はこれでバッチリ。

さあ、パソコンを使いこなそう!

## FMV活用ガイド

基本や活用、セキュリティからトラブル解決までこれ一冊。

テレビチューナー内蔵の機種なら

## テレビを見る・録る・残すガイド

FMVでテレビを見たり録ったりして楽しむには、これ![注]

注:テレビチューナー内蔵機種のみ添付
（ただし、Microsoft®Windows®XP Media Center Edition 2004搭載機種には非添付）

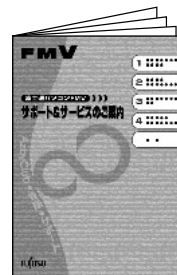
ちょっと確認!

### 基本操作クイックシート

手元にあると便利、パソコンの基本操作や文字入力の早見表！
（三つ折りになっています）

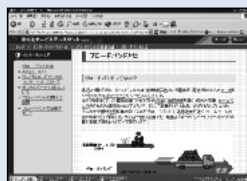
サポートについては…

### サポート&サービスのご案内

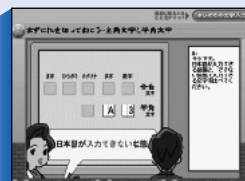
どうしても問い合わせないとわからない…。そんなときはこれ!

※この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

## マニュアルは「本」だけではありません!～パソコン画面にもマニュアルがあります～

## サービスアシスタント

### FMVの使い方

ソフトウェアもハードウェアも、
インターネットのことだって、
なんでも目的から簡単に探せるので便利!

FMVのことなら、何でもこれにおまかせ!
インターネットにあるFMVの最新情報へもここからアクセスできます。

### パソコン入門

パソコンの基本操作や文字入力を
楽しく学習したいならこれ!

※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

# 目次

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！

（サービスアシスタント）のトップ画面 →

キーワードを選ぶ

## 第 4 章　FMV のおすすめ活用法



## 第 5 章　パソコンの画面で見るマニュアルを活用する



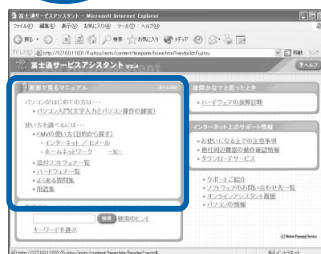
## 第 6 章　パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

## 第 7 章 トラブルかなと思ったら

## FMVのすべてがわかる「画面で見るマニュアル」

パソコンの操作方法からインターネット、ソフトウェアの使い方まで、このパソコンでわからないことがあったら「画面で見るマニュアル」で調べてみよう！

「サービスアシスタント」を起動します。

Step 2

# このマニュアルの表記について

## 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

## 製品の呼び方について

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

| 製品名称 | このマニュアルでの表記 |
|---|---|
| FMV-DESKPOWER | DESKPOWER |
| FMV-BIBLO | BIBLO |
| FMV-BIBLO LOOX | BIBLO LOOX または LOOX |
| Adobe® Reader® 6.0.1 | Adobe Reader |
| Drag'n Drop® CD+DVD | Drag'n Drop CD+DVD |
| MediaStage StandardEdition | MediaStage SE |
| Microsoft® Internet Explorer 6.0 | Internet Explorer |
| Microsoft® Office Excel 2003 | Excel 2003 |
| Microsoft® Outlook® Express | Outlook Express |
| Microsoft® Office Home Style+ | Home Style+ |
| Microsoft® Office Outlook® 2003 | Outlook 2003 |
| Microsoft® Office Personal Edition 2003 | Office Personal 2003 |
| Microsoft® Office Word 2003 | Word 2003 |
| Microsoft® Windows® XP Home Edition | Windows または Windows XP または Windows XP Home Edition |
| Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2004 | Windows または Windows XP または Media Center または Media Center Edition |
| Microsoft® Windows® XP Professional | Windows または Windows XP または Windows XP Professional |
| Microsoft® Word2003&Excel2003の虎の巻 | Word2003&Excel2003 の虎の巻 |
| Norton Internet Security™ 2004 | Norton Internet Security |
| OASYS Viewer V8.0 | OASYS ビューア |
| i- フィルター Personal Edition | i- フィルター PE |
| デリポップ Version 3.03 | デリポップ |
| ハードディスクデータ消去 for DOS | ハードディスクデータ消去 |
| FMV標準搭載用（2004年夏モデル）辞書&検索ソフトシリーズ 広辞苑第五版・現代用語の基礎知識2004年版 | 広辞苑第五版 |
| FMV標準搭載用（2004年夏モデル）辞書&検索ソフトシリーズ 広辞苑第五版・現代用語の基礎知識2004年版 | 現代用語の基礎知識 2004 年度版 |
| 富士通サービスアシスタント V2.4 | サービスアシスタント |

| 製品名称 | このマニュアルでの表記 |
|---|---|
| スーパーマルチドライブ、DVD マルチドライブ、CD- RW/DVD- ROM ドライブ、DVD- R/RW ドライブ | CD/DVD ドライブ |
| リカバリディスク & アプリケーションディスク 1、 | リカバリディスクまたはアプリケーションディスクまたはアプリケーションディスク 1 |
| アプリケーションディスク 2、アプリケーションディスク 3 | アプリケーションディスク |

## 本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

| 記号 | 意味 |
|---|---|
| 重要 | お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。 |
| POINT | 操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。 |
| ••▶ | 参照先を記述しています。 |
|  | ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。 |
|  | サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。<br>・DESKPOWER の場合<br>キーボードの「サポート」ボタンを押す<br>・BIBLO NB75/70 シリーズ、MG シリーズの場合<br>ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す<br>・BIBLO NB55/50 シリーズの場合<br>ワンタッチボタンを「Application」モードにして「Support」ボタンを押す<br>・BIBLO NH、LOOX シリーズの場合<br>画面にある FUJITSU サービスアシスタント をクリック<br>・全機種共通<br>「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック |
|  | CD-ROM/DVD-ROM を表しています。 |

## 各部名称について

次にあげる一部の各部名称は、機種により異なるため、次のように併記しています。

- インターネット（Internet）ボタン
- メール（E-mail）ボタン
- 電源（パソコン電源）ボタン
- 電源（パソコン電源）ランプ

## インターネット上の情報について

インターネット上に掲載されている情報（画像、映像、音楽、文書などのデータ）のほとんどは、著作権法により保護されています。
個人的に、あるいは家庭内で楽しむ場合を除き、権利者に無断で情報を配布することや、個人のホームページなどに掲載することはできません。

## 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Officeロゴ、Outlookは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
MacromediaおよびFlash、Shockwaveは、Macromedia,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Motiveのロゴ、Motive Communications, Inc., ServiceNet PlatformおよびMotiveの他の製品名あるいは技術用語はMotive Communications, Inc.の商標または登録商標です。
@niftyは、ニフティ株式会社の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。


画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

# カスタムメイドモデルについて

このマニュアルでは、インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」で販売されている「カスタムメイドモデル」と「WEB 専用モデル」の両方を指して「カスタムメイドモデル」と表記しています。
「WEB 専用モデル」をご購入の方は「カスタムメイドモデル」と書かれている部分をお読みください。

また、このマニュアルの本文中に「カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方」という表記があります。
これは「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」「WEB 専用モデル」をご購入の際に「ソフトウェア」の項目が「スタンダードセット」だった方が対象になります。

# サービスアシスタントの動作条件

| 動作環境 | Microsoft® Windows® XP Home Edition |
|---|---|
| | Microsoft® Windows® XP Professional |
| | Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2004 |
| | Microsoft® Internet Explorer 6.0 |
| | Microsoft® .NET Framework(JPN)v1.0.3705 |
| | Microsoft® Visual J#.NET Redistributable Package(JPN)v1.0.4205 |
| | Macromedia® Shockwave® Player 8.5 |
| | Macromedia® Flash™ Player 5.0/6.0 |
| メモリ | 128MB 以上 |
| 発色数 | 中（16 ビット）以上 |
| 解像度 | 800 × 600 ピクセル以上<br>上記の条件を満たさない解像度の場合、「画面で見るマニュアル」の「パソコン入門」はお使いになれません。 |
| DPI 設定 | 通常のサイズ（96DPI） |
| 対象機種 | 富士通サービスアシスタントが搭載されている FMV シリーズ |
| その他 | ・初回起動時のみ、Windows XP のユーザーアカウントが「コンピュータの管理者」に設定されている必要があります。<br>また、「制限ユーザー」でご利用の場合、一部ご利用いただけない機能があります。<br>・ご購入時に搭載している OS でのみ動作保証します。 |

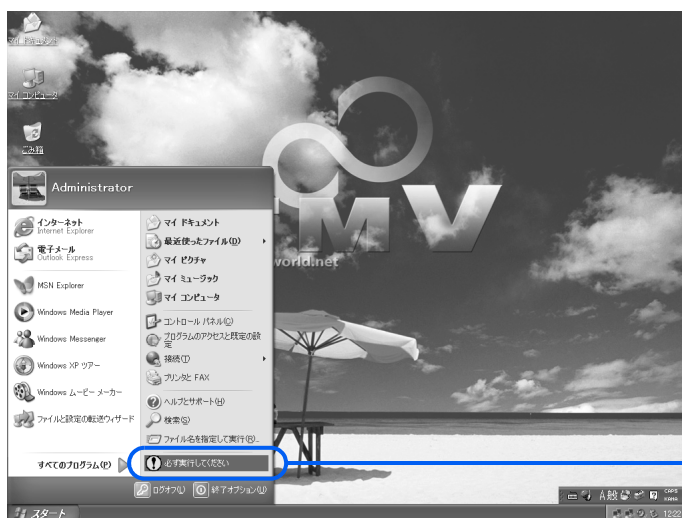
# 第１章

# 使いはじめる前に確認しよう

ここでは、1 番目に読む本「パソコンの準備」で行った設定ができていることの確認と、画面（デスクトップ）の見かたを紹介します。

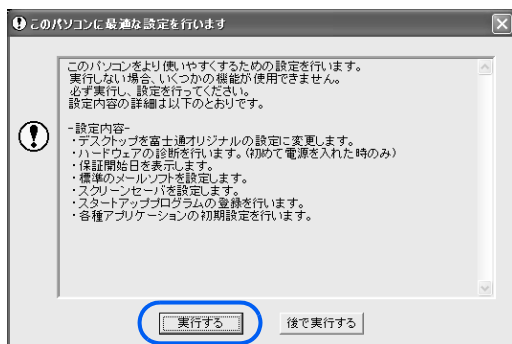
# 1 「必ず実行してください」を実行したことを確認する

「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューの中に、必ず実行してください がある場合は、次の手順に従って操作をしてください。この操作を行うと 必ず実行してください がメニューから無くなります。パソコンの初期設定を行うプログラムですので、最後まで必ず実行してください。実行しないと、パソコンが正常に動作しません。

## 1 「スタート」ボタンをクリックします。

「必ず実行してください」がある場合は、手順 2 に進んでください。
「必ず実行してください」が無い場合は、この後の手順は必要ありません。

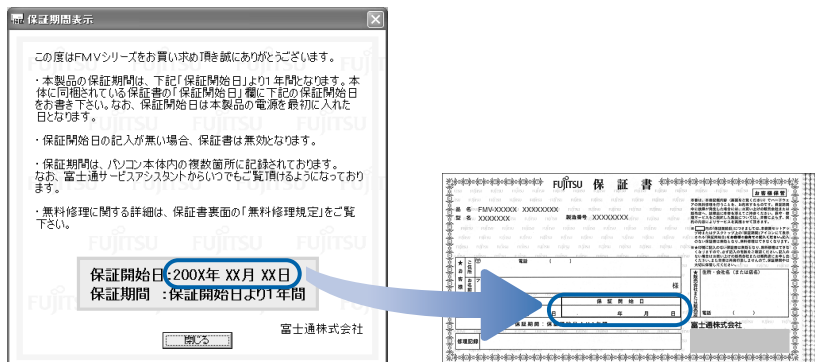
## 2 必ず実行してください をクリックします。

## 3 「実行する」をクリックします。

手順 4 の「ハードウェア診断」が始まるまで、しばらくお待ちください。

## 4 「ハードウェア診断」が始まります。そのままお待ちください。

万が一ハードウェア不良の画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

## 5 画面に表示された保証開始日を保証書に書き写し、「閉じる」をクリックします。

保証書は梱包箱に貼り付けられています。保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります。なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります。保証書は大切に保管してください。

## 6 「もう一度保証期間の表示画面に戻りますか？」というメッセージが表示されたら、「いいえ」をクリックします。

## 7 「このパソコンに最適な設定を行います」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

画面が暗くなり、再び表示されます（再起動します）。

以上でパソコンの初期設定が完了しました。

# 2 ユーザー登録はお済みですか？

ユーザー登録とは、FMV のユーザーとしてお客様の情報、およびご購入された FMV の機種情報を弊社に登録していただくことです。
『パソコンの準備』の手順の途中でユーザー登録を済ませていない方は、「サポート＆サービスのご案内」をご覧になり、ユーザー登録をお済ませください。

## ユーザー登録をするとご利用になれるサービス

ユーザー登録をすると、自動的に「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub（アズビィクラブ）」の会員としても登録され、次のようなサービスをご利用いただけます。
AzbyClub とは、お客様に FMV を快適にご利用いただくための会員組織です。入会金、年会費は無料です（2 年目以降も無料）。

### ■FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ

お客様がお使いのパソコンに関する最新情報や、活用情報が満載です。また、会員向けのショッピングサービスやお得なキャンペーン情報もご紹介します。
http://azby.fmworld.net/

### ■技術相談窓口 Azby テクニカルセンター

AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。電話や E メールによるサポートをご利用いただけます。サポートツール「サービスアシスタント」、紙のマニュアル、AzbyClub ホームページで確認しても、問題が解決できない場合、技術相談を受けられます。

### ■サービスアシスタント

サポートツール「サービスアシスタント」で、インターネット上の最新の製品情報を検索できるサービスや、サポート担当者とメッセージ交換できる、オンラインアシスタント機能をご利用いただけます。

### ■AzbyClub メール配信サービス

お客様がお持ちのメールアドレスを AzbyClub に登録していただくと、お役立ち情報満載の「AzbyClub メール配信サービス」をご利用いただけます。

### ■AzbyClub ポイントサービス

AzbyClub 会員専用のポイントサービスです。AzbyClub ホームページや WEB MART でご利用いただけます。

### ■AzbyClub カード

ユーザー登録番号（AzbyClub 会員番号）が刻印された、お得な特典いっぱいのカードです。入会費・年会費ともに無料です。

# パソコンの画面上でユーザー登録する

パソコンの画面上でユーザー登録を行う方法には、次の２種類があります。
ユーザー登録をする方法については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

## ■ホームページからのユーザー登録

インターネットの FMV ユーザー登録専用のホームページからユーザー登録を行います。
インターネットに接続できる環境が必要です。

## ■専用プログラムによるユーザー登録

「FMV オンラインユーザー登録」というユーザー登録専用プログラムでユーザー登録を行います。
電話回線を使って通信します。

**ユーザー登録番号やパスワードを忘れてしまったら**

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページでユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行ができます。
ユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行の方法については、『サポート＆サービスのご案内』→「FMV ユーザー登録をする」→「ユーザー登録情報を変更するには（機種情報追加や住所変更など）」をご覧ください。

# 3 インターネットの設定はお済みですか？

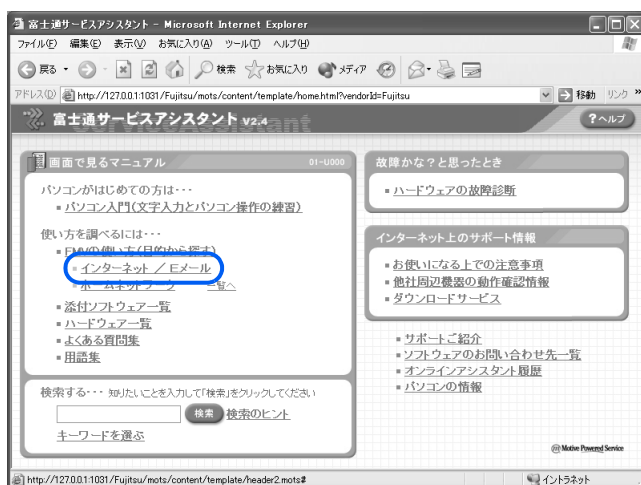
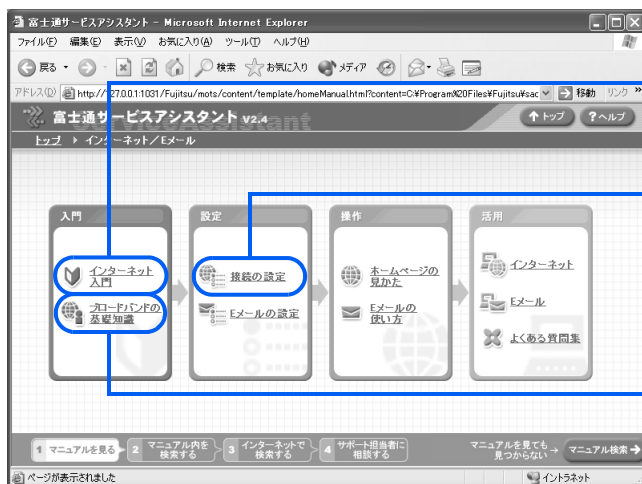
インターネットを楽しむためにはインターネットの設定が必要です。まだ設定を済ませていない方は、設定しましょう。

## インターネットの設定方法を調べる

「画面で見るマニュアル」の「インターネット／Eメール」には、インターネットやEメールの入門から活用方法までが紹介されています。
また、設定の手順の中には、初めてインターネットに接続するときに必ず行っていただきたいセキュリティ対策も説明されています。

### 1 「サービスアシスタント」を起動します。

「サービスアシスタント」の起動方法については、「「サービスアシスタント」の起動方法」（••▶ P.80）をご覧ください。

### 2 「インターネット／Eメール」をクリックします。

## 3 見たい項目をクリックします。

## 接続方法についてはこちらもご覧ください

### ■ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの場合

ホームサーバー機能での接続方法については、『ホームサーバー機能　取扱説明書』をご覧ください。

### ■ファミリーネットワークステーション -T ／ファミリーネットワークステーションをお使いの場合

接続方法については、ファミリーネットワークステーション -T ／ファミリーネットワークステーションに添付の『ファミリーネットワークステーション -T ／ファミリーネットワークステーション　準備と設定ガイド』をご覧ください。

## プロバイダを選ぶには

インターネットを始めるには、プロバイダへの入会が必要です。
このパソコンには、プロバイダに入会するためのソフトウェアや冊子が用意されています。
プロバイダにより、サービス内容や料金はさまざまです。自分がやりたいことやライフスタイルに合ったものを選びましょう。
プロバイダに入会するためのソフトウェアについては、「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」（P.63）の手順 2 で「サインアップ」を選び、概要をご覧ください。

**POINT**

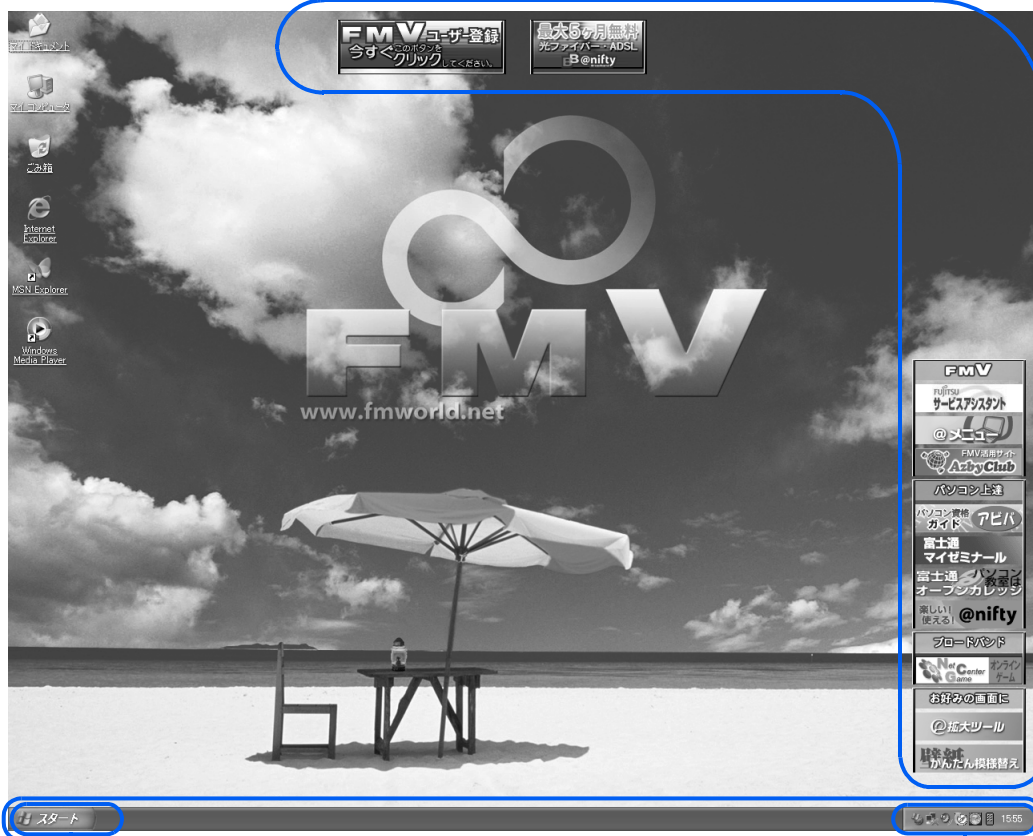
**@nifty について**

@nifty は、富士通が推奨するプロバイダです。
プロバイダがまだ決まっていないという方は、@nifty をお試しになりませんか？
料金コースやサービス、サポートについては、『@nifty 入会マニュアル』をご覧ください。

インターネットの設定が終了したら、「第 2 章　基本的な使い方を覚えよう」（P.19）をご覧になり、パソコンの操作、インターネットでホームページを見るときの操作、E メールの操作の基本を覚えましょう。

# 4 画面（デスクトップ）を確認する

ここでは、ご購入時の状態の画面を例に名称を紹介します。
次の画像のような、パソコンの画面全体のことを「デスクトップ」といいます。

**FMV ランチャー**
「画面上のボタンについて」（ ▶ P.17）をご覧ください。

**「スタート」ボタン**
クリックするとメニューが表示されます。
このメニューからソフトウェアを始めたり、パソコンの設定を変更する画面を表示させたりします。

**タスクバー**
画面下のこの部分全体を「タスクバー」といいます。
フォルダを開いたりソフトウェアを始めたりすると、ここにそれぞれの名前のボタンが表示されます。
このボタンをクリックすると、フォルダやソフトウェアの切り替えができます。

**通知領域**
パソコンの音量を調節するアイコンや、常に起動させておくソフトウェア（常駐ソフトウェアといいます）のアイコンが並んでいます。

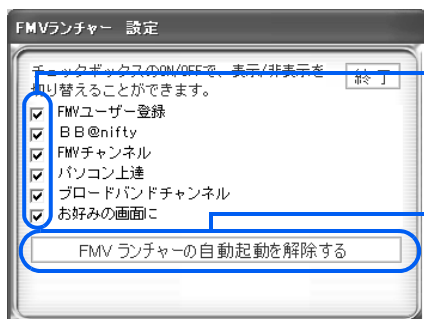
## 画面上のボタンについて

パソコンの初期設定が終了した後に表示される画面上のボタンを「FMV ランチャー」といいます。それぞれのボタンをクリックしたときにできることは、次のとおりです。

- 「ユーザー登録」ボタン
  パソコンのユーザー登録ができます。
- 「BB@nifty」ボタン
  @nifty への入会手続ができます。
- 「サービスアシスタント」ボタン
  このパソコンに関するあらゆることを調べられます。
- 「@メニュー」ボタン
  このパソコンに搭載のソフトウェアがすぐにお使いになれます。
- 「@拡大ツール」ボタン
  画面の文字やアイコンの大きさを調整できます。
- 「壁紙かんたん模様替え」ボタン
  壁紙を変更したり、デスクトップに時計を設定できます。

### FMV ランチャーの表示／非表示を切り替える

**1** **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV ランチャー（画面上のボタン)」→「FMV ランチャー設定」の順にクリックします。**

「FMV ランチャー設定」が表示されます。

☑をクリックして□にすると、ボタンが非表示になります。
非表示にしたボタンを再度表示するには、□をクリックして☑にします。

「FMV ランチャー」のすべてのボタンを常に非表示にするには、「FMV ランチャーの自動起動を解除する」をクリックして、「FMV ランチャーの自動起動を設定する」が表示されている状態にします。次にパソコンを起動したときから、画面上にボタンが表示されなくなります。
再度「FMV ランチャー」を表示するには、「FMV ランチャーの自動起動を設定する」をクリックして、「FMV ランチャーの自動起動を解除する」が表示されている状態にします。次にパソコンを起動したときから、画面上にボタンが表示されます。

**2** **「終了」をクリックします。**

「FMV ランチャー設定」が終了します。

**POINT**

**右クリックでも画面上のボタンを非表示にできます**

1. 画面上のボタンを右クリックし、「非表示」をクリックします。
2. 「ボタンを非表示にします。よろしいですか？」というメッセージで「はい」をクリックします。
   画面上のボタンが非表示になります。

## 第 2 章

# 基本的な使い方を覚えよう

このパソコンでは、パソコンの基本的な使い方を、パソコンを操作しながら覚えることができる「パソコン入門」を用意しています。パソコンを使うのが初めての方は、「パソコン入門」で操作を覚えてから、パソコンを使い始めましょう。
「パソコン入門」で基本的な使い方を覚えたあとは、インターネットでホームページを見るときの基本操作やEメールの基本操作を覚えましょう。

# 1 「パソコン入門」でパソコンの基本的な使い方を覚える

「パソコン入門」では、文字の入力方法や Windows の操作方法など、パソコンを使う上で必要なことを楽しく練習しながら覚えることができます。

## 「パソコン入門」を始める

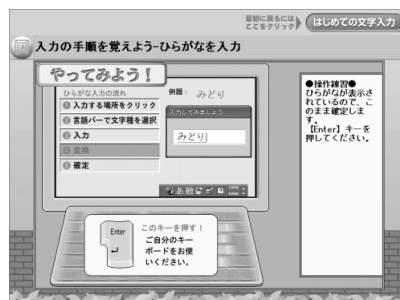
**1** **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「 パソコン入門」の順にクリックします。**

「パソコン入門」が表示されます

## 2 見たいタイトルをクリックします。

内容は次のようになっています。

正しくパソコンを使うための基礎知識や、故障かな？と思った時の対処方法などを、アニメーションを使って楽しく説明します。

キーボードを使いながら、文字入力の大切なポイントを学べます。

ゲームを楽しみながら、マウスやフラットポイント（BIBLO のみ）の操作のコツがつかめます。

パソコンの中身やソフトのしくみなどの豆知識を、アニメーションを交えて楽しく説明します。

Windows の操作はパソコンの基本中の基本。ここでは Windows の基本操作や基礎知識などを楽しく学ぶことができます。

## 「パソコン入門」を終了する

**1** **「閉じる」をクリックします。**

「パソコン入門」が終了します。

**POINT**

**『基本操作クイックシート』を活用しよう**

『基本操作クイックシート』は、「パソコン入門」で練習した基本操作の早見表です。パソコンに慣れるまでは、お手元に置いて、操作を忘れてしまったときなどにご利用ください。

# ホームページの見かたを覚える



実際にホームページを見ながら、基本的な操作を覚えましょう。
あらかじめインターネットに接続してください。
インターネットの接続方法やホームページのより詳しい操作方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／Eメール」をご覧ください。

**重要**

### はじめてインターネットに接続する前に必ずセキュリティ対策を行ってください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
はじめてインターネットに接続する前に、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」の「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」をご覧ください。

### 操作の途中で自動的に切断されることがあります

ダイヤルアップ接続の方は、電話回線の切り忘れを防ぐため、インターネットにアクセスしない時間が一定時間続くと、自動的に回線が切断される場合があります。

### ホームページは不定期に更新されている場合があります

このマニュアルで掲載しているホームページの内容は更新されている可能性があり、現在お客様の見ている内容と違っている場合があります。

## 絵や文字をクリックして行き来する

絵や文字に（マウスポインタ）を合わせてみましょう。に変わったら、そこがクリックできるところです。クリックできる主な場所は、次のとおりです。

（例）FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ

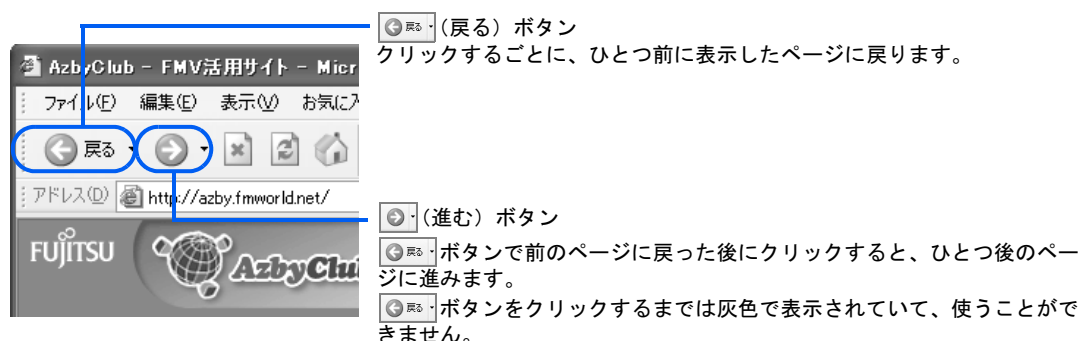
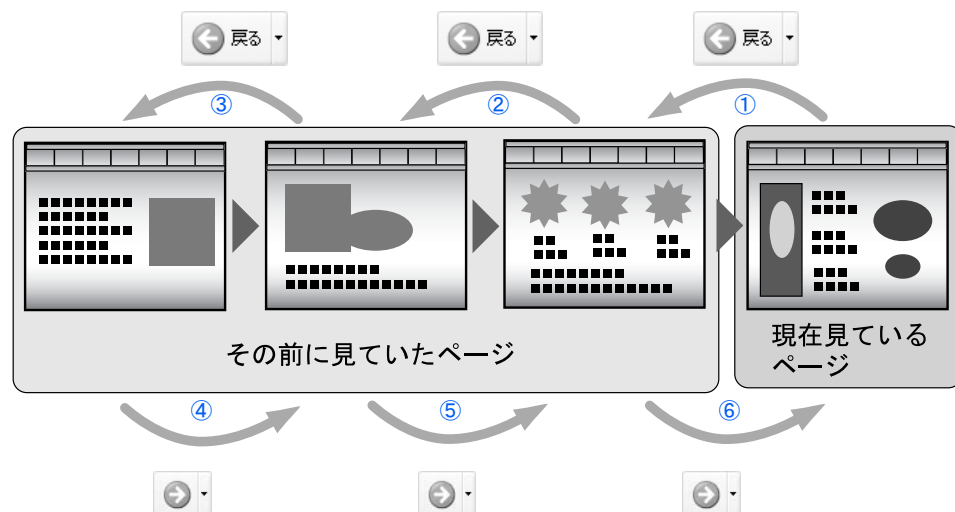
これらをクリックすると、別のページを見ることができます。このように関連付けされた機能を、「リンク」といいます。

**リンクしたページの表示について**

別のホームページにリンクした部分をクリックすると、そのウィンドウの表示がリンク先のページに変わる場合と、もう 1 つ Internet Explorer が起動し、そこにリンク先のページが表示される場合があります。

# ボタンを使って行き来する

## ひとつ前のページに戻る／進む

Internet Explorer のボタンを使うと、一度表示したホームページをすばやく行き来することができます。

ページ移動のしかたは、次のようになります。

## 一番はじめのページに戻る

インターネットに接続して最初に表示されるホームページのことを「スタートページ」といいます。スタートページに戻るにはをクリックしてください。

スタートページの変更方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／ E メール」→「よくある質問集」→「ホームページ～ワンポイント」→「最初に表示されるホームページを変えたい」をご覧ください。

# アドレスを指定してホームページを見る

雑誌やテレビ番組などで見つけたアドレス（例：http://azby.fmworld.net/）のページを見る場合には、Internet Explorer の「アドレス」欄に直接アドレスを入力し、【Enter】キーを押します。アドレスのことを「URL」とも言います。
また、「http://」を省略して「azby.fmworld.net/」だけ入力してもページが表示されます。

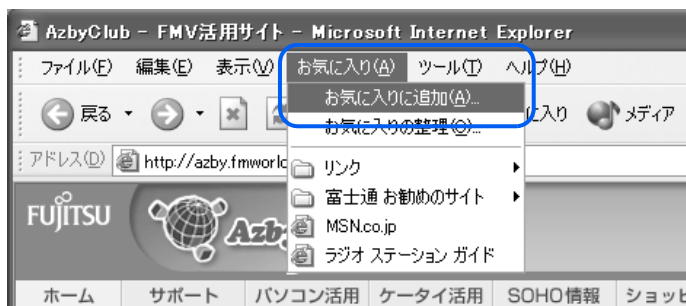
アドレスに含まれる「~（チルダ）」や「_（アンダーバー）」は、キーボードの【半角/全角】キーを押して半角文字が入力できる状態にしてから、次のようにキーを組み合わせて入力します。

「~」→【Shift】を押しながら【へ】
「_」→【Shift】を押しながら【ろ】
アドレスに含まれる記号の入力方法については、『基本操作クイックシート』→「インターネットで使う文字や記号を入力するには」もあわせてご覧ください。

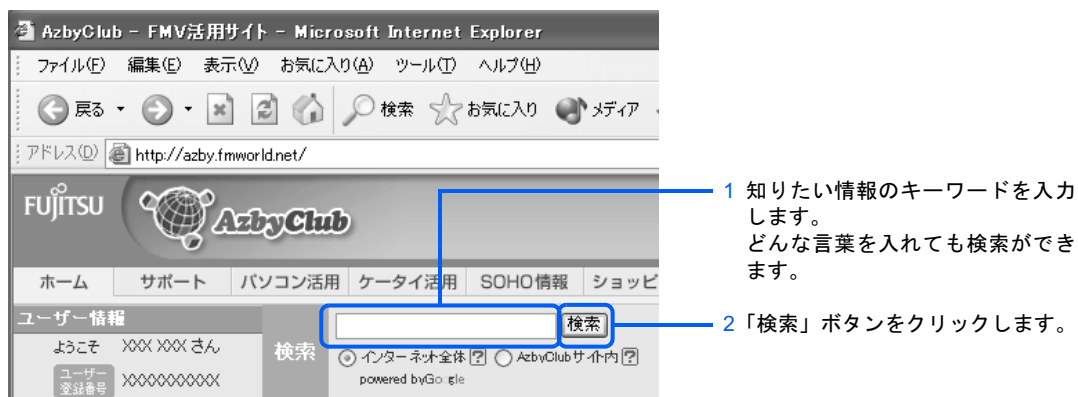
**POINT**

「次のサーバーの場所をみつけられません」などと表示された場合は、入力したアドレスが間違っているか、もしくはそのページがすでになくなっている可能性があります。

# 何度も見たいページを登録する

今見ているホームページを「お気に入り」に登録すればそのページを見るときにアドレスを入力する手間が省けます。「お気に入り」は「ブックマーク」とも言います。
【お気に入り】ボタンをクリックして、「お気に入りに追加」をクリックしても登録をすることができます。

# 検索サービスを使う

インターネットには無数のホームページがあります。そのホームページの中から知りたい情報のキーワードに関係あるホームページを無料で検索してくれる「検索サービス」があります。

例：FMV 活用サイト AzbyClub ホームページでも検索サービスを行っています。

# Internet Explorer の使い方　早見表

## メニュー

| | |
|---|---|
| ファイル | ページの保存や印刷ができます。 |
| 編集 | コピーや貼り付け、ページ内での検索などができます。 |
| お気に入り | 登録したページの一覧が表示されます。また、お気に入りのページを登録したり、登録したページの整理などができます。 |
| ツール | 「インターネットオプション」を選ぶと、スタートページや接続の設定など、インターネット環境を整えることができます。 |
| ヘルプ | 「目次とキーワード」をクリックすると、ヘルプが起動します。 |

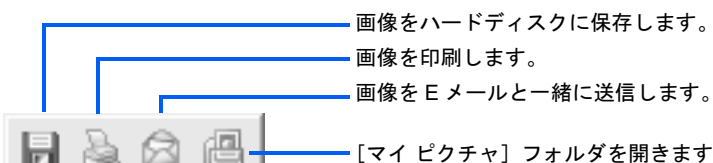
## ボタン

| | |
|---|---|
| 戻る | ひとつ前に表示したページに戻ります。（••▶ P.24） |
| | 「戻る」で前のページに戻った後で、ひとつ後のページに進みます。（••▶ P.24） |
| | 指定したホームページへのアクセスや、データの読み込みを中止します。 |
| | 表示しているページを最新の情報にします。 |
| | 接続時に一番はじめに表示されるページ（スタートページ）を表示します。 |
| お気に入り | お気に入りに登録したページの一覧を表示します。クリックするごとに一覧を表示したり、消したりすることができます。 |
| | 表示中のページを印刷します。 |

## アドレス

見たいページのアドレス（URL）を入力し、【Enter】を押すと、そのページへ簡単にジャンプすることができます。（••▶ P.25）
右端の ∨ をクリックすると、過去にアクセスしたページ（直接入力したアドレス）の一覧が表示されます。この中から見たいページをクリックすると、そのページにジャンプします。

## イメージツールバー

ホームページ上の画像にマウスポインタを合わせると表示される場合があります。イメージツールバーのアイコンをクリックすると、画像の保存や印刷ができます。

注 ： 詳しい使い方については、Internet Explorer の「ヘルプ」をご覧ください。

## FMV 活用サイト AzbyClub ホームページを使いこなそう

「AzbyClub ホームページ」では、FMV に関するサポート情報やパソコン活用情報、FMV と携帯電話を連携したケータイ活用情報、FMV をより快適に、より便利にするアイテムがご購入できるショッピングサービスのほか、毎日の生活に役立つ便利なサービスや情報などをご利用いただけます。AzbyClub の会員専用サービスをご利用いただくには、FMV ユーザー登録を行ってください。同時に AzbyClub 会員に登録されます。

FMV 活用サイト
AzbyClub ホームページ
http://azby.fmworld.net/

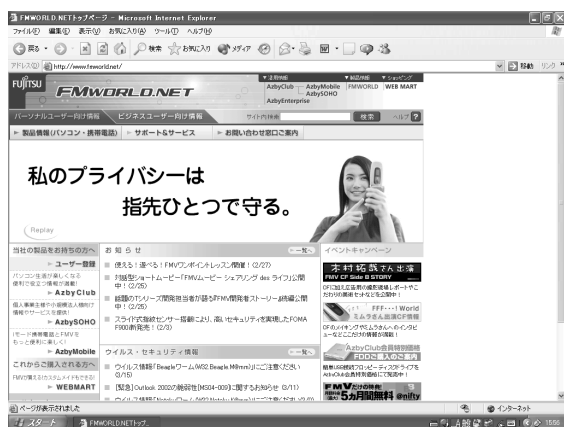
・**サポート／パソコン活用**
　パソコンの操作についての Q&A や、ダウンロードサービスなどをご提供しています。
　また、FMV をもっと使いこなすためのさまざまなコーナーをご用意。「ウイルス／セキュリティ情報」、「メール講座」、「タイピング練習コーナー」ほか、楽しく役立つコーナーがお待ちしています。

・**ショッピング（AzbyClub Selection）**
　富士通純正周辺機器のほか、デジタルカメラやプリンタなどの他社周辺機器、会員価格でご購入いただける市販の人気ソフトウェアなどをご提供しています。
　また、書籍、音楽 CD/DVD、おもちゃ販売、航空券・宿泊予約、フラワーギフトなど、お客様の生活に役立つサービスをご提供しています。

・**その他**
　壁紙ダウンロードをはじめ、アドレス帳やブリーフケース、掲示板などをお使いいただけます。

「AzbyClub」にメールアドレスを登録された方には、ご希望により、新製品情報やお得なキャンペーン情報などをお届けする「AzbyClub 通信」や、搭載ソフトウェアのアップグレード情報などをお届けする「フレッシュインフォメール」などのメール配信サービスをご利用いただけます。
ユーザー登録時にメールアドレスを登録されなかった方は、「AzbyClub ホームページ」でメールアドレスをご登録ください。登録方法については、「AzbyClub ホームページ」をご覧ください。

## FMWORLD.NET を使いこなそう

富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）では、製品情報に関するさまざまな情報を提供しています。

FMWORLD.NET
http://www.fmworld.net/

# 3 Eメールの基本操作を覚える

ここでは「Outlook 2003」および「Outlook Express」というメールソフトを使って、メールを始めるための基本操作について説明しています。
Eメールのより詳しい操作方法については（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／Eメール」をご覧ください。

2

POINT

**このパソコンには「@メール」が添付されています**

このパソコンには、「@メール」という富士通製のメールソフトが添付されています。
「@メール」は、ご購入時の設定では通常使用するメールソフトに設定されていませんが、FMV で使うときに便利な機能をいろいろ備えています。
次のような機能を使いたい場合には「@メール」をご利用ください。

・「@拡大ツール」を使って、文字を拡大して見たいとき
・ワンタッチボタンで受信した新着メールを、音声で読み上げてもらいたいとき
・メールの内容を、音声で読み上げてもらいたいとき
・「@キャプチャ」で撮った画像データをメールに添付したいとき
・「音声メモ」を使って作成した音声データをメールに添付したいとき

「@メール」を通常使用するメールソフトに設定する方法や、「@メール」の設定方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／Eメール」→「Eメールの設定」をご覧ください。

**BIBLO LOOX シリーズをお使いの方、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方が「@メール」を使用する場合**

パソコンに添付されている「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」から「@メール」をインストールしてください。インストール方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」→「FM かんたんインストール」をご覧ください。

## Outlook 2003 を使う

あらかじめ、インターネットに接続するための設定を行ってください。設定方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／Eメール」→「接続の設定」、またはご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

重 要

**はじめてインターネットに接続する前に必ずセキュリティ対策を行ってください**

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
はじめてインターネットに接続する前に、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」の「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」をご覧ください。

ご購入時は、通常使うメールソフトは「Outlook 2003」に設定されています（DESKPOWER T50H、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く）。
DESKPOWER T50H、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、通常使うメールソフトは「Outlook Express」に設定されています。「Outlook Express を使う」（P.31）に進んでください。

## Outlook 2003 の始め方

**1** **「スタート」ボタン→「電子メール」の順にクリックします。**

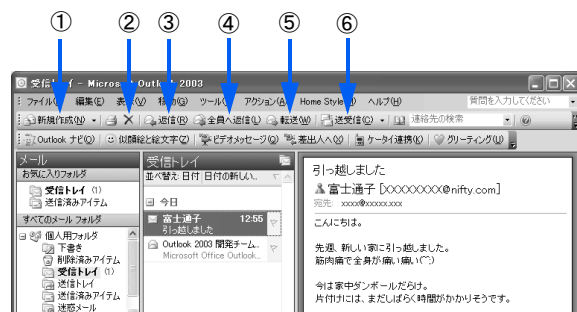
「Outlook 2003」が起動しない場合は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Microsoft Office」→「Microsoft Office Outlook 2003」の順にクリックしてください。

**2** **Outlook 2003 が起動します。**

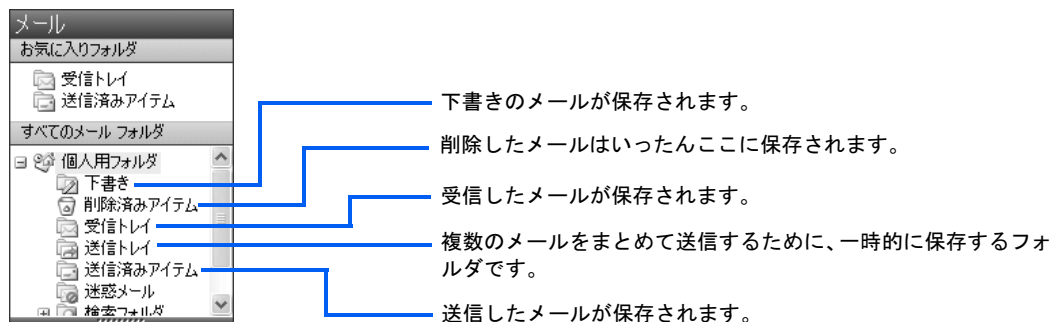
## Outlook 2003 の使い方

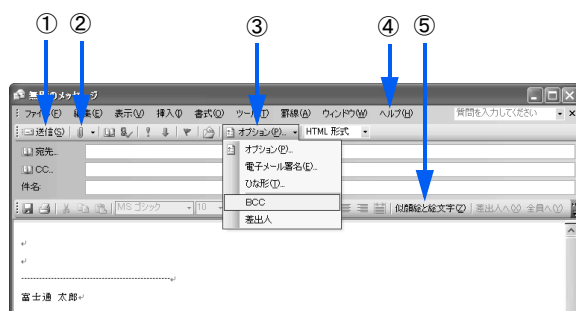
### ■Outlook 2003 の画面について

「受信トレイ」フォルダをクリックしたときの画面です。

①　②　③　④　⑤　⑥

| | |
|---|---|
| ① 新規作成(N) | 新しいメールを書くときに使います。クリックすると、「メール作成画面」（••▶ P.31）が表示されます。 |
| ② × | 受信したメールを削除するときに使います。削除したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、メールが「削除済みアイテム」フォルダに移動します。 |
| ③ 返信(R) | 受信したメールに返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。 |
| ④ 全員へ返信(L) | 受信したメールを全員に返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。 |
| ⑤ 転送(W) | 受信したメールを誰かに転送するときに使います。転送したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。 |
| ⑥ 送受信(C) | 新しいメールが来ているかどうか調べて受信するときや、「送信トレイ」フォルダに保存してあるメールを送信するときに使います。クリックするとインターネットへ接続し、送信と受信を同時に行います。 |

## ■フォルダの種類について

Outlook 2003 ウィンドウの左側（フォルダエリア）には、メールを種類ごとに分けるためのフォルダが用意されています。

## ■メール作成画面について

メールを書くときに表示される画面です。

| | |
|---|---|
| ① 送信(S) | 作成したメールを送信するときに使います。 |
| ② | メールに画像などのファイルを添付するときに使います。 |
| ③ オプション(P)... | メールの宛先に「BCC」を追加したいときなどに使います。クリックすると、宛先などの詳細な設定ができるようになります。「CC」や「BCC」については、「「CC」「BCC」について」（••▶ P.34）をご覧ください。 |
| ④ ヘルプ(H) | Outlook 2003 の詳しい使い方を知りたいときに使います。 |
| ⑤ 似顔絵と絵文字(Z) | メールの文章に絵文字などを挿入したいときに使います。 |

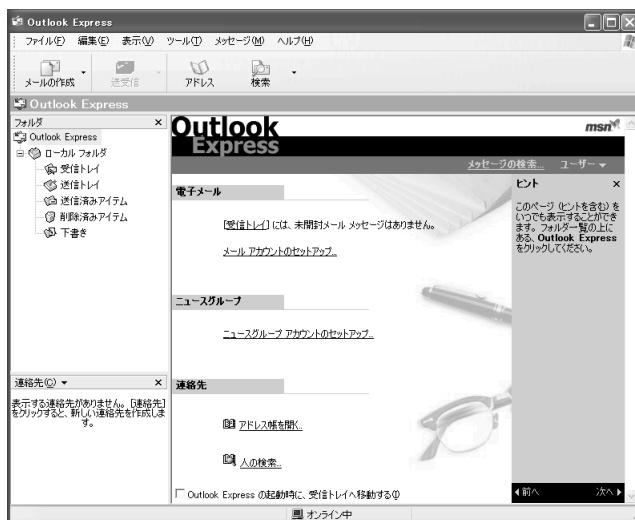
# Outlook Express を使う

DESKPOWER T50H、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、通常使うメールソフトは「Outlook Express」に設定されています。

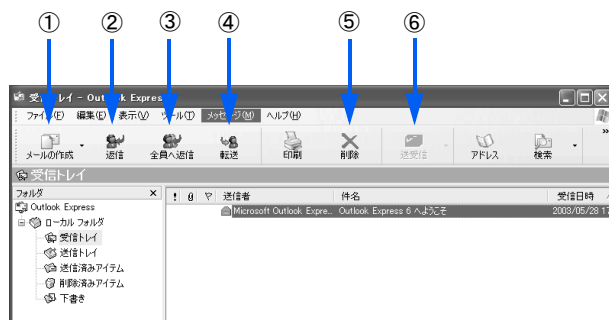
## Outlook Express の始め方

**1** **「スタート」ボタン→「電子メール」の順にクリックします。**

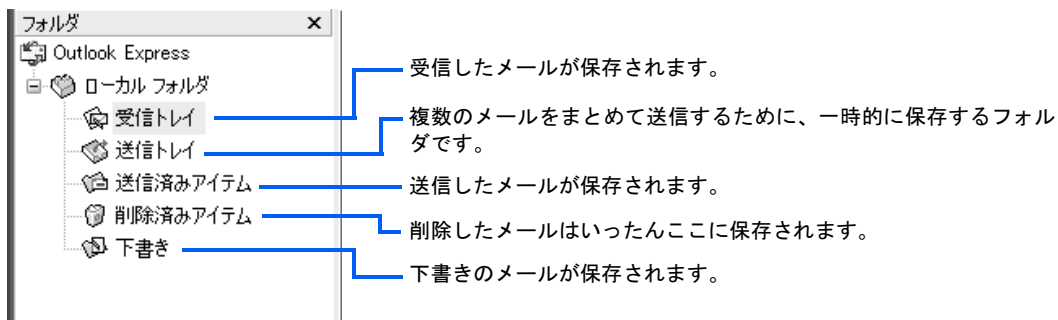
「Outlook Express」が起動しない場合は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Outlook Express」の順にクリックしてください。

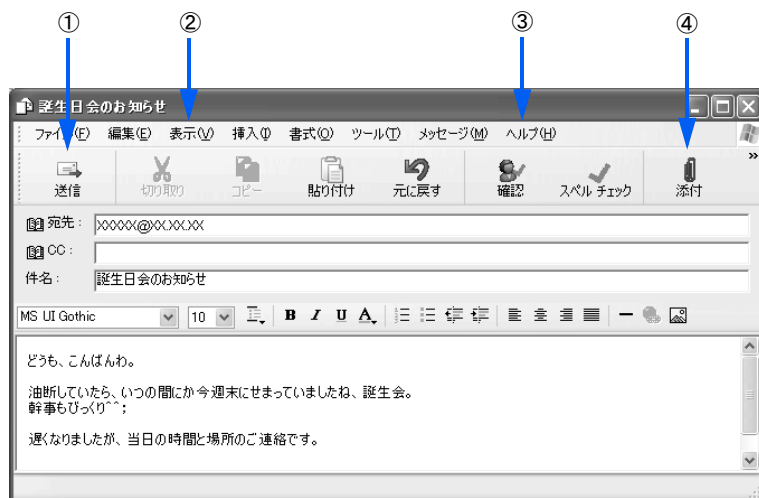
## 2 Outlook Express が起動します。

# Outlook Express の使い方

### ■Outlook Express の画面について

「受信トレイ」フォルダをクリックしたときの画面です。

| | |
|---|---|
| ①【メールの作成】 | 新しいメールを書くときに使います。クリックすると、「メール作成画面」（••▶ P.33）が表示されます。 |
| ②【返信】 | 受信したメールに返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。 |
| ③【全員へ返信】 | 受信したメールを全員に返信するときに使います。返信を出したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。 |
| ④【転送】 | 受信したメールを誰かに転送するときに使います。転送したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、「メール作成画面」が表示されます。 |
| ⑤【削除】 | 受信したメールを削除するときに使います。削除したいメールを選択してからこのボタンをクリックすると、メールが「削除済みアイテム」フォルダに移動します。 |
| ⑥【送受信】 | 新しいメールが来ているかどうか調べて受信するときや、「送信トレイ」フォルダに保存してあるメールを送信するときに使います。クリックするとインターネットへ接続し、送信と受信を同時に行います。 |

## ■フォルダの種類について

Outlook Express ウィンドウの左側（フォルダエリア）には、メールを種類ごとに分けるためのフォルダが用意されています。

## ■メール作成画面について

メールを書くときに表示される画面です。

| | |
|---|---|
| ①【送信】 | 作成したメールを送信するときに使います。 |
| ②「表示」メニュー→「すべてのヘッダー」の順にクリック | メールの宛先に「BCC」を追加したいときなどに使います。「CC」や「BCC」については、「「CC」「BCC」について」（••▶ P.34）をご覧ください。 |
| ③【ヘルプ】 | Outlook Express の詳しい使い方を知りたいときに使います。 |
| ④【添付】 | メールに画像などのファイルを添付するときに使います。 |

**Eメールお役立ち情報**

Eメールを利用するときに、次のような機能があります。その他、Eメールの便利な使い方については、(サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／Eメール」→「活用（Eメール)」をご覧ください。

■ 大切な情報をバックアップしたい

「バックアップで大切なデータを守る」（P.38）をご覧ください。

■「CC」「BCC」について

同じ内容のメールを複数の人に一度に送りたいときは、「CC」「BCC」という方法があります。

・CC（カーボンコピー）
「そのメールに直接関係はないけれど、メールの内容を知っておいてほしい」という人宛てに、写しとしてメールを送る場合に使います。
CC で送ると、メールを受け取った人は、他にそのメールを CC で受け取った人全員のアドレスがわかってしまいます。親しい仲間内なら問題ありませんが、自分のメールアドレスを他人に公開されたくない人もいますので、CC を使ってメールを送るときは注意しましょう。

・BCC（ブラインドカーボンコピー）
CC と同じく、メールの写しを送る場合に使います。BCC で送ると、他に誰が BCC でメールを受け取ったのかはわかりません。

■ HTML 形式とテキスト形式について

E メールには、「HTML 形式」と「テキスト形式」があります。
「HTML 形式」とは、文字のサイズや色を装飾したり、画像の貼り付けなどが可能なメールの形式です。
「テキスト形式」は、テキスト（文字）だけで構成されたメール形式です。
受け取ると楽しい「HTML 形式」のメールですが、送るときには注意が必要です。
相手側のメールソフトが「HTML 形式」に対応していない場合、文字化けなどを起こしてしまい、メールを読むことができません。
相手の環境がわからない場合は、どのような環境でも読むことができる「テキスト形式」にして送りましょう。
「Outlook 2003」「Outlook Express」では、「HTML 形式」と「テキスト形式」を選択することができます。
E メールを送るときは、相手の環境を考慮して、この２つを上手に使い分けましょう。
詳しくは、「Outlook 2003」「Outlook Express」のヘルプをご覧ください。

■ プレビュー機能について

「Outlook 2003」「Outlook Express」には、E メールを開いていなくても内容を表示する「プレビュー機能」があります。
便利な機能なのですが、ウイルスが添付された E メールを受信した場合、添付ファイルを開かなくても「プレビュー機能」によりウイルスに感染してしまう危険性があります。
ウイルスの感染経路の多くは E メールが原因です。特にプレビュー機能が狙われやすくなっています。メールのプレビューをしない設定にしておくことを強くお勧めします。
詳しくは、「Outlook 2003」「Outlook Express」のヘルプ、または(サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／ E メール」→「E メールの使い方」→「メールを読む」をご覧ください。

# 覚えておきたいメールのお約束

インターネットでのエチケットは「ネチケット」と呼ばれています。その中でも E メールを利用するうえで、覚えておきたい事柄、気をつけなければならないマナーがいくつかあります。

2

## 使ってはいけない文字

### ■半角カタカナ文字

インターネットでは、半角カタカナ文字は使うことができません。文字化け（入力した文字とまったく関係ない文字が表示される）してしまいます。

### ■特殊な文字や記号

①（丸付き数字）やⅥ（ローマ数字）などの特殊な文字は、相手が受け取ると文字化けして読むことができないことがあります。

## 良いメールの書き方

### ■差出人の署名を付ける

郵便の差出人署名と同じように、誰が送ったのかわかるよう、署名を付けておきましょう。

### ■わかりやすいタイトル（件名）を付ける

メールの内容がイメージできるよう、わかりやすい件名を付けましょう。

### ■改行を入れて読みやすくする

ダラダラと長い文章は読みにくいもの。適当なところで改行を入れておくと読みやすくなります。全角文字で 35 文字を目安にするといいでしょう。

### ■大きなファイルは送らない

メールを使えば、ワープロソフトで作った書類やデジタルカメラで撮った写真などのファイルも一緒に送れます。しかし、一般の電話回線（アナログ）などを使ってサイズが大きいファイルを送ると、送受信に時間がかかり、メールを受け取る人にも迷惑がかかってしまいます。

目安としてファイルのサイズが 1MB を超えるときは、メールを送る相手に事前に連絡して了解をとっておくとよいでしょう。

### ■海外へのメールに日本語は使わない

英語しか使えない海外のコンピュータでは、日本語（全角文字）は表示できません。

アルファベットも、全角文字だと日本語と同じ扱いになります。相手が日本語を使えるコンピュータかどうか気をつけてください。

# 第 3 章

# パソコンは自分自身で守ろう

お客さまのパソコンは、お客様自身の責任でウイルスや故障に備えて守っていただかなければなりません。
ここでは、大切なデータの予備を保存する「バックアップ」と、ウイルスなどからパソコンを守るセキュリティ対策について紹介します。

# 1　バックアップで大切なデータを守る

大切なデータの予備を保存しておくことを「バックアップ」と呼びます。
ここでは、バックアップ方法について説明します。
バックアップするには、このパソコンに添付の「FM かんたんバックアップ」を使う方法とファイルをコピーする方法があります。

## 大切なデータはバックアップしましょう

万が一なんらかの原因で、Windows がうまく起動しなくなってパソコンをご購入時の状態に戻さなければならなくなった場合や、大切なデータを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータは予備を保存しておくことをお勧めします。

パソコンには次のようないろいろなデータが保存できます。
- デジタルカメラの写真
- 文章、イラスト、映像
- 知人とのメール
- アドレス帳に登録したメールアドレス
- Internet Explorer のお気に入り（ホームページのアドレス集）

しかし、次のような状態になると、多くの場合、保存したデータは、もう元に戻すことはできません。
- ファイルが壊れた
- 誤って消去した
- ハードディスクが壊れた
- Windows が起動しなくなった
- ご購入時の状態に戻した

いつこのような状態になるかはわかりません。こうなったときに被害を最小限にとどめるためにも、大切なデータは日頃から定期的にバックアップを行う習慣をつけましょう。

**POINT**

**Dドライブを活用しましょう**
パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）と、Cドライブはご購入時の状態に戻りますが、Dドライブはご購入時の状態には戻さずに、データをそのまま保存することができます。作成したデータなどは、Dドライブに保存しておくのもよいでしょう。

# 「FM かんたんバックアップ」を使う

「FM かんたんバックアップ」を使うと、お客様が作成したファイルなどのバックアップや復元が簡単にできます。

## 「FM かんたんバックアップ」をお使いになる前に

### ■「FM かんたんバックアップ」ではバックアップできないファイルについて

お客様の作成したファイルがすべてバックアップされるわけではありません。「項目」欄に登録されていないソフトウェアで作成したファイルなど「FM かんたんバックアップ」でバックアップできないファイルは、必ずお客様自身でバックアップしてください。
「FM かんたんバックアップ」で保存／復元できないファイルについては、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。
「FM かんたんバックアップ」で保存される内容は、「FM かんたんバックアップ」ウィンドウの「保存」タブの「保存する内容」の一覧表で、よくご確認ください。

### ■バックアップするファイルの保存先について

データの保存先は、ご購入時は「D」ドライブに設定されています。保存先は変更しないでください。「C」、「D」以外にハードディスクドライブやリムーバブルディスクドライブが存在する場合に限り、保存先のドライブは変更できます。ただし、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻すときにハードディスクの領域を変更する場合は、ハードディスクにバックアップしないでください。ハードディスク全体のファイルが削除されてしまいます。

### ■ハードディスクの故障に備えてバックアップする場合

ハードディスクが故障したときに備えてバックアップする場合は、外付ハードディスク、MO など、このパソコンのハードディスク以外にバックアップしてください。
「FM かんたんバックアップ」を使うと、ハードディスクにバックアップしたファイルを CD/DVD に簡単にコピーすることができるので便利です。操作方法については、「「FM かんたんバックアップ」でバックアップする」（••▶ P.40）をご覧ください。

### ■複数のユーザーでパソコンをお使いの方へ

コントロールパネルの「ユーザーアカウント」で新しくユーザーを作成した場合、それぞれのユーザー名でログオンして作成したデータをバックアップできます。ただし、「制限」のユーザーがログオンして作成したデータは、バックアップできません。

### ■「FM かんたんバックアップ」を使った復元について

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップしたときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した内容や新しく作ったファイル、設定した内容はすべて消えてしまいます。十分に注意してください。

## 「FM かんたんバックアップ」でバックアップする

ワープロの文書や画像ファイルなど、ソフトウェアを使って作成したデータやインターネットの設定を次の手順でバックアップします。

重 要

**不具合が起きてからバックアップをとるときは**

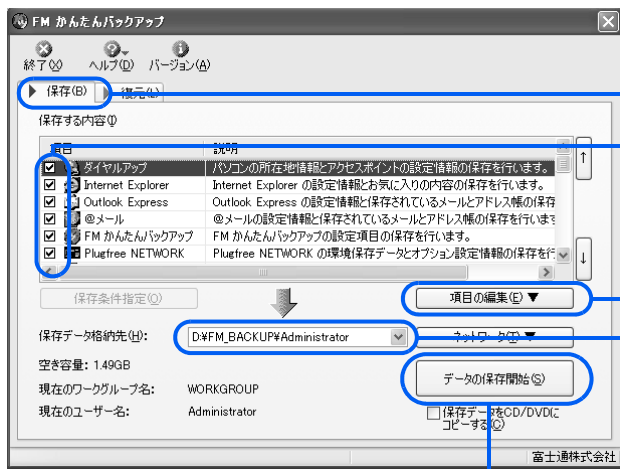
パソコンに不具合が起きてからリカバリする場合、「FM かんたんバックアップ」でバックアップをとらないでください。復元するときに、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。
ソフトウェアで作成したファイルだけをご自分でコピーしてバックアップをとってください。ファイルのコピーについては、(サービスアシスタント) のトップ画面→「よくある質問集」→「Windows の操作」→「ファイル/コピー」→「ファイルやフォルダをコピーしたい」をご覧ください。

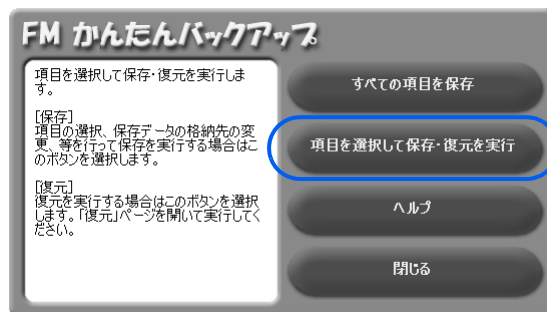
**1 起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。**

通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。
スクリーンセーバーの設定方法については、(サービスアシスタント) のトップ画面→「よくある質問集」→「画面表示」→「スクリーンセーバー」→「スクリーンセーバーを設定したい」をご覧ください。

**2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FM かんたんバックアップ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。**

「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。
DESKPOWER をお使いの方は、キーボードのバックアップボタンを押しても「FM かんたんバックアップ」を起動することができます。

**3 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。**

**4 「項目を選択して保存・復元を実行」をクリックします。**

Internet Explorer やメールソフトの設定など、すべての項目を 1 度に保存したい場合は、「すべての項目を保存」をクリックし、手順 6 に進んでください。

## 5 1～4 の手順に従って操作してください。

ハードディスクにバックアップしたデータを CD/DVD にコピーしたい場合は、「保存データを CD/DVD にコピーする」をクリックして☑にしてから「データの保存開始」をクリックしてください。その後は、画面の指示に従って操作してください。

**CD/DVD へのコピーには「Drag'n Drop CD+DVD」が必要です**

バックアップしたファイルを CD/DVD にコピーするには、「Drag'n Drop CD+DVD」というソフトウェアが必要です。「Drag'n Drop CD+DVD」は、このパソコンに添付されています。詳しくは、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。
カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、このパソコンに添付の「アプリケーションディスク 2」から「Drag'n Drop CD+DVD」をインストールしてください。

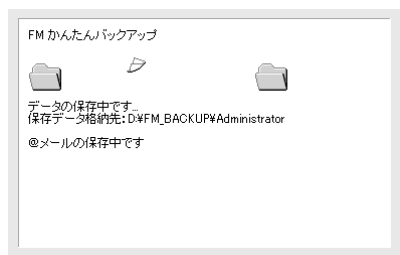
**POINT**

**「既に保存したデータが存在します」というメッセージが表示された場合**

すでにバックアップデータが存在する場合に表示されます。以前のバックアップデータを破棄し、新しくバックアップするときは、「はい」をクリックしてください。

## 6 「保存開始」ウィンドウで、「開始」をクリックします。

## 7 データの保存が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。

## 8 「保存結果」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

手順 4 で「すべての項目を保存」を選択した場合は、「FM かんたんバックアップ」が終了します。次の手順 9 は必要ありません。
手順 4 で「項目を選択して保存・復元を実行」を選択した場合は、「FM かんたんバックアップ」ウィンドウに戻ります。

## 9 「終了」をクリックします。

「FM かんたんバックアップ」が終了します。

これで、「FM かんたんバックアップ」により、ファイルがバックアップされました。

POINT

**PowerUtility を使って定期的にバックアップする**

このパソコンに添付の「PowerUtility」を使えば、指定した時間に自動的にバックアップを実行することができます。
パソコンの電源を切っていても大丈夫なので、パソコンを使っていない夜中にバックアップを実行すれば、何も操作することなく定期的なバックアップができて安心です。
PowerUtility の使い方については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」→「PowerUtility」をご覧ください。

# 「FM かんたんバックアップ」でファイルを復元する

次の手順に従って「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルを元の場所に復元します。

重 要

**ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合**

先にソフトウェアをインストールしてからファイルをコピーしてください。

**復元する前の注意（ご購入時の状態に戻す作業の場合を除く）**

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップしたときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した内容や新しく作ったファイル、設定した内容はすべて消えてしまいます。十分に注意してください。

## 1 起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。

通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。
スクリーンセーバーの設定方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「よくある質問集」→「画面表示」→「スクリーンセーバー」→「スクリーンセーバーを設定したい」をご覧ください。

## 2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FM かんたんバックアップ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。

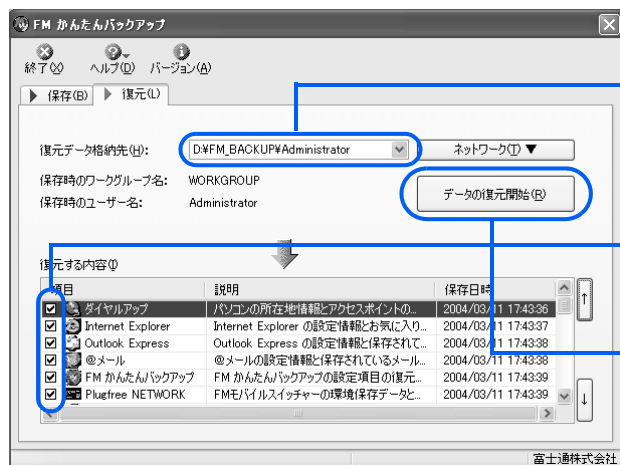
「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。
DESKPOWER をお使いの方は、キーボードのバックアップボタンを押しても「FM かんたんバックアップ」を起動することができます。

## 3 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

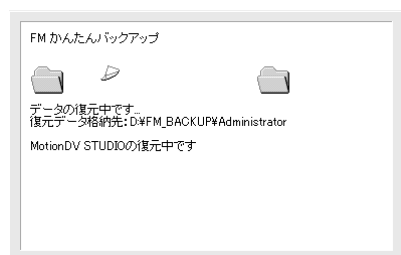
## 4 「項目を選択して保存・復元を実行」をクリックします。

## 5 「復元」タブをクリックします。

## 6 1 〜 3 の手順に従って操作してください。

CD/DVD からデータを復元する場合は、データを保存した CD/DVD をドライブにセットし、「復元データ格納先」の ▼ をクリックして CD/DVD の入ったドライブを選択してください。

## 7 「復元開始」ウィンドウで、「開始」をクリックします。

## 8 データ復元が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。

## 9 「復元結果」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

**POINT**

**「データの復元が終了しました」というメッセージが表示された場合**

「OK」をクリックしてください。
パソコンが再起動します。
この場合、手順 10 は必要ありません。

**ファイルが復元されなかった場合**

次のような原因が考えられます。

・「復元データ格納先」が間違って指定されている
　ドライブ名をバックアップのときと同じドライブに指定し直してください。

・ファイルがバックアップされていない
　バックアップしたときに、ファイルのバックアップに失敗しています。この場合、ファイルの復元はできません。

**10** **「終了」をクリックします。**

これで、「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルが元の場所に復元されました。

# ファイルをコピーしてバックアップする

ハードディスクのCドライブに保存されているファイルを、ハードディスクのDドライブ、フロッピーディスク、CD/DVDなどにコピーしてバックアップする方法です。

## ファイルをコピーする

パソコンは「ハードディスク」にさまざまなデータを保存することができます。
しかし万が一、なんらかの原因でハードディスク自体が破損をしてしまった場合には、せっかくバックアップをしたデータも復元することができなくなってしまいます。
そのような緊急の場合のためには、フロッピーディスクやCD/DVDなど、ハードディスク以外の場所に大切なデータの予備を保存しておくことをお勧めします。
また、デジタルカメラの撮影データなど容量の大きいデータは、ハードディスクのDドライブにバックアップすると、空き容量が少なくなり、その他のデータをDドライブに保存できなくなります。容量の大きいデータは、CD/DVDなどへ保存しておくことをお勧めします。

### ■Dドライブにコピーする

ファイルをコピーする方法については、(サービスアシスタント）のトップ画面→「よくある質問集」→「Windows の操作」→「ファイル／コピー」→「ファイルやフォルダをコピーしたい」をご覧ください。

### ■フロッピーディスクにコピーする

フロッピーディスクにデータをコピーする方法については、(サービスアシスタント）のトップ画面→「よくある質問集」→「ディスクドライブ」→「フロッピーディスク」をご覧ください。

### ■CD/DVDにコピーする

CD/DVD にコピーするには、このパソコンに添付の「Drag'n Drop CD+DVD」を使います。
使い方については、(サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」→「Drag'n Drop CD+DVD」をご覧ください。

## ファイルを復元する

バックアップしたときと同じように、ファイルを元の場所にコピーしてください。このとき違う場所にコピーすると、データが使用できなかったり、別途設定が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

**ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合**

先にソフトウェアをインストールしてからファイルをコピーしてください。

3

# 2 ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る

パソコンに保存されている大切なデータや個人情報などを、他人に使用されたり、破壊されたりするのを防ぐために、日頃からセキュリティ対策を心がけましょう。
ここでは、インターネットに接続したときにウイルスや不正アクセスからパソコンを守る対策として、「Windows Update」、セキュリティソフト「Norton Internet Security」、および Windows XP のインターネット接続ファイアウォールを紹介します。
セキュリティ対策には、この他にも、パスワードを設定して他人がパソコンを勝手に使用できないようにする方法やパソコンを盗難から守る方法などがあります。
このパソコンでできるセキュリティ対策については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「FMV の使い方」→「安心・サポート」をご覧ください。

**重 要**

**インターネットの設定をまだお済ませになっていない方は**

「Windows Update」を実行するには、インターネットに接続できる環境が必要です。インターネットに接続するための設定や方法については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「インターネット／E メール」、またはご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

**はじめてインターネットに接続する前に必ずセキュリティ対策を行ってください**

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
はじめてインターネットに接続する前に、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」の「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」をご覧ください。

## 「Windows Update」を実行する

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるマイクロソフト社が提供するサポート機能です。「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策（パッチをあてると言います）もされます。
こまめに実行して、ウイルス対策をしましょう。

ここでは、「Windows Update」の中の「重要な更新」をインストールする方法について説明します。

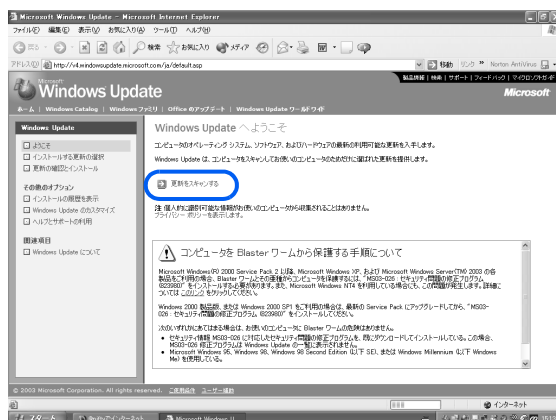
**1 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。**

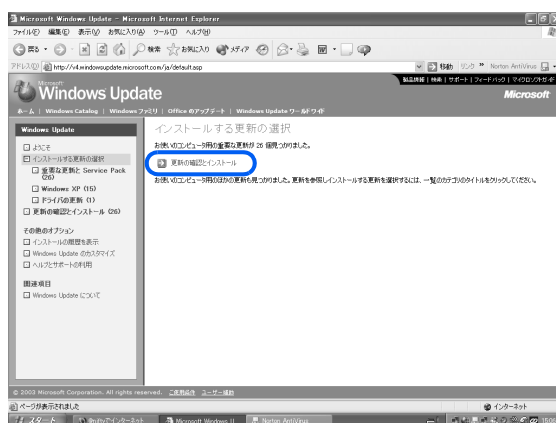
「Windows Update」の画面が表示されます。

**「セキュリティ警告」の画面が表示されたら**

初めて Windows Update を実行したときのみ表示されます。

1. 「はい」をクリックします。

## 2 「更新をスキャンする」をクリックします。

パソコンの状態を診断し、更新情報を取得します。

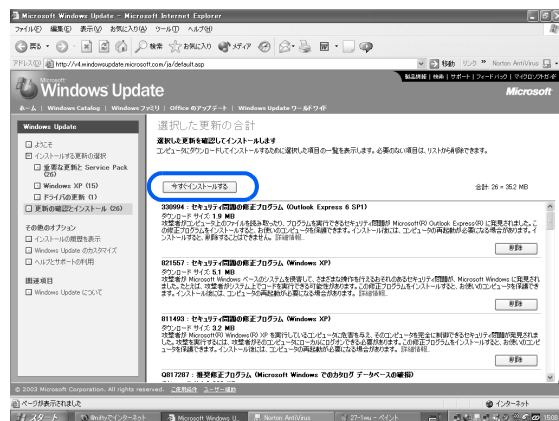
## 3 「更新の確認とインストール」をクリックします。

「重要な更新」について更新情報のリストが表示されます。

**インターネットへ情報を送信するにあたっての注意が表示されたら**

「はい」をクリックします。

## 4 内容を確認します。通常は、ここに表示された項目はすべてインストールすることをお勧めします。

どうしても適用したくない項目がある場合だけ、その項目の右にある「削除」をクリックします。

## 5 「今すぐインストールする」をクリックします。

修正プログラムがインストールされます。

**ほかの修正プログラムとは別にインストールが必要な修正プログラムがあると表示されたら**

修正プログラムの中には、同時にインストールできないものがあります。この場合は、画面の指示に従ってインストールした後、もう 1 度手順 1（→ P.46）から「Windows Update」の操作を実行します。

**修正プログラムの使用許諾契約が表示されたら**

内容を確認し、「同意します」をクリックします。

**Windows の再起動を要求する画面が表示されたら**

「OK」をクリックして再起動します。

更新が完了します。

**更新する項目について**

「Windows Update」では、「重要な更新」以外に「ドライバ」なども更新できますが、富士通製のソフトウェアに関しては「アップデートナビについて」（→ P.72）で更新できますので、そちらのご利用をお勧めします。それ以外の項目については、内容により更新が必要かどうかご判断ください。

なお、「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

## 画面右下に「新しい更新をインストールする準備ができました」と表示されたら

ご購入時の設定では、インターネットに接続すると、自動的にパソコンの状態を診断して、更新情報をお知らせします。
更新情報をお知らせするメッセージが表示されたら、次の手順に従ってインストールし、最新の状態に更新してください。

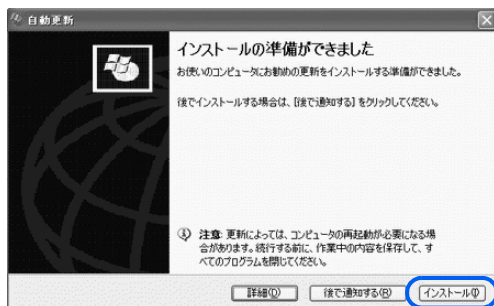
**1** **通知アイコンをクリックします。**

**2** **「インストールの準備ができました」と表示されます。**

POINT

**更新情報の詳細を知りたい場合**

1. 「詳細」をクリックします。
   「重要な更新」について更新内容が表示されます。
2. 内容を確認します。通常は、ここに表示された項目はすべてインストールすることをお勧めします。
   どうしても更新したくない項目がある場合だけ、その項目の左にある☑をクリックして、☐にします。

**3** **「インストール」をクリックします。**

更新内容がインストールされます。
インストールが完了すると、そのことを通知するメッセージが表示されます。

**4** **再起動を要求する画面が表示された場合は、「はい」をクリックして再起動します。**

**更新する項目について**

「Windows Update」では、「重要な更新」以外に「ドライバ」なども更新できますが、富士通製のソフトウェアに関しては「アップデートナビについて」（••▶ P.72）で更新できますので、そちらのご利用をお勧めします。それ以外の項目については、内容により更新が必要かどうかご判断ください。
なお、「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

## Office のアップデートについて

「Office のアップデート」は、Office 製品を最新の状態に整え、セキュリティと安定性を強化し、重要なアップデートを提供するためにマイクロソフト社が提供するサポート機能です。
「Windows Update」の画面から「Office のアップデート」を選択して実行できます。
アップデートの方法については、表示される画面に従ってください。

# セキュリティソフトを使う

このパソコンには、「Norton Internet Security」というソフトウェアが用意されています。
ここでは、「Norton Internet Security」の紹介をします。

## Norton Internet Security について

「Norton Internet Security」は、最新のウイルスやインターネットの脅威からパソコンを守るソフトウェアです。

- ウイルス定義ファイルを更新して、最新のウイルスからパソコンを守ります。
- ウイルスを検知して感染を修復します。
- パソコンを監視して不正アクセスから守ります。

### ■「Norton Internet Security」を使い始めるには

BIBLO LOOX シリーズをお使いの方、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」から「Norton Internet Security」をインストールしてください。
インストール方法については、(サービスアシスタント) のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」→「FM かんたんインストール」をご覧ください。

**1** **「@メニュー」を起動します。**

起動方法については、「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」（••▶ P.63）をご覧ください。

## 2 上部の「名前でさがす」をクリックし、「安心・サポート」をクリックします。

## 3 （Norton Internet Security）をクリックします。

次のメッセージが表示され、「Norton Internet Security」が起動します。メッセージに従って、パソコンを再起動してください。

## 4 再起動後、画面が表示されるので、画面の表示に従って操作します。

操作が終了すると、「Norton Internet Security」がパソコンにインストールされ、自動的にパソコンが保護されます。
このあとは、パソコンを起動すると「Norton Internet Security」も自動的に起動し、パソコンを常に監視し保護します。

### ■設定を変更する

「Norton Internet Security」のファイアウォール機能でポートの設定を変更できます。ポートについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「安心・サポート」→「インターネットのセキュリティについて」の「このパソコンのセキュリティ設定について」をご覧ください。
設定を変更する方法については、「Norton Intetnet Security」のヘルプをご覧ください。
また、ホームサーバー機能をお使いの場合、「Norton Internet Security」をインストールすると、他のパソコンの操作が行えない場合があります。『ホームサーバー機能　取扱説明書』→「作業を始める前に」→「セキュリティソフトの設定を確認する」をご覧になり、設定を変更してください。

### ■「Live Update」で「ウイルス定義ファイル」を更新する

次々と発生する悪質なコンピュータウイルスからパソコンを守るためには「ウイルス定義ファイル」を常に更新する必要があります。

「ウイルス定義ファイル」を更新するには「Live Update」を実行します。
実行方法については、「Norton Internet Security」のヘルプをご覧ください。
また、「ウイルス定義ファイル」を更新したら、パソコンが新しいウイルスに感染していないか、最新のウイルス定義ファイルでウイルスチェックをしておきましょう。
ウイルスチェックをする方法については、「Norton Internet Security」のヘルプをご覧ください。

## ■こうするともっと簡単安心

「Live Update」を自動で実行する設定をしておくと、自動でパソコンに「ウイルス定義ファイル」をダウンロードし、インストールします。
「Live Update」を自動実行する方法については、「Norton Internet Security」のヘルプをご覧ください。

**POINT**

**PowerUtility を使って定期的にウイルスチェックする**

このパソコンに添付の「PowerUtility」を使えば、指定した時間に自動的にウイルスチェックをすることができます。
パソコンの電源を切っていても大丈夫なので、パソコンを使っていない夜中にウイルスチェックを実行すれば、何も操作することなく定期的なウイルスチェックができて安心です。
PowerUtility の使い方については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」→「PowerUtility」をご覧ください。

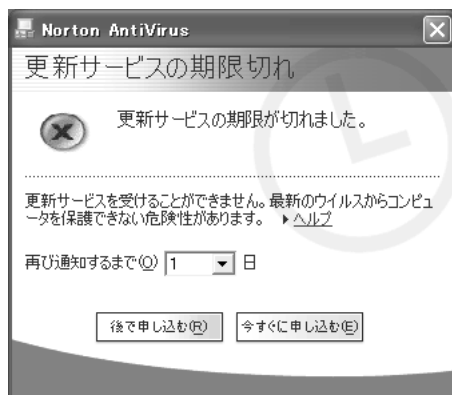
## ■こんな画面がでたら

「mad.exe」、「jsharpde.exe」は、サービスアシスタント（••▶ P.77）が使用しているプログラムです。
「updatenv.exe」は、アップデートナビ（••▶ P.72）が使用しているプログラムです。
「MyMediaServer.exe」は、「MyMedia」（••▶ P.58）が使用しているプログラムです。
これらが表示されているときは、次の操作をしてください。

**1** **をクリックして「常にすべてのポートでこのプログラムからの接続を許可する」を選択します。**

**2** **「OK」をクリックします。**

## ■更新サービスについて

「Norton Internet Security」の使用期限は、初めてソフトウェアを起動した日から 90 日間です。使用期限が切れると、次の画面が表示されます。

使用期限を過ぎると、ウイルス定義ファイルが更新されないため、最新のウイルスからパソコンを守ることができません。
更新サービス（有料）を申し込んで、ウイルス対策をすることをお勧めします。
更新サービスについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」→「Norton Internet Security」をご覧ください。

## ■ユーザーサポートについて

ユーザーサポートを受けるには、シマンテックのホームページでユーザー登録し、カスタマ ID を取得する必要があります。
ユーザー登録日から 90 日間は、無料でユーザーサポートが受けられます。
90 日以後は、有償サポートチケットを購入すると、ユーザーサポートが受けられます。
ユーザー登録とユーザーサポートについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」→「Norton Internet Security」をご覧ください。

## ■使い方についてはマニュアルをご覧ください

「Norton Internet Security」のマニュアルは、次の手順でご覧ください。

**1** **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。**

**2** **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

```
c:¥pifmae¥nis¥manual¥nis.pdf
```

**POINT**

**文字入力が苦手な方は、クリック操作でもマニュアルを参照できます**

文字を入力する代わりに、マイコンピュータを使って、ファイルをクリックして起動することもできます。

1. 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックし、マイコンピュータを表示します。
2. 「ローカルディスク（c:)」をクリックします。
3. 「Pifmae」フォルダをクリックします。
4. 「Nis」フォルダをクリックします。
5. 「MANUAL」フォルダをクリックします。
6. 「NIS」をクリックします。

**「@メニュー」からもマニュアルを参照できます**
「@メニュー」からマニュアルを参照する方法については、「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」の手順 4（••▶ P.65）をご覧ください。

PDF 形式のマニュアルの見かたについては、「PDF 形式のマニュアルの見かた」（••▶ P.93）をご覧ください。

### ■お問い合わせ先

「Nortom Internet Security」については、株式会社シマンテックにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、『サポート＆サービスのご案内』→「ソフトウェアについて困ったときは」→「ソフトウェアのお問い合わせ先一覧」をご覧ください。

## Windows XP のインターネット接続ファイアウォールを利用する

「インターネット接続ファイアウォール」は Windows XP の標準機能です。この設定を有効にすることで、簡単に最低限のセキュリティ対策ができます。
ただし、ホームネットワークをご利用の場合、ファイル共有・プリンタ共有などの機能が使えなくなる可能性があります。また、ネットワーク機能を使った一部のソフトウェアで、他のパソコンのデータを見られないなどの機能制限が考えられますので、お客様のご利用状況により判断してお使いください。
セキュリティ対策には、「Norton Internet Security」などのセキュリティソフトの利用をお勧めします。
「Norton Internet Security」については、「Norton Internet Security について」（••▶ P.50）をご覧ください。

**重要**

**次の方は、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしないでください**
セットアップができないなど一部の機能が使えなくなる場合があります。
・ホームサーバー機能内蔵の機種でブロードバンド・インターネットをご利用の方
・「ファミリーネットワークステーション」、「ファミリーネットワークステーション -T」をご利用の方
ホームサーバー機能内蔵の機種や、「ファミリーネットワークステーション」「ファミリーネットワークステーション -T」などには、ファイアウォールの機能がありますので、Windows XP の「インターネット接続ファイアウォール」を有効にする必要はありません。

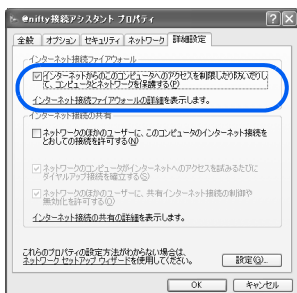
### Windows XP のインターネット接続ファイアウォールを有効にする

1. **「スタート」メニュー→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

2. **「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順にクリックします。**

## 3 ファイアウォールを有効にしたい接続方法のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。

## 4 「詳細設定」タブをクリックします。

## 5 「インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」の□をクリックして、☑にします。

## 6 「OK」をクリックします。

アイコンの形状が変わり、ファイアウォールが有効になります。
例：手順 3 で「ダイヤルアップ」のアイコンを右クリックした場合

### Windows XP のインターネット接続ファイアウォールを無効にする

**1** **「Windows XP のインターネット接続ファイアウォールを有効にする」（→P.54）の手順 1 ～ 4 を行います。**

**2** **「インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」の☑をクリックして、□にします。**

ファイアウォールが無効になります。

**3** **「OK」をクリックします。**

## このパソコンのご購入時の設定について

ご購入時の設定のうち、一般にウイルスに狙われやすいと言われているものは次の表のとおりです。
これらの設定を変更するとセキュリティ面はより安全になりますが、ソフトウェアなどの機能が制限されることがあります。
設定を変更する場合は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「安心・サポート」→「インターネットのセキュリティについて」の「このパソコンのセキュリティ設定について」をご覧になり、制限事項を理解の上、お客様自身の判断で行ってください。

| 項目 | ご購入時の設定 |
|---|---|
| Windows XP のインターネット接続ファイアウォール | 無効 |
| Norton Internet Security | 未設定（Norton Internet Security を一度起動すると有効） |
| ポート（135、137、138、139、445） | すべて開放 |
| DCOM | OFF |
| 「Outlook 2003」または「Outlook Express」の HTML メール | 有効 |
| 「Outlook 2003」または「Outlook Express」のプレビュー機能 | 有効 |

第 4 章

# FMV のおすすめ活用法

FMV に搭載されている多彩なソフトウェアの楽しみ方や、周辺機器を取り付けて FMV をさらに活用する方法を紹介します。

# 1　リモコンひとつで映像・音楽を楽しむ（DESKPOWER C70H7/C を除く）

「MyMedia」は映像や音楽を、リモコンで操作できるソフトウェアです。リモコンが添付されていない機種の場合、キーボードやマウスでも楽しむことができます。

## 「MyMedia」について

「MyMedia」を使うと、ビデオカメラで録画した映像、デジタルカメラの画像、音楽データなどを手軽に再生できます。

パソコンに取り込んだ曲をアーティスト名やアルバム名から選んで再生できます。

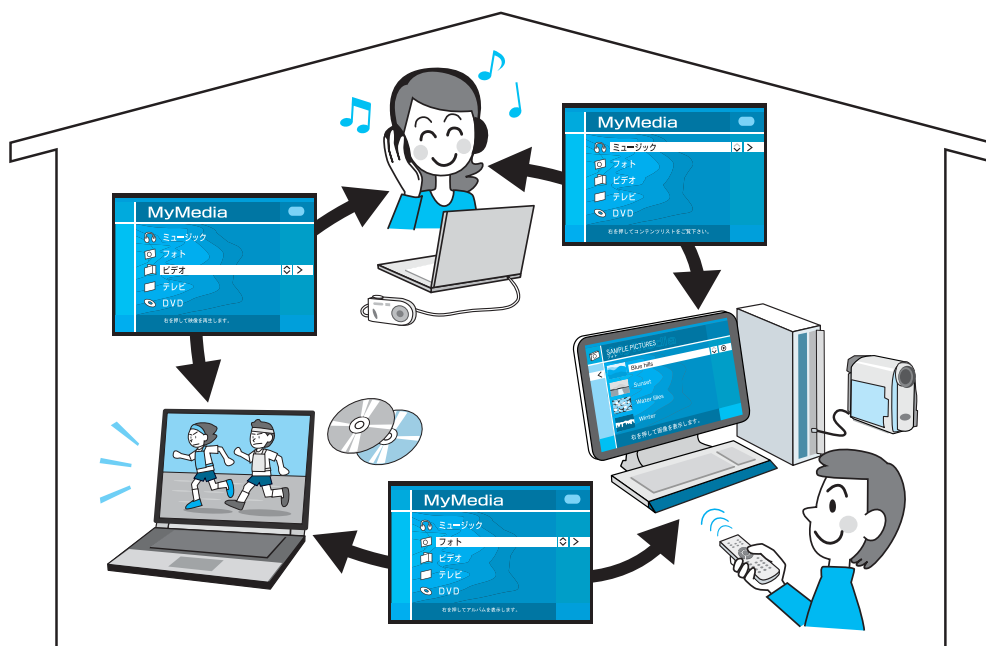
パソコンに取り込んだ静止画データを表示します。

ビデオカメラの映像や録画したテレビ番組などを再生します。

「TVfunSTUDIO」を起動させ、テレビを見られます（テレビ機能対応機種のみ）。

「WinDVD」を起動させ、DVD ソフトを再生します。

（この画面は、機種や状況により異なります）

ネットワークにも対応しているので、家中のパソコンに保存してあるデータをリモコンひとつで再生できます。

例えば、自分のパソコンに取り込んだデジタルビデオカメラの映像を他のパソコンで再生できたり、他のパソコンに取り込まれたデジタルカメラの画像や音楽などを、リモコンひとつで自分のパソコンで再生できます。

# 「MyMedia」で他のパソコンのデータを楽しむ

家庭内で複数のパソコンをネットワーク接続すれば、簡単な設定をするだけで、お互いに音楽や写真、動画を楽しむことができます。

## 設定の流れ

### ネットワークに接続する

Step 2

### 他のパソコンに「MyMedia」をインストールする

他のパソコンにも「MyMedia」をインストールすれば、データをお互いに楽しむことができます。

Step 3

### 「MyMedia」サーバーを設定する

公開したいデータを設定し、どのパソコンに閲覧を許可するかを設定します。

### 他のパソコンのデータを楽しむ

# 「MyMedia」の使い方を知りたいときは

・ネットワークに接続する方法については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「LAN を使う」をご覧ください。
・「MyMedia」の各種設定については、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「MyMedia」→「Manual」をご覧ください。
・「MyMedia」の使い方については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「FMV の使い方」→「CD・DVD」→「トライ！映像や音楽を再生する」をご覧ください。

4

# 2 テレビを見る、録る、残す（テレビ機能対応機種のみ）

FMV にはテレビを自在に楽しむ機能が満載です。ここでは、テレビの楽しみ方を紹介します。

## テレビをこんな風に楽しめます

### ■ボタン 1 つでテレビを手軽に楽しめます

インスタントテレビ機能対応機種では、パソコンを起動しなくてもテレビが見られます。ご家庭のテレビを操作するように、電源が切れている状態から、ボタン 1 つで手軽にテレビを楽しめます。
また一部の機種では、ボタンをワンタッチ操作するだけで、パソコンの電源が入り、自動でソフトウェアが起動してテレビが映るので、簡単にテレビが見られます。

### ■2 つの番組を同時に楽しめます

ツインテレビ機能対応機種では、ディスプレイ[注]とパソコン本体の両方に TV チューナーを内蔵しているので、2 つの番組を同時に楽しめます。パソコンで録画中に、裏番組を見ることもできます。

注：ツインテレビ機能対応のディスプレイ一体型の機種では、パソコン本体に 2 つの TV チューナーを内蔵しています。

### ■テレビ番組を一時停止したり、巻戻しして見たりできます

タイムシフト機能では、テレビ番組を一時停止することや、その後に現在の映像に追いつくこともできます。

### ■ハードディスクに録画できます

FMV には大容量のハードディスクがあるので、ビデオテープだと気になる残り時間を気にせずに、たくさんの番組が録画できてとっても便利です。

### ■DVD レコーダーにもなります

DVD-MovieAlbumSE 搭載の機種では、DVD-RAM ディスクに直接録画できるので、DVD レコーダー感覚で楽しめます。

### ■映像をライブラリとして残せます

録画したたくさんの番組も、FMV なら手軽に DVD に保存できます。CM をカットしたり、残したくない部分を編集したり、DVD メニュー画面を作ったり、思いのままに保存できます。

## テレビの操作を知りたいときは

それぞれの機能の対応機種とテレビを楽しむための操作については、『テレビを見る・録る・残すガイド』をご覧ください。
インスタントテレビ機能の操作については、『インスタントテレビ機能　取扱説明書』（DESKPOWERの場合）または『インスタントテレビ／DVD機能　取扱説明書』（BIBLOの場合）をご覧ください。

4

# 3 映像を取り込んで編集・加工する

FMV ならデジタルビデオカメラで録画した映像を簡単にパソコンに取り込むことができます。
取り込んだ映像を編集することもできるので、余分なシーンをカットしたり、映像を並び替えるのも自由自在です。

## 映像を取り込んで編集・加工・保存する［DESKPOWER C70H7/C を除く］

### ■映像を取り込む

このパソコンに添付の「MotionDV STUDIO」を使えば、パソコンとデジタルビデオカメラをつなぐだけで、簡単に映像を取り込めます。

### ■映像を編集・加工する

「MotionDV STUDIO」を使えば、取り込んだ画像を自由に編集できます。
余分なシーンをカットしたり、映像を並べ替えたり、録画したテレビ番組を編集して作品にまとめることもできます。

### ■映像を保存する

大切な映像は DVD に保存すれば画像が劣化することがないので安心です。

## 映像を取り込んで編集・加工する操作を知りたいときは

（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「画像・映像・写真」→「トライ！デジタルビデオを DVD に保存する」をご覧ください。

# 多彩なソフトウェアで楽しむ

このパソコンにはさまざまなソフトウェアが用意されています。
ここでは、利用目的からソフトウェアを探す方法や「スタート」メニューに登録されていないソフトウェアの使い方について紹介します。

**POINT**

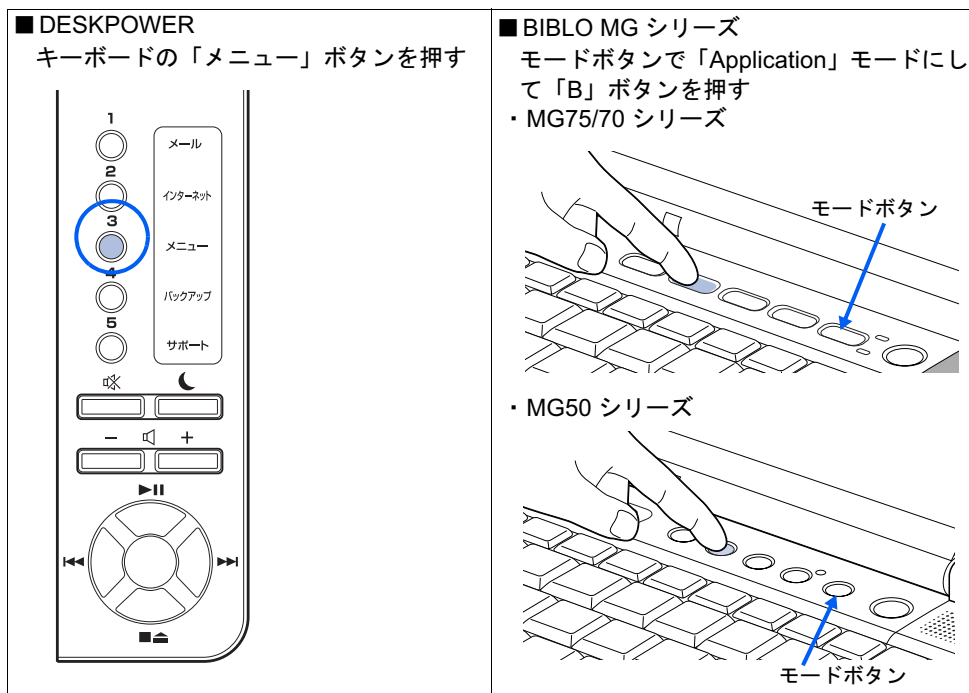
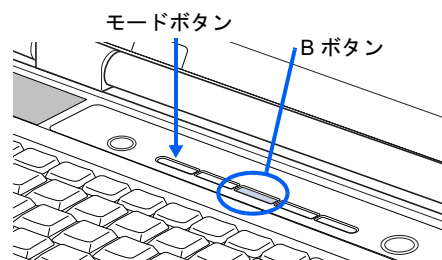
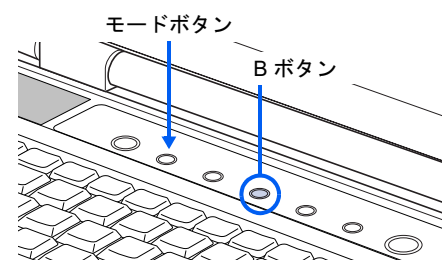
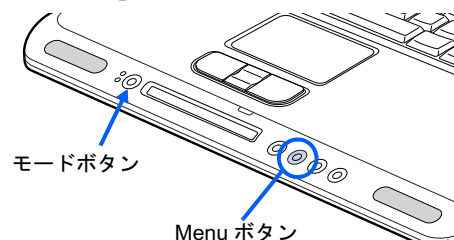
**添付されているソフトウェアについて**

このパソコンに添付されているすべてのソフトウェアの一覧は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」をご覧ください。

## パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる

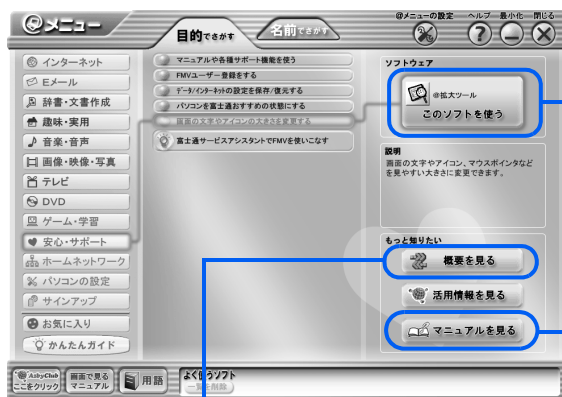
FMV でやりたいことが決まっているけど、どのソフトウェアを使えばよいのかわからない。そんな時は「@メニュー」を使って、目的からソフトウェアを選びましょう。

### 1 「@メニュー」を起動します。起動方法は機種により異なります。

「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックしても起動できます。

注 ： お使いの機種により、イラストが若干異なる場合があります。

## 2 上部の「目的でさがす」をクリックし、やってみたいことのジャンルを選びます。

## 3 やってみたいことを選びます。

## 4 アイコンをクリックすると、ソフトウェアが起動します。

クリックするとソフトウェアが起動します。

「マニュアルを見る」をクリックすると、ソフトウェアのヘルプやマニュアルを見ることができます。[注]

（マニュアルを見る）になっているときは、ソフトウェアのヘルプやマニュアルを見ることができません。

「概要を見る」をクリックすると、ソフトウェアに関する詳しい説明を見ることができます。

■特長
ソフトウェアの特長が紹介されています。

■活用例
そのソフトウェアを使ってできることが紹介されています。

■画面例
起動したときの画面や、そのソフトウェアで作成した作品例などが紹介されています。

■起動
ソフトウェアの起動方法が説明されています。

■使い方
ソフトウェアの使い方がわからないときなどに使う、マニュアルや「ヘルプ」の表示方法を説明しています。[注]

■問い合わせ先
そのソフトウェアに関するお問い合わせ先が紹介されています。
会社名をクリックするとお問い合わせ先が表示されます。

注：「画面で見るマニュアル」からソフトウェアのマニュアルを表示すると、画面に真っ白なウィンドウが表示されることがあります。
この場合は、マニュアルを開くためのソフトウェアの「エンドユーザ使用許諾契約書」ウィンドウが後ろに隠れています。
タスクバーの「エンドユーザ使用許諾契約書」をクリックし、「エンドユーザ使用許諾契約書」ウィンドウを前面に表示し、内容を確認して、「同意する」をクリックしてください。

# ご購入時に「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に登録されていないソフトウェアの起動方法

ご購入時に「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に登録されているソフトウェア以外にも、このパソコンにはソフトウェアが添付されています。
ここでは、「スタート」ボタンに登録されていないソフトウェアを使う方法について紹介します。

## 添付のソフトウェアの種類

ソフトウェアには次のものがあります。

・あらかじめインストールされているもの
・「@メニュー」からインストールするもの
　（BIBLO LOOX シリーズをお使いの方、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く）
・「アプリケーションディスク」からインストールするもの
・ディスクをセットして使うもの

「@メニュー」からインストールするもの、「アプリケーションディスク」からインストールするもの、およびディスクをセットして使うものは、ご購入時に「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に登録されていません。次の方法でソフトウェアをお使いになってください。
どのソフトウェアをどの起動方法で使うかについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」からソフトウェアの紹介をご覧ください。

## 「@メニュー」からインストールして使う

「@メニュー」に表示されているアイコンがになっているソフトウェアは、一度「@メニュー」から起動すれば、パソコンにインストールされ、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」メニューからでも起動できるようになります。また、「@メニュー」上のアイコンも、それぞれのソフトウェアのものに変わります。

「@メニュー」からインストールするソフトウェアには次のものがあります（機種により異なります）。

・Norton Internet Security
・FM 手帳
・はーときゃんばす
・音声メモ
・@キャプチャ
・ひらがなナビィ for FMV
・i- フィルター PE

BIBLO LOOX シリーズをお使いの方、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、「@メニュー」からインストールするソフトウェアはありません。「アプリケーションディスクからインストールする」（••▶ P.68）をご覧になり、「アプリケーションディスク」からインストールしてください。

### ■（例）初めて「Norton Internet Security」を起動する場合

ご購入時の状態では、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」メニューに「Norton Internet Security」はありません。

**1** **「@メニュー」を起動します。**

**2** **上部の「名前でさがす」をクリックし、「安心・サポート」をクリックします。**

**3** **（Norton Internet Security）をクリックします。**

次のメッセージが表示され、「Norton Internet Security」が起動します。メッセージに従って、パソコンを再起動してください。

以上の操作で、「@メニュー」の「Norton Internet Security」のアイコンが に変わり、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に「Norton Internet Security」が登録されます。

このように、一度「@メニュー」で起動したソフトウェアは「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」メニューに追加され、「@メニュー」以外からでも起動できるようになります。

**POINT**

**になっているソフトウェアを削除するには（DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST を除く）**

「@メニュー」内のアイコンが になっているソフトウェアは、ご購入時の状態ではハードディスクの中に圧縮データが保存されています。これらのソフトウェアは「@メニュー」からの初回起動時に自動的にインストールされますが、ソフトウェアをインストールした後もハードディスク内の圧縮データは残ります。これらのソフトウェアを完全に削除したいときには、以下のフォルダ内にある各ソフトウェアのフォルダも削除してください。

C:¥Pifmae¥XXXX（削除したいソフトウェアのフォルダ）

削除したいソフトウェアとフォルダ名を調べるには、「アプリケーションディスク」の中にある index.htm をご覧ください。フォルダ／ファイル名の一覧表があります。

## アプリケーションディスクからインストールする

アプリケーションディスクからインストールするソフトウェアには次のものがあります(機種により異なります)。

・ハードディスクデータ消去
・デリポップ
・学研 パーソナル統合辞典

このパソコンに添付の「アプリケーションディスク」に入っているソフトウェアをパソコンにインストールする方法については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」→「FM かんたんインストール」をご覧ください。

## ディスクをセットして使う

ディスクをセットして使うソフトウェアには次のものがあります(機種により異なります)。

・広辞苑第五版
・現代用語の基礎知識 2004 年版
・学研新世紀ビジュアル百科辞典
・Word2003&Excel2003 の虎の巻

ディスクをセットして使うソフトウェアも、「@メニュー」から使うことができます。

### ■(例)「広辞苑第五版」を使う

**1** **「@メニュー」を起動します。**

**2** **上部の「名前でさがす」をクリックし、「辞書・文書作成」をクリックします。**

**3** **「広辞苑第五版」をクリックします。**

**4** **「「広辞苑第五版・現代用語の基礎知識 2004 年版」の CD-ROM をセットしてください。」という画面が表示されたら、添付のディスクを CD/DVD ドライブにセットします。**

**DESKPOWER C70H7/C をお使い方**

ディスクはハードディスクの仮想ディスク領域に保存されていますので、ディスクをCD/DVDドライブにセットする必要はありません。自動で仮想ディスクがセットされます。
仮想ディスクについては、『別冊 ＦＭＶ活用ガイド（仮想ディスク編）』および「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「仮想ディスクセットツール」→「「FM仮想ディスクセットツール」と仮想ディスクについて」をご覧ください。

このあとは、メッセージに従って操作してください。

4

# 5 周辺機器を取り付けてパソコンをパワーアップする

パソコンに周辺機器を取り付けると、パソコンを更にパワーアップして使えるようになります。

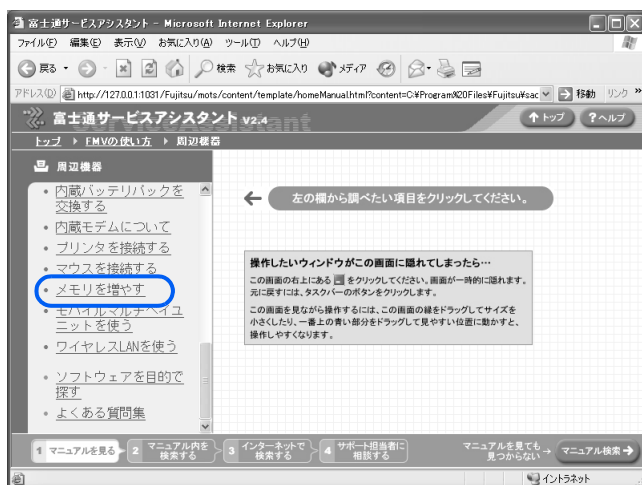
## 周辺機器とは？

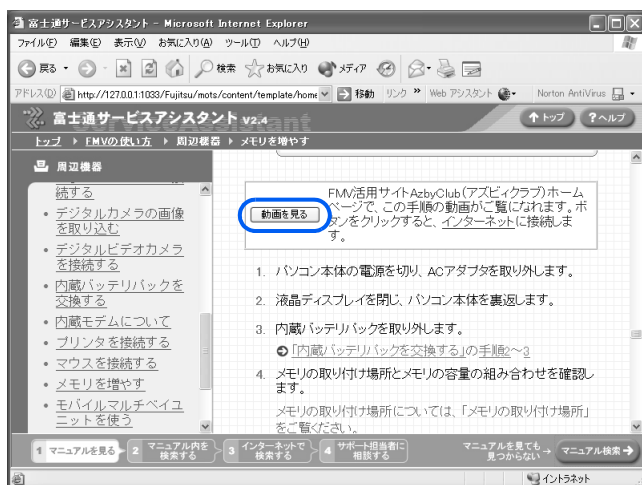
プリンタ、メモリ、デジタルカメラ、スキャナなどの装置のことです。
パソコンの各コネクタに接続したり、パソコン本体の内部に取り付けます。

## 周辺機器を取り付けると

プリンタを接続して印刷したり、メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたりなど、パソコンでできることがさらに広がります。
また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、E メールに添付したりできます。

## 周辺機器を取り付けるには

周辺機器の取り付け方は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「周辺機器」をご覧ください。
表示される画面の中から、取り付けたい周辺機器をクリックしてください。
例えば、メモリを取り付ける場合は、「メモリを増やす」をクリックします。

（画面は機種により異なります）

手順の中に「動画を見る」というボタンがあるときは、ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。
このとき、FMV ユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

# 6 FMV を最新の状態にする

パソコンは常に最新の状態に整えて、快適に使いましょう。
ここでは、マニュアルやドライバなどを最新の状態にする「アップデートナビ」とWindows を最新の状態にする「Windows Update」の紹介をします。

「アップデートナビ」「Windows Update」は、インターネットを利用するサポート機能です。ご利用になるには、インターネットに接続できる環境が必要です。
インターネットに接続するための設定や方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／ E メール」、またはご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

重 要

**はじめてインターネットに接続する前に必ずセキュリティ対策を行ってください**

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
はじめてインターネットに接続する前に、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」の「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」をご覧ください。

## アップデートナビについて

このパソコンには、パソコンを弊社推奨の状態に整えるための「アップデートナビ」というサポート機能が用意されています。
「アップデートナビ」は、インターネットを経由して、弊社が推奨する最新情報を確認し、お使いのパソコンが安定して動作するお勧めの状態にすることができます。画面に表示されるメッセージに従って操作すると、簡単にアップデート（更新）できます。
メッセージが表示されたら、次の手順に従って更新し、パソコンを常に最新の状態にして、快適に使いましょう。

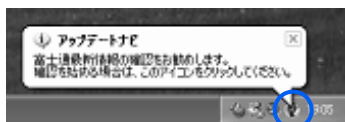
POINT

**ブロードバンド環境でのご利用を推奨します**

インターネットを利用して自動で定期的に更新情報を確認するので、ブロードバンドの環境でお使いになることを強く推奨します。
推奨環境以外でご利用になるとソフトウェアの規模によっては、最新の状態へ更新する作業に多くの時間を必要とする場合があります。

## 画面右下の通知領域に「アップデートナビ」のメッセージが表示されたら

自動的にインターネット上の情報をチェックし、更新情報があると、メッセージが表示されます。

**1** **メッセージが表示されたら、 をクリックします。**

**「ご利用になる上でのご注意」の画面が表示されたら**

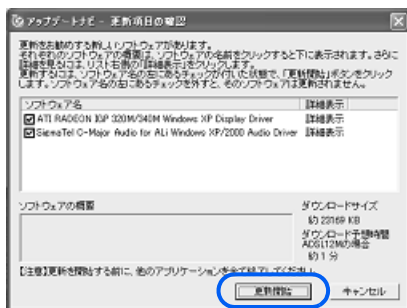
初めてアップデートナビを実行したときのみ表示されます。

1. 内容をよくご覧になり、「承諾する」をクリックします。
   「承諾しない」をクリックした場合、「アップデートナビ」はご利用いただけません。

「更新項目の確認」ウィンドウが表示されます。

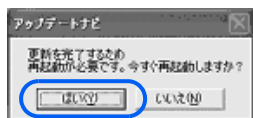
**2** **更新項目を確認します。必要に応じて、概要、詳細をご覧ください。**

更新したくない項目がある場合は、その項目の左にある☑をクリックして、☐にします。
通常は、すべての項目を更新することをお勧めします。

**3** **「更新開始」をクリックします。**

更新情報が自動的にダウンロードされ、インストールされます。

4

## 4 パソコンの再起動を要求するメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。

表示されない場合は、これで更新は完了です。

パソコンが再起動し、更新が完了します。

### 手動で「アップデートナビ」を実行する

「アップデートナビ」で情報を更新したいときは、手動でも「アップデートナビ」を実行できます。

## 1 画面右下の通知領域にあるを右クリックし、「富士通へ最新情報を確認」をクリックします。

このあとの手順については、「画面右下の通知領域に「アップデートナビ」のメッセージが表示されたら」（••▶ P.73）の手順 1 の POINT 以降をご覧ください。

# Windows Update について

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるためのマイクロソフト社が提供するサポート機能です。
「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策もされます。セキュリティ対策の一つとしても、こまめに「Windows Update」を実行して、安心してパソコンを使えるようにしましょう。
「Windows Update」の実行方法については、「「Windows Update」を実行する」（••▶ P.46）をご覧ください。

第 5 章

# パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

マニュアルには本で読むマニュアル以外にも、パソコンの画面で見るマニュアルが各種あります。
ここではパソコンの画面で見るマニュアルの見かたを紹介します。

# 1 パソコンの画面で見るマニュアルとは

パソコンの画面で見るマニュアルには次のものがあります。

### ■サービスアシスタント

このパソコンのハードディスクに搭載されている FMV のマニュアルです。
「サービスアシスタントの使い方」（ ••▶ P.77）

### ■PDF 形式のマニュアル

ファイルの形式が PDF のマニュアルです。
Adobe Reader などのソフトウェアを使って見ることができます。
ソフトウェアの取扱説明書として添付されていることがあります。
「PDF 形式のマニュアルの見かた」（ ••▶ P.93）

### ■ヘルプ

ソフトウェアの使い方などが書かれています。
ほとんどのソフトウェアは、そのソフトウェアの画面から「ヘルプ」呼び出すことができます。
「ヘルプを使って調べる」（ ••▶ P.95）

# 2 サービスアシスタントの使い方

パソコンを使っていて、わからないことがあったら、サービスアシスタントを使って調べることができます。
ここでは、サービスアシスタントの使い方を紹介します。
サービスアシスタントの起動方法については「「サービスアシスタント」の起動方法」（••▶ P.80）をご覧ください。

## 「サービスアシスタント」で調べる

「サービスアシスタント」には、次の機能があります。

### ■画面で見るマニュアル

「FMVの使い方」や「インターネット／Eメール」、「添付ソフトウェア一覧」など、FMVに関するさまざまな情報が紹介されています。

### ■検索機能

「画面で見るマニュアル」内やインターネットの Q&A 情報を、知りたいキーワードや文章で検索することができます。

### ■パソコンの故障診断

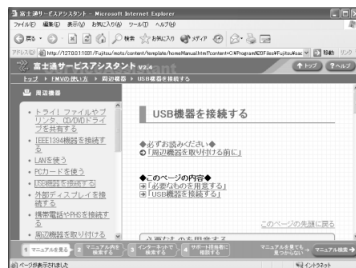
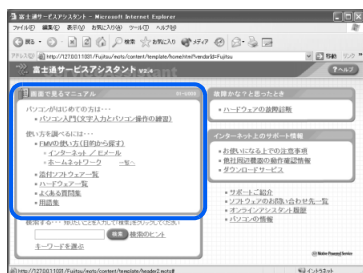
故障かな？と思った箇所を選んで、パソコンを診断することができます。

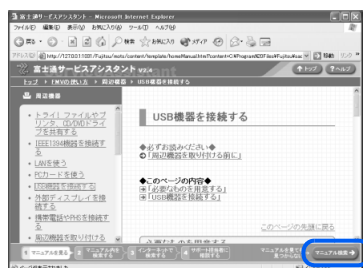
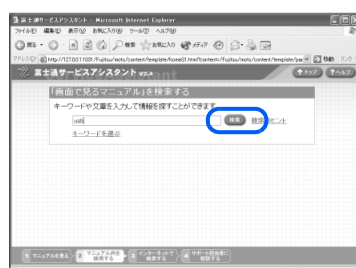
### ■サポート担当者への相談

サポート担当者に相談をする際の方法を選択することができます。
なお、オンラインアシスタントを使うと、サポート担当者に直接問い合わせを行うことができます。

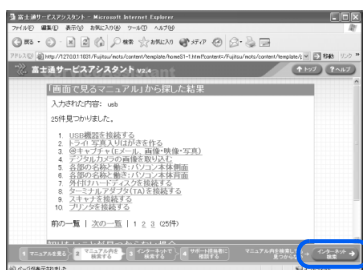
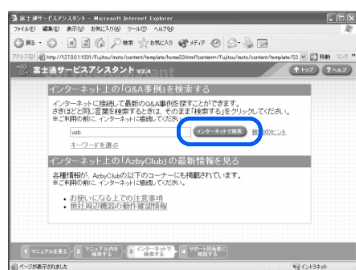
ここでは、「画面で見るマニュアル」で調べるときの流れを説明します。

## Step 1：「画面で見るマニュアル」で調べる

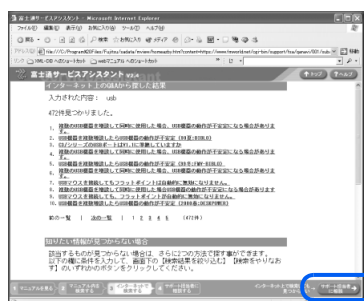
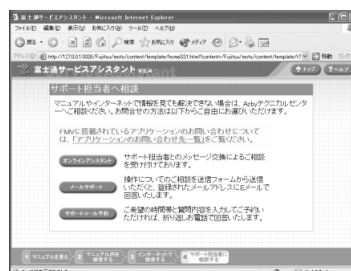
パソコンの使用目的やソフトウェアの名前などから知りたい情報を探すことができます。
「「画面で見るマニュアル」で調べる」（ ••▶ P.84）

## Step 2：「画面で見るマニュアル」内を検索する

目次からでは知りたい情報が見つからない場合は、「画面で見るマニュアル」内を検索することができます。

「マニュアル検索」をクリックします。

キーワードや文章を入力して「検索」をクリックすると、検索結果が表示されます。

## Step 3：インターネットで検索する [ 注 ]

知りたい情報が「画面で見るマニュアル」内になかったら、インターネットの最新のお問い合わせ事例の中から検索することができます。

「画面で見るマニュアル」の検索結果の画面で、「インターネット検索」をクリックします。

キーワードや文章を入力してから「インターネットで検索」をクリックすると、検索結果が表示されます。

## Step 4：サポート担当者に相談する [ 注 ]

マニュアルやインターネットで問題を解決できない場合はサポート担当者に直接お問い合わせができます。

Step3 の検索結果の画面で「サポート担当者に相談する」をクリックします。

3 種類のお問い合わせ方法からご自由にお選びいただけます。

オンラインアシスタント・・・サービスアシスタントの画面上で、24 時間待機中のサポート担当者にメッセージ交換で直接質問ができます。

メールサポート・・・パソコンの操作に関するご相談を送信フォームから送信していただくだけで、あらかじめ登録していただいたメールアドレスに回答が届きます。

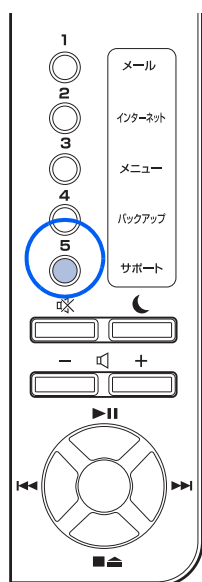
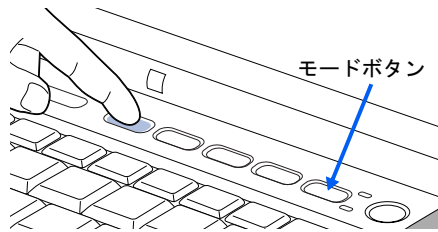
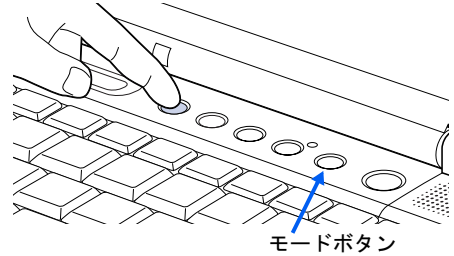
サポートコール予約・・・ご希望の時間帯と質問内容を入力してご予約いただければ、サポート担当者が折り返しお電話にて回答いたします。

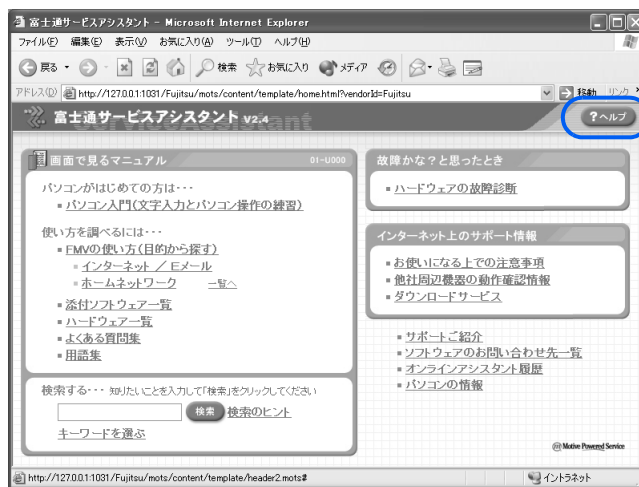
注 ：「Step 3：インターネットで検索する」および「Step 4：サポート担当者に相談する」の機能をご利用になるには、インターネットに接続できる環境が必要です。また、ご利用の際はユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号、およびパスワードが必要です。
ユーザー登録については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。
インターネットの設定については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／ E メール」をご覧ください。
なお、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

## 「サービスアシスタント」の起動方法

「サービスアシスタント」はインターネットの設定がお済みでない場合でもご利用いただけます。「サービスアシスタント」を起動したときにインターネットについてのメッセージが表示されたら、「「サービスアシスタント」がうまく動かないときは」(••▶ P.82)をご覧ください。

### 1 「サービスアシスタント」を起動します。起動方法は機種により異なります。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリックしても起動できます。

■ BIBLO MG シリーズ
モードボタンで「Application」モードにして「A」ボタンを押す

・MG75/70 シリーズ　　・MG50 シリーズ

注 ：お使いの機種により、イラストが若干異なる場合があります。

「サービスアシスタント」が表示されます。

ヘルプをクリックすると
サービスアシスタントの利
用方法がご覧いただけます。

**留意事項をご覧ください**

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」→「お使いになる上での留意事項」をご覧ください。

5

# 「サービスアシスタント」がうまく動かないときは

### ■「このコンピュータにはインターネット接続がありません」と表示されたら

**1** 「OK」をクリックします。

**2** @nifty を紹介する画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

**3** 「完了」をクリックします。

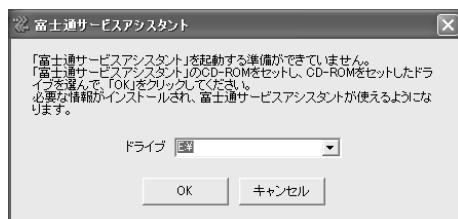
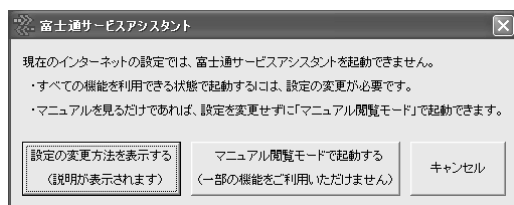
### ■「プログラム制御」というウィンドウが表示されたら

「サービスアシスタント」上のボタンをクリックしてインターネットに接続したときに表示される場合があります。このウィンドウは「Norton Internet Security」というソフトウェアの設定画面です。「mad.exe がインターネットに接続しようとしています。」または「jsharpde.exe がインターネットに接続しようとしています。」と表示されていることを確認し、次の操作を行ってください。

**1** ▼をクリックして「常にすべてのポートでこのプログラムからの接続を許可する」を選択します。

**2** 「OK」をクリックします。

### ■「「富士通サービスアシスタント」を起動する準備ができていません」というメッセージが表示されたら

このパソコンに添付されている◎「富士通サービスアシスタント」の CD-ROM をセットし、「OK」をクリックしてください。

### ■「現在のインターネットの設定では、富士通サービスアシスタントを起動できません」というメッセージが表示されたら

一部の CATV インターネットやネットワーク環境で、プロキシの設定がサービスアシスタントを起動するのに適していない場合にこのメッセージが表示されます。
ご利用になりたい内容によって次のいずれかの操作を行ってください。

- **サービスアシスタントのすべての機能を利用したい場合**

  「設定の変更方法を表示する」をクリックしてください。

  Internet Explorer が起動し、プロキシの設定を変更する手順が表示されます。
  手順に従って変更を行い、再度サービスアシスタントを起動してください。

・すぐにマニュアルだけ見たい場合

「マニュアル閲覧モードで起動する」をクリックしてください。

サービスアシスタントが「マニュアル閲覧モード」で起動されます。

マニュアル閲覧モードでは、マニュアルはすべて見られますが、サービスアシスタントの一部の機能をお使いいただけません。
マニュアル閲覧モードでお使いいただけないのは、次の機能です。

・ハードウェアの故障診断
・パソコンの情報
・オンラインアシスタント

これらの機能をお使いになるには、サービスアシスタント（マニュアル閲覧モード）を終了し、もう一度サービスアシスタントを起動してください。
メッセージが表示されたら、「設定の変更方法を表示する」をクリックし、手順に従って設定を変更してください。

## ■サービスアシスタントのトップ画面の項目を選んだとき、「ランタイムエラー」や「必要なファイルが壊れています」などのエラーメッセージが表示されたら

Internet Explorer の「ファイル」メニューをクリックしてください。
「オフライン作業」の前にチェックが付いていると、エラーメッセージが表示されることがあります。
チェックが付いていた場合は、「オフライン作業」をクリックしてチェックを外します。

## ■サービスアシスタントを起動したとき「要求された Web ページは、オフライン使用できません。このページを表示するには、[ 接続 ] をクリックしてください」というメッセージが表示されたら

「接続」をクリックし、Internet Explorer を「オフライン作業」の状態から復帰させてください。サービスアシスタントが起動し、トップページが表示されます。
「接続」をクリックしてもインターネットには接続されません。

## ■「更新情報を確認しています」が表示されたまま止まってしまう

「Q 操作中に画面が動かなくなった」（••▶ P.151）をご覧になり、サービスアシスタントを強制終了してください。

## ■どうしてもサービスアシスタントが起動しない

サービスアシスタントをいったん削除し、再インストールすることで解決する場合があります。
「コントロールパネル」にある「プログラムの追加と削除」機能でサービスアシスタントを削除し、再インストールしてください。
このとき、「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントで作業を行ってください。ユーザーアカウントが「制限付きユーザー」の場合、ソフトウェアを削除できない場合があります。
サービスアシスタントの削除から再インストールまでの流れは、次の手順をご覧ください。

**1** 起動しているソフトウェアをすべて終了します。

**2**「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

**3**「プログラムの追加と削除」をクリックします。

**4** 一覧から「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」をクリックします。

**5**「変更と削除」（または「削除」）をクリックし、画面の指示に従ってソフトウェアを削除します。

**6** ソフトウェアの削除が終了したら、「プログラムの追加と削除」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

**7** パソコンを再起動します。

**8**「サービスアシスタントをインストールする」（••▶ P.122）の手順に従って、サービスアシスタントをインストールします。

## 「画面で見るマニュアル」で調べる

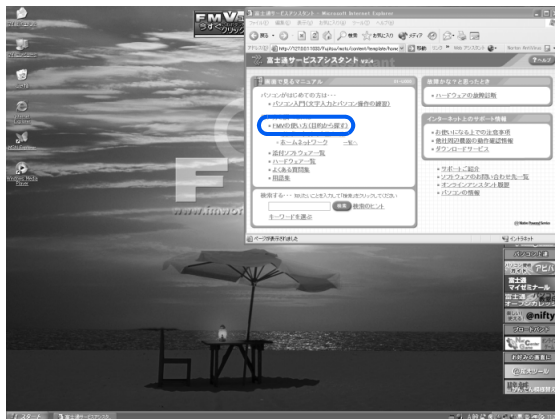
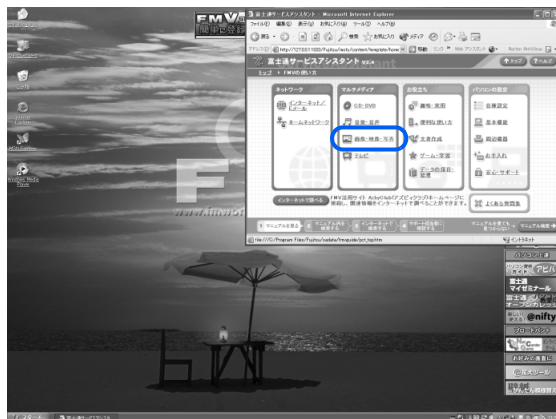
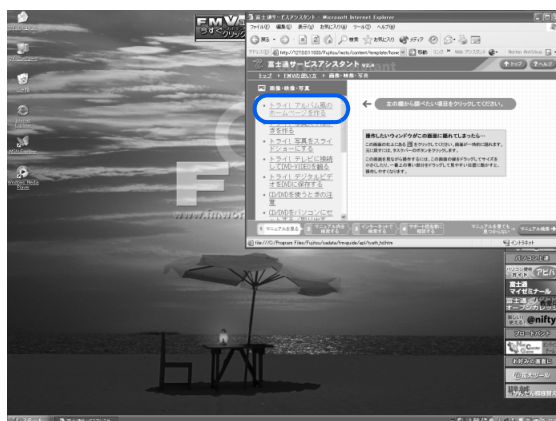
ここでは例として、「FMV の使い方」でソフトウェアのヘルプを起動して使い方を調べる方法や、マニュアルを表示しながらパソコンを操作する方法を説明します。

### 例：「画面で見るマニュアル」で手順を見ながらアルバム風のホームページを作る

「画面で見るマニュアル」を表示し、読みながら、実際に操作を進めることができます。ウィンドウは、複数表示したまま操作できます。

**1 「サービスアシスタント」を起動します。**

「「サービスアシスタント」の起動方法」（••▶ P.80）

**2 「FMV の使い方」をクリックします。**

## 3 「画像・映像・写真」をクリックします。

## 4 「トライ！ アルバム風のホームページを作る」をクリックします。

手順を説明したマニュアルのページが表示されます。

## 5 「@FTP」の設定の手順に従って@メニューを表示します。

5

## 6 マニュアルのページが表示できるように大きさや位置を変更します。

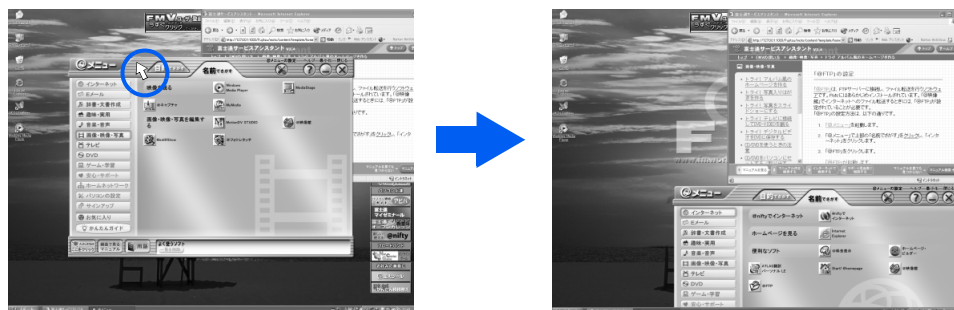
例を紹介しますので、お好みの方法で操作してください。

### ■画面の位置を変更する

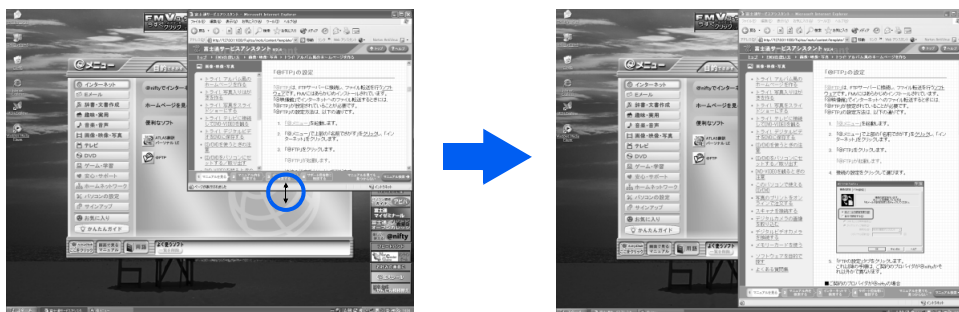
ここでは、「@メニュー」の位置を変更します。

「@メニュー」の上部をポイントしてドラッグします。

この場合は、右下にドラッグして、画面を上と下に表示します。

「@メニュー」の下部は隠れていても操作できますので、マニュアルのページと重ならないように、できるだけ下までドラッグします。

### ■画面の大きさを変更する

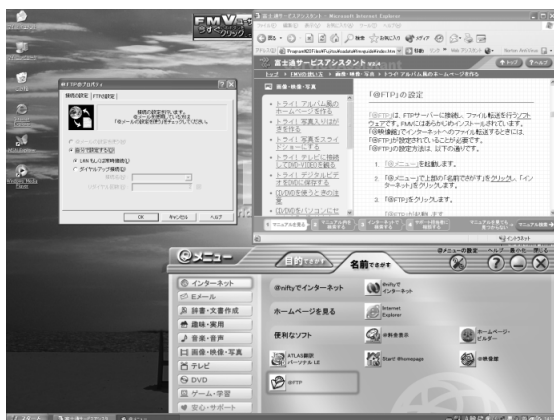
ここではマニュアルのページを縦に大きく表示して、手順がすべて見られるようにします。

画面の下の線をポイントし、マウスポインタがから の形に変わったら、下方向にドラッグします。

上下左右斜めいずれかの線をポイントしてドラッグすると、画面をお好みの大きさに変更できます。
線をポイントしてもマウスポインタの形が変わらないときは、その画面の大きさは変更できません。

■見たい画面を前面に表示する

ここでは画面の大きさや位置は変更しないで、見たい画面を前面に表示して操作します。タスクバーのボタンを押すと、後ろの画面を前面に表示できます。

マニュアルのページを見たいときにクリックすると、マニュアルのページが前面に表示されます。

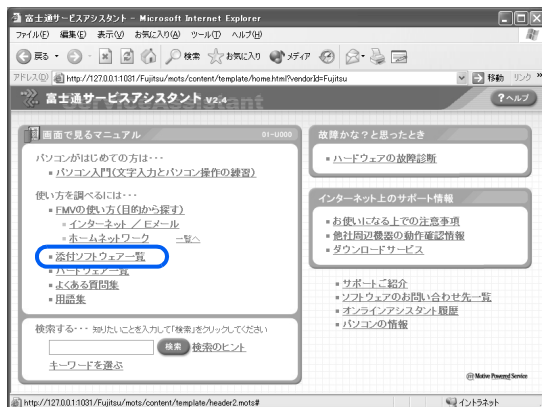
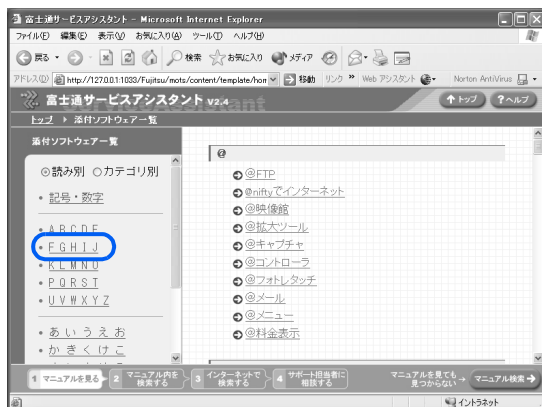
**7** マニュアルを見ながら、操作を続けます。

## 例：「FM かんたんバックアップ」のヘルプ起動して使い方を調べる

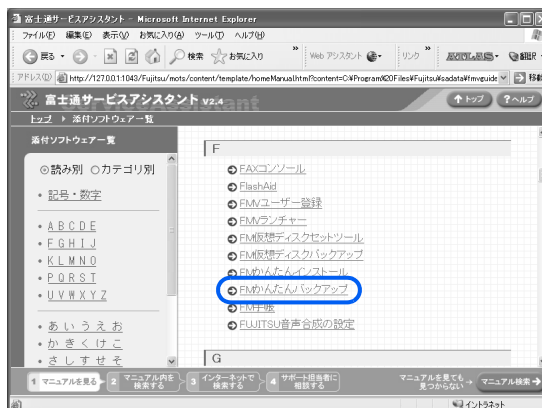
パソコンにはさまざまなソフトウェアが入っています。ほとんどのソフトウェアには「ヘルプ」と呼ばれる取扱説明書があり、そのソフトウェアに関する情報や、詳しい使い方などが紹介されています。「画面で見るマニュアル」では、ソフトウェアのヘルプの起動方法を調べることができます。

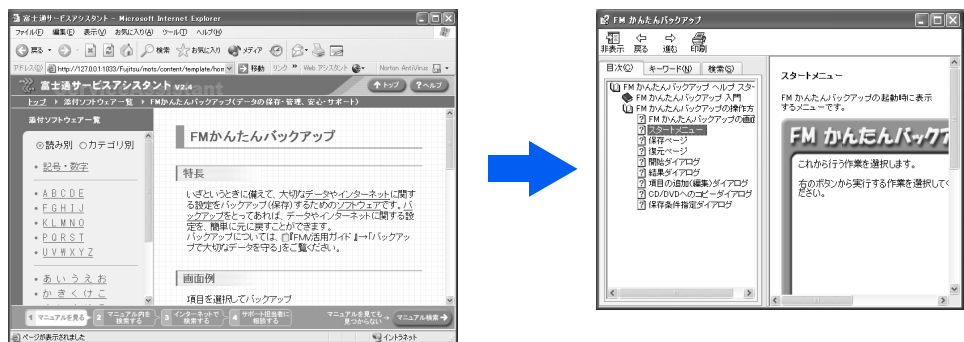
**1** 「サービスアシスタント」を起動します。

「「サービスアシスタント」の起動方法」（••▶ P.80）

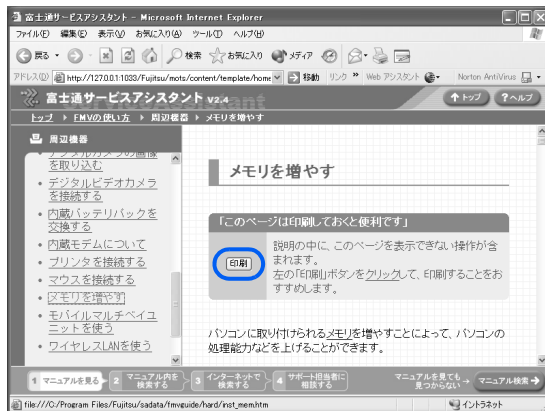
5

## 2 「添付ソフトウェア一覧」をクリックします。

## 3 画面左側の「FGHIJ」をクリックします。

## 4 画面右側の「FM かんたんバックアップ」をクリックします。

ソフトウェアに関する詳しい説明が表示されます。

## 5 「使い方」に記載されている方法で、「FMかんたんバックアップ」のヘルプを起動します。

「FM かんたんバックアップ」のヘルプには、データの保存や保存したデータを復元する操作手順などが詳しく説明されています

画面を下にスクロールすると、「使い方」があります。

## 「画面で見るマニュアル」を印刷して見ながら操作する

「画面で見るマニュアル」には、操作中に電源を切る場合があり、ページを表示して読みながら操作できないことがあります。
そのような場合には、「画面で見るマニュアル」を印刷して、出力紙を見ながら操作することをお勧めします。
次の画面のように、「このページは印刷しておくと便利です」と記載のあるページが表示されたら、印刷 をクリックすると、「画面で見るマニュアル」を印刷できます。

# AzbyClub ホームページで調べる

AzbyClub ホームページは、FMV をより楽しく、より便利に活用するための FMV 活用サイトです。
お客様がお持ちのパソコン、PDA などに関するサポート情報、お客様からのお問い合わせ情報を掲載した Q&A 事例検索のほか、FMV を楽しむための一歩進んだ使い方、お得なキャンペーン情報やイベント情報など、便利で役に立つ情報が満載です。
会員専用ページをご利用になるには、ユーザー登録（入会費・年会費無料）が必要です。
ユーザー登録については、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

## AzbyClub ホームページを表示する

パソコンをインターネットに接続する環境が整っていない場合は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／Eメール」をご覧になり、インターネットの設定を済ませてからご利用ください。

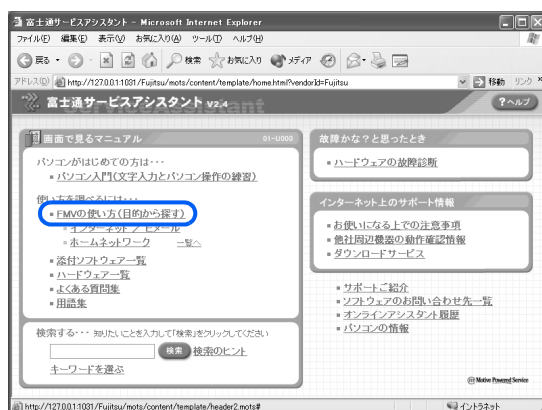
**重要**

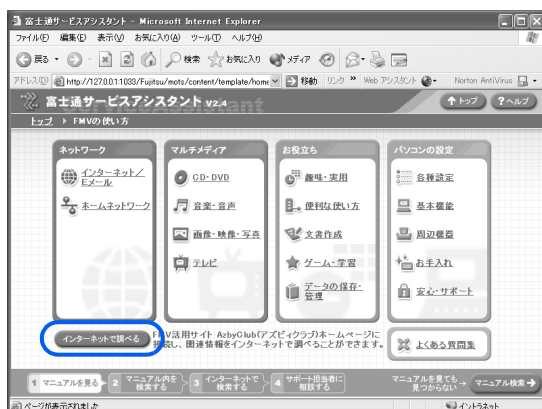
**はじめてインターネットに接続する前に必ずセキュリティ対策を行ってください**

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
はじめてインターネットに接続する前に、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。
最新の状態にする手順などセキュリティ対策については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」の「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」をご覧ください。

**1** **「サービスアシスタント」を起動します。**

「「サービスアシスタント」の起動方法」（→ P.80）

**2** **「FMV の使い方」をクリックします。**

## 3 「インターネットで調べる」をクリックします。

インターネットに接続し、AzbyClub ホームページが表示されます。

### アドレスを直接入力することもできます

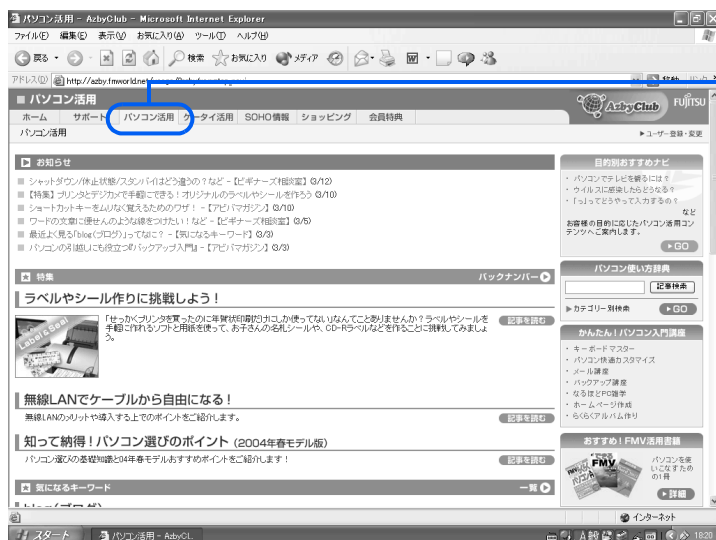
Internet Explorer を起動しているときは、ブラウザのアドレス欄に次のアドレスを入力して表示できます。

http://azby.fmworld.net/

## AzbyClub ホームページを活用する

AzbyClub ホームページでは、さまざまなコンテンツをご用意しています。
ここでは、パソコンを使いこなすためにご利用いただける代表的なコンテンツを紹介します。

### ■「パソコン活用」

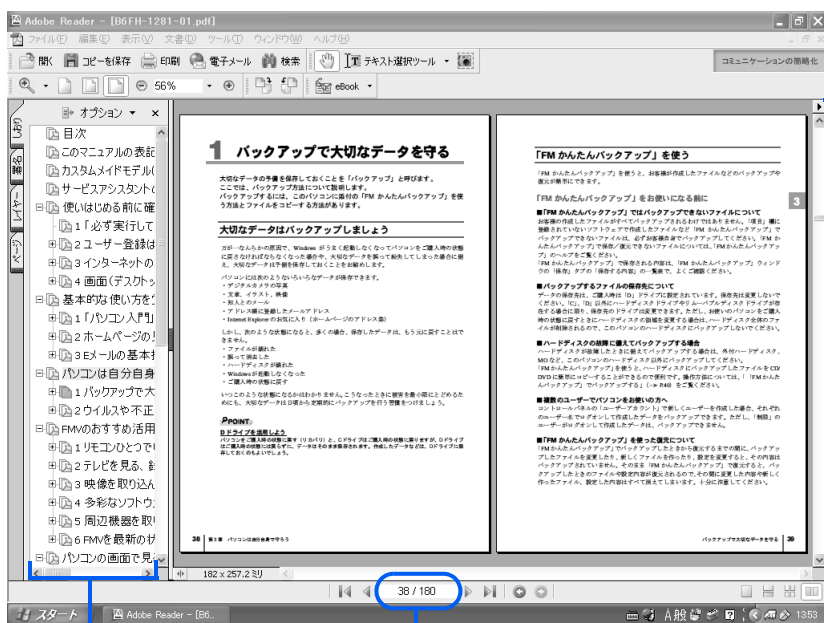
「パソコン活用」では、パソコンの最新情報、パソコンの基礎的な操作方法や一歩進んだ使い方など、パソコンを楽しく活用できるコツが紹介されています。また、お客様どうしで情報交換できる掲示板やタイピング練習コーナーも常設しています。

### ■「サポート」

FMV をより安心してご利用いただくための、サポート情報をご案内しています。
Q&A 事例や技術情報など、お客様の「困った」を解決する情報や、各種お問い合わせの窓口などの情報をご提供します。

その他にも、FMV を使う上で役立つ情報や、FMV の利用が楽しく便利になる商品を購入できるショッピングサービスなど、数多くご紹介しています。会員限定のプレゼントキャンペーンも実施しておりますので、ぜひご活用ください。

# PDF 形式のマニュアルの見かた

ソフトウェアのマニュアルなどには、「PDF」というファイル形式で作成されているものがあります。
「PDF ファイル」を見るには「Acrobat Reader」というソフトウェアを使います。
FMV には「Acrobat Reader」が用意されているので、PDF ファイルのアイコンをクリックして、マニュアルを見ることができます。

## PDF 形式のマニュアルの見かた

ツールバー

ポインタが から に変わるところでクリックすると、そのページにジャンプします

ステータスバー

ファイルの現在表示されているページと総ページが表示されます

しおり・・・項目をクリックするとそのページにジャンプします

### ツールバーおよびステータスバーのボタンについて

印刷 ・・・ 印刷する

・・・ ページのズームイン（拡大表示）をする

・・・ ページのズームアウト（縮小表示）をする

・・・ 最初のページに戻る

・・・ 前のページに戻る

・・・ 次のページに進む

・・・ 最後のページに進む

・・・ 直前に表示したページに戻る

・・・ ボタンで前のページに戻っているときに、再び次のページに進む

・・・ ページを実際の大きさで表示する

・・・ ページ全体を画面に表示する

・・・ ページの幅を画面にあわせて表示する

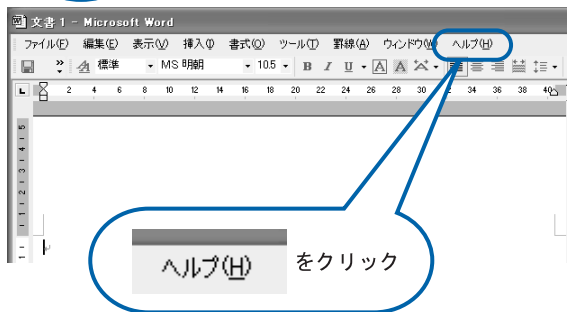
PDF ファイルについて詳しくは、「Acrobat Reader」のヘルプをご覧ください。

# 4 ヘルプを使って調べる

## ソフトウェアの使い方を知りたいとき

ほとんどのソフトウェアは、そのソフトウェアの情報を集めた「ヘルプ」を持っています。「ヘルプ」では、詳しい使い方や専門用語などの、そのソフトウェアに関する一番詳しい情報を見ることができます。ほとんどのソフトウェアは、メニューバーの「ヘルプ」をクリックすることでそのソフトウェアの「ヘルプ」を表示させることができます。

使いたいソフトウェアを起動します。
「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」（••▶ P.63）

Step 2

※ソフトウェアによって、「ヘルプ」が無い場合や表示方法が異なる場合があります。

## Windows に関することを調べたいとき

Windows の「ヘルプとサポートセンター」では、Windows の詳しい使い方や、Windows を使っていて困ったときの解決方法、調べたい用語などの情報を見ることができます。

Step 1

「スタート」ボタン→「ヘルプとサポート」の順にクリックします。

「ヘルプとサポートセンター」が起動します。

# 第 6 章

# パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す方法について説明しています。
いきなり「リカバリディスク」を実行せず「リカバリとは」「リカバリの準備」を読んでから作業を始めてください。



[DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST をお使いの方は ]
お使いのパソコンでは、用意するディスクやリカバリの手順がこの章の記載と異なります。
『別冊 ＦＭＶ活用ガイド（仮想ディスク編）』をご覧になり、リカバリを実行してください。

# 1 リカバリとは

パソコンをご購入時の状態に戻すには、いったんハードディスクの内容をすべて削除し、「リカバリディスク」、「アプリケーションディスク」などからご購入時のデータをインストールします。
パソコンをご購入時の状態に戻すことを「リカバリをする」とも言います。
リカバリをすると、設定などがすべてリセットされるので、原因が特定できない不具合が解消されることがあります。
リカバリをするときは、ここに書かれていることをお読みになり、あらかじめリカバリについて理解しておきましょう。

重 要

**DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/STをお使いの方は、『別冊 ＦＭＶ活用ガイド（仮想ディスク編）』をご覧ください**

DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/STでは、特別な技術により「仮想ディスク領域」のデータを使ってパソコンをご購入時の状態に戻します。用意するディスクやリカバリの手順が他の機種と異なりますので、この6章については『別冊 ＦＭＶ活用ガイド（仮想ディスク編）』をご覧ください。

## リカバリをする前にもう一度確認

リカバリをすると、それまでパソコン内にあったデータや設定が削除されます。
次のような方はリカバリをしないで問題が解決できる場合がありますので、もう一度確かめてください。

### ■パソコンに起こったトラブルを解決したい方

どうしてもリカバリが必要か、もう一度確認してください。
「パソコンにトラブルが起こったときは」（••▶ P.138）

### ■削除したソフトウェアをインストールし直したい方

ソフトウェアの再インストールのためにリカバリをする必要はありません。
添付のソフトウェアのインストール方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」をご覧になり、「FM かんたんインストール」を選択してください。
その他のソフトウェアのインストール方法は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

### ■ドライバを更新したい方

必要なドライバがわかっている場合、特定のドライバを更新するためにリカバリをする必要はありません。
ドライバの更新については「Q ドライバを更新する」（••▶ P.163）をご覧ください。

## ■廃棄・譲渡の前に、個人情報を消したい方

ハードディスクの情報を消すことが目的の方は、リカバリではなく「ハードディスクデータ消去」を行ってください。
「ご不要になったときの廃棄・リサイクルについて」（••▶ P.174）をご覧ください。

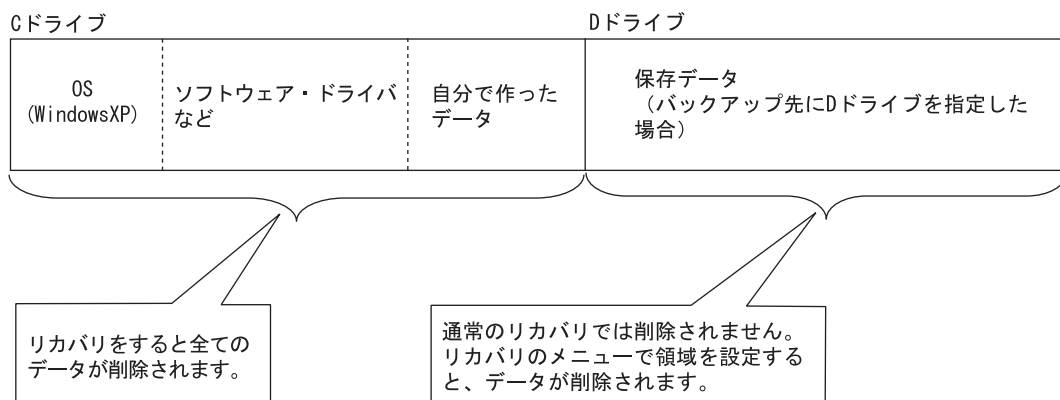
## ■インスタントテレビ /DVD 機能のトラブルを解決したい方（BIBLO のみ）

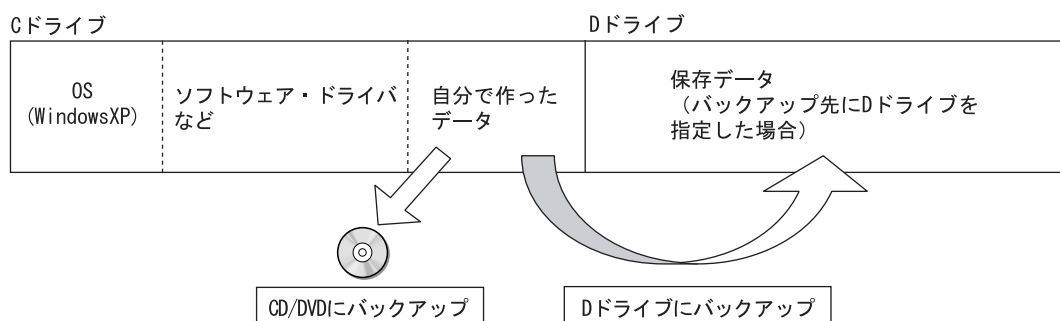
BIBLO でインスタントテレビ /DVD 機能対応の機種をお使いの方は、インスタントテレビ / DVD 機能のみをリカバリすることができます。
詳しくは、『インスタントテレビ /DVD 機能 取扱説明書』をご覧ください。

6

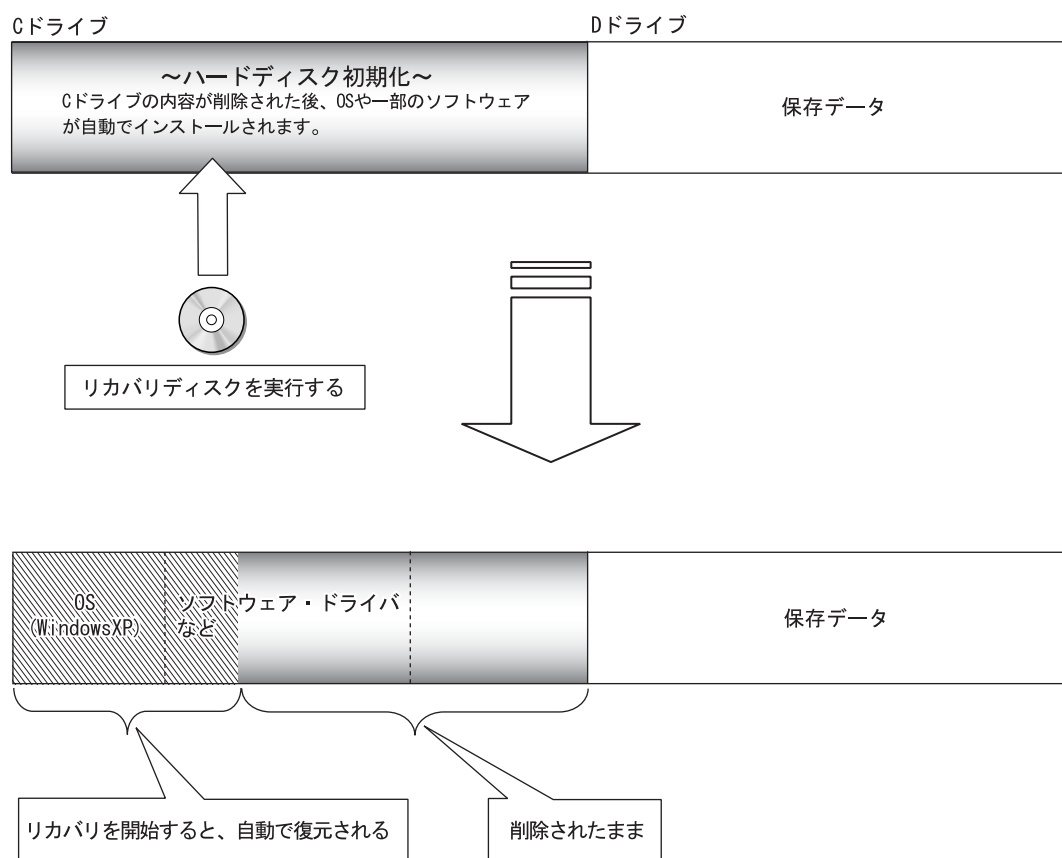
# リカバリの考えかた

リカバリをして、パソコンをご購入時の状態に戻すまでにどんな作業が必要か、簡単に説明します。
次のイメージ図をご覧になり、流れを理解しましょう。

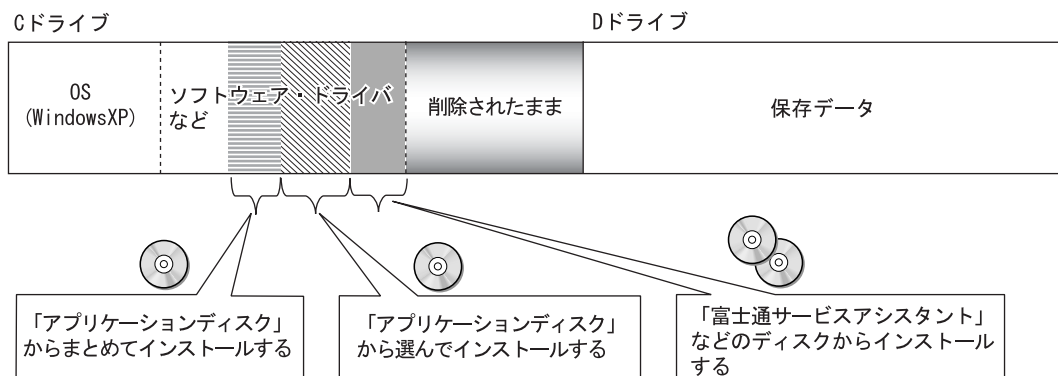
## ハードディスクの領域

## リカバリ前にすること

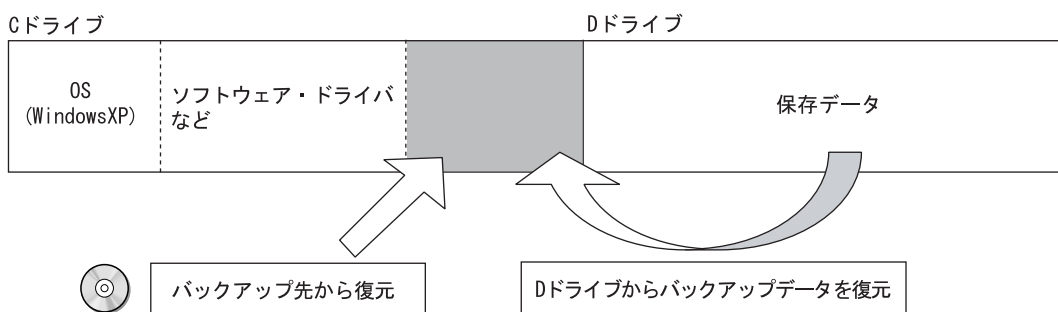
C ドライブのデータを CD/DVD や D ドライブにバックアップします。

## リカバリ実行（ハードディスクの初期化～ご購入時の状態に戻るまで）

### ■「リカバリディスク」の実行

ハードディスクを初期状態にし（データは消去されます）、Windows をインストールし直します。
ドライバやいくつかのソフトウェアは、このとき一緒に再インストールされます。

すべてのソフトウェアを再インストールする必要のない場合は、リカバリディスクからのインストールだけでリカバリを終了しても構いません。
ただしその場合は、「必ず実行してください」を実行するなど、パソコンに必要な設定をするための操作が必要です。

### ■残りのソフトウェアのインストール

「リカバリディスク」から復元できなかったソフトウェアを添付のディスクからインストールします。

## 以前使っていた状態に戻す（ご購入時の状態に戻った後）

バックアップ先から、データを元の場所に戻します。

# 2 リカバリの準備

添付のディスクから、ご購入時のデータをインストールします。
ここに書かれていることを必ず確認し、準備してください。

重 要

**トラブル解決が目的でリカバリをする方は**

リカバリをしても、問題が解決されない場合があります。その場合は、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、状況に応じたサポートやサービスをご利用ください。

**リカバリの手順について**

この章では、ご購入時の設定に戻す手順を説明しています。したがって、お客様ご自身で設定を変更される場合、ご自身の責任において行ってください。

**ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方は［DESKPOWER］**

パソコンとは別に、ホームサーバー機能のリカバリが必要です。
詳しくは、『ホームサーバー機能　取扱説明書』をご覧ください。

## バックアップをする

バックアップとは、万が一のアクシデントで大切なファイルなどを失わないために、データの予備を保存しておくことです。ハードディスクを初期状態に戻す前に、一時的にファイルを別の場所に保存することもバックアップといいます。

### ■ファイルのバックアップがすんでいない方は

パソコンをご購入時の状態に戻すと、ご購入後にお客様が作成されたファイル、追加したソフトウェアなどがすべて消えてしまいます。次のようなデータも消えてしまいますのでご注意ください。

- Internet Explorer の「お気に入り」に追加してきたホームページのアドレス
- やりとりしたメール
- アドレス帳に保存してきたメールアドレス
- 保存先を C ドライブに指定してダウンロードしたドライバやソフトウェアなど

重要と思われるデータは、お客様の責任においてDドライブやフロッピーディスク、CD/DVDなどにコピーし、保存してください。
バックアップせずにリカバリを行い、お客様個人のデータが消失した場合、元に戻すことはできませんのでご了承ください。

POINT

**普段からのバックアップのすすめ**

お使いのパソコンに何らかの不具合が起きてからファイルのバックアップを行っても、正しいファイルが保存されないこともあります。
パソコンが起動しない、ファイルが壊れて開けない、といった突然のトラブルに備えて、日頃から定期的にバックアップを行う習慣をつけましょう。

## ■バックアップ方法について

バックアップ方法は、このパソコンに添付の「FM かんたんバックアップ」を使う方法と、ファイルをコピーする方法の 2 種類があります。
バックアップ方法については、「バックアップで大切なデータを守る」（••▶ P.38）をご覧ください。

重 要

**不具合が起きてからバックアップをとるときは**

パソコンに不具合が起きてからリカバリをする場合、「FM かんたんバックアップ」でバックアップをしないでください。復元するときに、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。

## ■データの保存場所について

ご購入後お客様が作成したファイルなどをご自身でコピーしてバックアップした場合は、パソコンをご購入時の状態に戻した後に、そのファイルを同じ場所に戻すようにします。バックアップの際は、ファイルのあった場所をメモなどして忘れないようにしてください。

# リカバリをする前に気をつけておくこと

「リカバリディスク」を実行してご購入時の状態に戻す前に、次の項目を確認してください。

## ■リカバリの動作環境は満たしていますか？

リカバリをしてご購入時の状態に戻すには、ハードディスクドライブ（C ドライブ）が次の条件を満たしている必要があります。

・ファイルシステムが NTFS に設定されている
・容量が 15GB 以上である

なお、ご購入時からシステムの変更や容量の変更をしていない方は、この設定になっています。

POINT

**ファイルシステムを変更した人は**

ファイルシステムを FAT32 に変更してしまっている人は、リカバリを実行する手順の途中で NTFS に戻すことができます。リカバリ方法を選択する画面で次の項目を選択してください。
・「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」

## ■AC アダプタを使用していますか？［BIBLO］

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。
取り付け方については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「初めて電源を入れる」をご覧ください。

## ■添付の機器以外は接続しないでください

パソコンをご購入時の状態に戻すときは、ご購入時に添付されている機器以外は接続しないでください。セットした PC カードや増設したメモリなども取り外してください。
**ただし、BIBLO をお使いの方で USB マウス（光学式）が添付の場合は、添付の USB マウス（光学式）も接続しないでください。**マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

### ■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

ソフトウェアのインストールなどでファイルをコピーしている間は、他の操作をしないでください。次の画面が表示されるのに時間がかかる場合があります。むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、インストールが正常に終了しない場合があります。

### ■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリディスク実行からソフトウェアのインストール終了まで、早く終了する機種でも 3 時間はかかります。
半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

## 作業中に起こる可能性のあるトラブル

リカバリディスクを実行するときやソフトウェアをインストールするときに、次のようなトラブルが起こる可能性があります。

### ■ 画面が真っ暗になった

省電力機能が働いた可能性があります。
［DESKPOWER の場合］
マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを 1 回押してください。または、キーボードのスタンバイボタンを押してください。
［BIBLO の場合］
フラットポイントに触れるか、【Shift】などを押してください。
それでも復帰しない場合は、電源ボタンを押してください。

### ■CD/DVD のファイルが実行されない

CD/DVD をセットするドライブ名が間違っている可能性があります。
ドライブ名を間違って入力していると、ファイルが実行されませんので入力し直してください。
CD/DVD をセットするドライブ名は、ハードディスクの領域を設定し直した場合など、お使いの状況により異なります。ご購入時の状態では、CD/DVD をセットするドライブ名は「E」です。

### ■ 電源が切れない

電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。

6

## 必要な作業と用意するディスクを確認する

ご購入時の状態に戻す作業には、添付のディスクを使います。用意するディスクと、どの作業で使用するのかを確認してください。
お使いのパソコンによっては、使うディスクが変わりますので、機種名（品名）・モデル名などご確認ください。
機種名（品名）の確認方法については、『パソコンの準備』→「使い始める前に」→「確認してください」→「機種名を確認してください」をご覧ください。

POINT

**インスタントテレビ/DVD機能対応の機種に添付のディスクについて［BIBLO］**
インスタントテレビ/DVD機能対応のBIBLOには、「インスタントテレビ/DVD機能リカバリディスク」が添付されています。
このディスクは、インスタントテレビ/DVD機能だけをリカバリするとき、またはリカバリメニューで「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択して操作するときに使用するものです。通常のリカバリでは必要ありません。

### ディスクの呼び方、表記のしかたについて

ご購入時の状態に戻すとき使用する「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」は、このマニュアルや画面のメッセージで次のように表記されている場合があります。
- 「リカバリディスク」
- 「アプリケーションディスク 1」

このような表記があった場合は、いずれも「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」のことを示しています。ご注意ください。
また、「アプリケーションディスク」と表記してある場合は、
- 「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」
- 「アプリケーションディスク 2」
- 「アプリケーションディスク 3」（BIBLO MG、LOOX シリーズをお使いの方には添付されていません）

のいずれか、またはすべてを示しています。

## 用意するディスクについて

カスタムメイドモデルでスタンダートセットを選択した方は、ここから「「リカバリディスク」を実行する（カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方）」（••▶ P.130）をご覧ください。それ以外の方は、次の表で必要な作業と用意するディスクを確認してください。

お使いのモデルについてカスタムメイドモデルかどうかわからない場合は「カスタムメイドモデルについて」（••▶ P.7）をご覧ください。

| 用意するディスク | このディスクを使う作業 |
| --- | --- |
| リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1 | 「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する（••▶ P.108） |
| リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1<br>アプリケーションディスク 2<br>アプリケーションディスク 3 [ 注 1] | ソフトウェアをまとめてインストールする（••▶ P.114） |
| | ソフトウェア名を選んでインストールする（••▶ P.119） |
| 富士通サービスアシスタント | サービスアシスタントをインストールする（••▶ P.122） |
| Office Personal 2003 のパッケージ [ 注 2] | Office Personal 2003 をインストールする（••▶ P.123） |
| プロアトラス W2 for FUJITSU | プロアトラス W2 for FUJITSU をインストールする（••▶ P.127） |

[ 注 1]　BIBLO MG、LOOX シリーズをお使いの方には添付されていません

[ 注 2]　DESKPOWER T50H をお使いの方には添付されていません

ディスクの確認が終わったら、次の「「リカバリディスク」を実行する」（••▶ P.108）をご覧ください。

# 3 「リカバリディスク」を実行する

「リカバリディスク」を実行し、ハードディスクの中身を削除してから復元します。
「リカバリディスク」を実行するには、「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」を使います。

重 要

**DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/STをお使いの方は、『別冊 ＦＭＶ活用ガイド（仮想ディスク編）』をご覧ください**

DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/STでは、特別な技術により「仮想ディスク領域」のデータを使ってパソコンをご購入時の状態に戻します。用意するディスクやリカバリの手順が他の機種と異なりますので、リカバリについては『別冊 ＦＭＶ活用ガイド（仮想ディスク編）』をご覧ください。

## 「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する

準備ができたら「リカバリディスク」を実行します。

### ハードディスクを初期状態に戻す

重 要

**リカバリが中断されたら**

リカバリが中断された場合は、次の点を確認した後、次の手順 1 からやり直してください。

・周辺機器を取り付けたままにしていませんか
　パソコンの電源を切り、周辺機器はすべて取り外してください。
・手順を確認してください
　手順を間違えた可能性があります。操作手順を間違えると中断される場合があります。

**1** **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

重 要

**ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方［DESKPOWER］**

まずホームサーバー機能を停止し、次に Windows を終了する必要があります。
『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「電源の切り方と入れ方」→「電源を切る」で「電源ケーブルをコンセントから抜く場合」の手順をご覧になり、Windows の終了までを行ってください。

**2** **キーボードの【F12】の位置を確認します。**

パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。

## 3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、【F12】を押します。

【F12】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。

（これ以降の画面やメッセージの表示のしかたはお使いの機種により異なります）

しばらくすると、起動メニューが表示されます。

重要

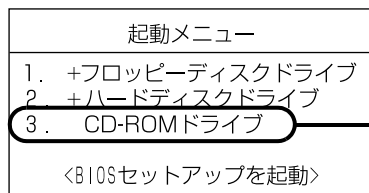
**起動メニューが表示されないときは**

【F12】を押すタイミングが合わないと、Windows が起動してしまいます。パソコンの電源を切り、「ハードディスクを初期状態に戻す」手順 1（••▶ P.108）からやり直してください。

## 4 「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

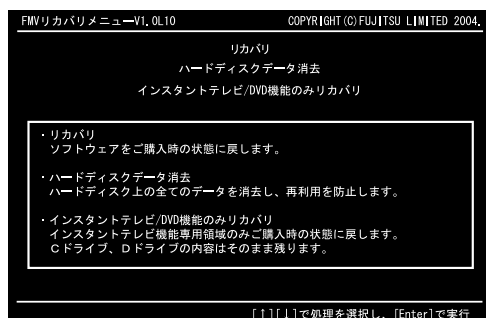
## 5 【↓】を押して「CD／DVD」や「CD-ROMドライブ」などを選択し、【Enter】を押します。

下記の画面例は、お使いの機種により異なります。

しばらくすると、「リカバリメニュー」が表示されます。

6

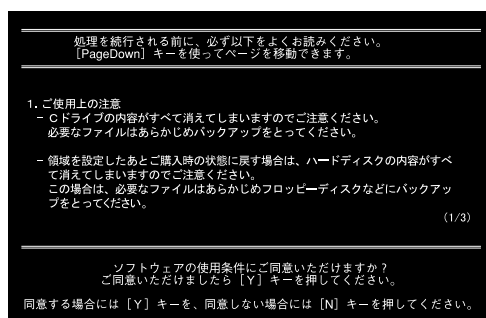
### リカバリメニューが表示されないときは

ディスクを取り出し、ディスクが間違っていないか確認してください。
確認後、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押し、パソコンを再起動してください。
その後、「ハードディスクを初期状態に戻す」手順 3（••▶ P.109）からやり直してください。

## 6 「リカバリ」が反転表示されていることを確認して、【Enter】を押します。

【Enter】を押してしばらくすると、「リカバリディスク」についての説明が表示されます。

## 7 【Pg Dn】または【Pg Up】でページを切り替え、内容をよくお読みください。

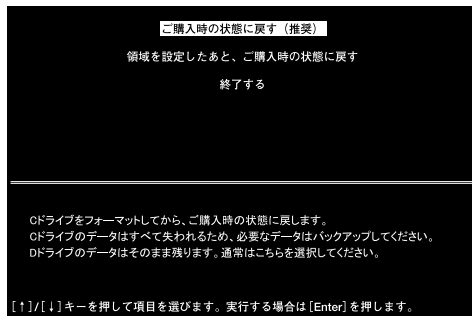
【↓】、【↑】と【Pg Dn】、【Pg Up】が同じキーに割り当てられているキーボードをお使いの方は、【Fn】を押しながら【↓】、【↑】を押します。

重 要

### ソフトウェアのご使用条件について

詳しくは、『パソコンの準備』の「ソフトウェアの使用条件」をご覧ください。

## 8 ソフトウェアのご使用条件に同意していただいた場合は、【Y】を押します。

画面にメインメニューが表示されます。

## 9 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して、【Enter】を押します。

確認の画面が表示されます。

**「終了する」を選択した場合**

【Y】を押すと「C:¥>」と表示されます（お使いの状況により異なる場合があります）。ディスクを取り出し、電源（パソコン電源）ボタンで電源を切ってください。

**「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択した場合**

D ドライブも含めハードディスクの全データが削除されます。重要なデータは、リカバリの作業をいったん中断して CD/DVD など別の媒体にバックアップしてください。
お使いの機種により一部手順が異なりますので、「Q C ドライブと D ドライブの割合を変更する」（••▶ P.167）を必ずご覧ください。

## 10 ご購入時の状態に戻す場合は、【Y】を押します。

画面の下に「復元しています...」と表示され、ファイルのコピーが始まります。

## 11 そのまましばらくお待ちください。

**カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は**

この先は「「リカバリディスク」を実行する（カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方）」手順 2（••▶ P.130）へ進んでください。
カスタムメイドモデルかどうかわからない場合は、「カスタムメイドモデルについて」（••▶ P.7）をご覧ください。

**お使いの状況によっては、2 枚目に入れ替える手順があります**

インスタントテレビ/DVD機能対応のBIBLOをお使いの方で、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択して操作した方は、「「インスタントテレビ/DVD機能リカバリディスク」を準備してください」というメッセージが表示されます。
「インスタントテレビ/DVD機能リカバリディスク」に入れ替え、【Y】などのキーを押してください。
ファイルのコピーが始まったら、しばらくお待ちください。手順 12 のメッセージが表示されたらディスクを取り出し、もう一度「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」をセットしてください。

## 12 「復元作業が正常に終了しました。」と表示されたら、次の「Windows の設定をする」（••▶ P.112）へ進みます。

## Windows の設定をする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れた時と同じように、Windows の設定が必要です。最初に読む本『パソコンの準備』を用意してください。

**13** **Y を押し、「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。**

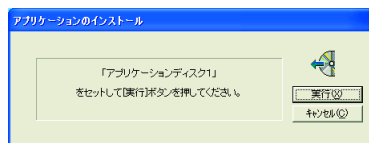
パソコンが再起動し、途中で「please wait ...」と表示されます。途中で画面が真っ暗になりますが、電源は切らないでください。途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

その後、ご購入後初めて電源を入れたときのように Windows のセットアップが始まります。『パソコンの準備』をご覧ください。

**14** **「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されたら、『パソコンの準備』をご覧になり、Windows の設定をします。**

『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「初めて電源を入れる」→「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」の「Windows の設定」の手順で、「Microsoft Windows へようこそ」の画面から操作してください。このとき、「セットアップ時の注意事項」もあわせてご覧ください。

Windows の設定完了後に次の手順 15 のメッセージが表示されたら、再びこの『FMV 活用ガイド』の手順に戻ります。

**15** **「「アプリケーションディスク 1」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「ソフトウェアをまとめてインストールする」（▶ P.114）に進みます。**

ここで「キャンセル」をクリックすると、リカバリが終了してしまいます。必要なソフトウェアだけをご自分でインストールしたい方は次の POINT 「ソフトウェアをインストールしないでリカバリを終了する」（▶ P.113）をご覧ください。

ここでリカバリを終了した場合、「ソフトウェアをまとめてインストールする」（••▶ P.114）の操作を行うことはできなくなります。

POINT

**ソフトウェアをインストールしないでリカバリを終了する**

手順 15 の画面で「キャンセル」をクリックすると、リカバリが終了してしまいます。
ソフトウェアをご購入時と同じ状態にする必要のない方は、「アプリケーションのインストールを中断します。」というメッセージで「はい」をクリックしてください。
この後、パソコンを動かすのに重要な設定を行う必要がありますので、続けて以下の操作を行ってください。

1. 「スタート」ボタン→「必ず実行してください」の順にクリックします。
   「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。
2. 「実行する」をクリックします。
3. コンピュータの情報を取得した後、「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。
   再び「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。
4. 内容を確認し、「OK」をクリックします。
   パソコンが再起動します。
5. 「アプリケーションディスク 2」に入れ替えます。
6. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
7. 「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。
   ```
   e:¥info.bat
   ```
   自動で必要な設定が行われます。
8. 「アプリケーションディスク 2」を取り出します。

この後は、添付のディスクなどから必要なソフトウェアをインストールしてください。
「アプリケーションディスク」からソフトウェアをインストールする場合は、「ソフトウェア名を選んでインストールする」（••▶ P.119）の手順を参考にしてください。

6

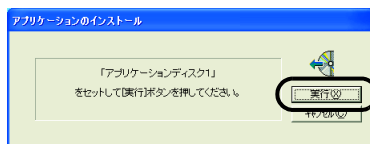
# 4 ソフトウェアをまとめてインストールする

ご購入時の状態に戻すために、続けてアプリケーションディスクから必要なソフトウェアをインストールします。インストール後は、「必ず実行してください」を実行し、パソコンに最適な設定を行います。
ソフトウェアのインストール中は、メッセージが表示されるまで、アプリケーションディスクを入れ替えないでください。トラブルの原因になる場合があります。

## ソフトウェアをインストールし、パソコンに最適な設定を行う

### ソフトウェアをまとめてインストールする

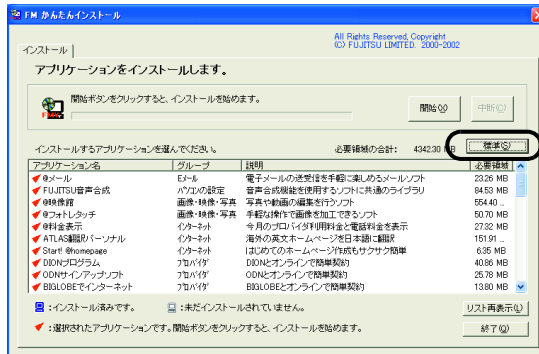
「FM かんたんインストール」で、ソフトウェアをインストールします。
ここでは、「標準」ボタンで複数のソフトウェアをまとめてインストールできます。
次の手順は「Windows の設定をする」（••▶ P.112）の手順の続きになっています。

**1** **「「アプリケーションディスク 1」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」がセットされていることを確認し、「実行」をクリックします。**

**POINT**

**手順 1 で「キャンセル」をクリックしてしまった方は必ず「必ず実行してください」を実行してください**

手順 1 で「キャンセル」をクリックして先に進むと、リカバリが終了し、手順 2 以降の操作を行うことができなくなります。「ソフトウェアをインストールしないでリカバリを終了する」（••▶ P.113）をご覧になり、パソコンに必要な設定を行ってください。

## 2 「標準」をクリックします。

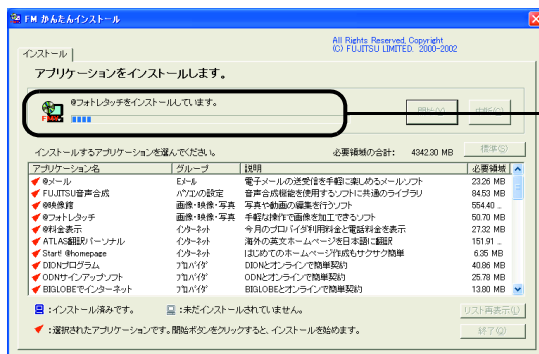
「標準」をクリックすると、ご購入時にインストールされていたソフトウェアが一括で選択されます。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

## 3 「開始」をクリックします。

## 4 「インストールを開始します。」というメッセージで「OK」をクリックします。

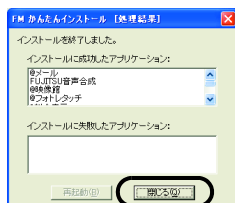
ソフトウェアのインストールが始まります。そのまましばらくお待ちください。

手順 5 の「FM かんたんインストール［処理結果］」ウィンドウが表示されるまで、画面上で操作したり、クリックしたりしないでください。

6

**「乗換案内 時刻表対応版 Setup」と表示されたときは**

「FM かんたんインストール」の「標準」ボタンでソフトウェアのインストールをしているとき、しばらくすると「乗換案内 時刻表対応版 Setup」画面が表示される場合があります。正常に動作していますので、何も操作はせず、そのままお待ちください。自動でインストールが終了し、元の画面に戻ります。

インストールが終了すると、「FM かんたんインストール ［処理結果］」ウィンドウが表示されます。

## 5 「閉じる」をクリックします。

## 6 「終了」をクリックします。

## 7 「「アプリケーションディスク●」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、ディスクを入れ替えます。

●には、2 ～ 3 の数字が入ります。

POINT

**「・・・Windowsが実行する動作を選んでください。」ウィンドウや「FUJITSU(E:)」ウィンドウが表示されたときは**

「アプリケーションディスク●」をセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウや「FUJITSU(E:)」ウィンドウが表示されることがあります。
ウィンドウが表示された状態では、次の操作に進めないことがあります。操作を続けるには、
・「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウ→「キャンセル」
・「FUJITSU(E:)」ウィンドウ→ ☒（閉じる）
をクリックしてウィンドウを閉じてください。

## 8 「実行」をクリックします。

## 9 手順 2 ～ 6 の手順に従って操作します。

「FM かんたんインストール」が終了します。

## 10 手順7のメッセージが表示されなくなるまで、手順7～9の操作を繰り返します。

## 11 セットしてあるディスクを取り出します。

## 「必ず実行してください」を実行する

パソコンの初期設定を行うプログラムです。最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

**12** **「スタート」ボタン→「必ず実行してください」の順にクリックします。**

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

**13** **「実行する」をクリックします。**

パソコンの初期設定が始まります。手順 14 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

**14** **「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。**

再び「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

**15** **内容を確認し、「OK」をクリックします。**

パソコンが再起動します。

## Drag'n Drop CD+DVD をご購入時と同じ設定にする

Drag'n Drop CD+DVD の常駐を解除し、パソコン起動時に表示される次のような画像を表示しないようにします。

**16** **画面右下の通知領域で（Drag'n Drop CD+DVD）を右クリックし、表示されたメニューから「設定」をクリックします。**

**17** **「設定」ウィンドウで「起動時に常駐する」の☑をクリックして□にします。**

**18** **「OK」をクリックします。**

**19** **画面右下の通知領域で（Drag'n Drop CD+DVD）を右クリックし、表示されたメニューから「終了」をクリックします。**

## Virtual CD をご購入時と同じ設定にする（BIBLO MG シリーズ、LOOX のみ）

Virtual CD の常駐を解除します。

**20** **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Virtual CD」→「Virtual CD マネージャー」の順にクリックします。**

**21** **「Virtual CD マネージャー」ウィンドウで、「表示」メニュー→「環境設定」の順にクリックします。**

**22** **「環境設定」ウィンドウで「各種設定」タブをクリックします。**

**23** **「タスクトレイに Virtual CD アイコンを常駐する」の☑をクリックして□にします。**

**24** **「OK」をクリックします。**

**25** **「Virtual CD マネージャー」のウィンドウの☒をクリックして終了します。**

「ソフトウェア名を選んでインストールする」（→ P.119）に進みます。

# 5 ソフトウェア名を選んでインストールする

次のソフトウェアは、「FM かんたんインストール」の「標準」ボタンではインストールされません。「FM かんたんインストール」をご自身で起動し、各ソフトウェアをインストールしてください。

## インストールが必要なソフトウェアと使用するディスク

お使いの機種により、ご購入時にインストールされていたソフトウェアが異なります。
必要なソフトウェアをご確認ください。

| ソフトウェア名 | インストールが必要な機種 | 使用するディスク |
| --- | --- | --- |
| 柿木将棋Ⅲ Light | 全機種（BIBLO LOOX を除く） | アプリケーションディスク 1 |
| OASYS ビューア | 全機種（BIBLO LOOXを除く[注1]） | アプリケーションディスク 1 |
| MediaStage SE | TV チューナーカード内蔵の機種 | アプリケーションディスク 2 [ 注 2] |

[ 注 1] BIBLO LOOX では、ご購入時にインストールはされていませんが、ソフトウェアは添付されており、「1 つずつソフトウェアをインストールする」（P.119）の手順を参考にインストールが可能です。ご購入時と同じ状態にしたい場合は、インストールの必要はありません。

[ 注 2] DESKPOWER C70HN、CE70HN、CE50HN をお使いの方でご購入時にTVチューナーカードを選択した場合は添付の「MediaStage SEのCD-ROM」をお使いください。

## 1 つずつソフトウェアをインストールする

POINT

**「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウが表示されたときは**

ディスクをセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された」（P.156）もあわせてご覧ください。

**ソフトウェアをインストールする前に**

画面が表示されているなど、別のソフトウェアが起動している場合は、インストールを始める前にすべて終了させてください。

### インストールのしかた

1 **インストールするソフトウェアが入っているディスクをセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックします。**
パソコンのワンタッチボタンからも「@ メニュー」を起動することができます。詳しくは、「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」（P.63）をご覧ください。

## 3 「@メニュー」で、上部の「名前でさがす」をクリックし、「パソコンの設定」をクリックします。

（アイコンの数や配置はお使いの機種により異なります）

## 4 （FM かんたんインストール）をクリックします。

「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されます。

## 5 表示されたソフトウェア名から、インストールするソフトウェア名をクリックします。

1 度に複数のソフトウェア名を選ぶことはできません。

## 6 「開始」をクリックします。

## 7 「OK」をクリックします。

以降は画面に表示されるメッセージに従ってインストールを進めてください。また必ず「インストールするときの注意」（••▶ P.121）をご覧ください。

## 8 同じディスク内の必要なソフトウェアのインストールが終了するまで、手順4～7（または5～7）を繰り返します。

## 9 インストールが終了し、「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されていたら、「終了」をクリックして「FM かんたんインストール」を終了します。

## 10 必要があればディスクを入れ替え、すべてのソフトウェアをインストールするまで手順 4 ～ 9 を繰り返します。

**11** すべてのソフトウェアのインストールが終了したら、「@メニュー」で（閉じる）をクリックして終了します。

**12** セットしてあるディスクを取り出します。

## インストールするときの注意

ソフトウェアをご購入時の状態に戻すときは、次のことに注意して、インストールしてください。ここに書かれていない設定は特に変更する必要はありません。そのまま「次へ」や「はい」、「OK」、「インストール」、「完了」などをクリックしてインストールを進めてください。
ソフトウェアのインストール終了後に再起動を勧めるメッセージが表示された場合は、必ずパソコンを再起動してください。

### ■柿木将棋Ⅲ Light

・手順 7 の後「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されます。「自動」をクリックしてインストールしてください。
・「柿木将棋Ⅲ Light」ウィンドウが表示されたら、をクリックして閉じます。

### ■OASYS ビューア

・「WinZip Self-Extractor」ウィンドウが表示されたら、「Setup」をクリックします。

### ■MediaStage SE

・手順 7 の後「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されます。「自動」をクリックしてインストールしてください。

# ご購入時と同じ状態や設定にするために

ソフトウェアをインストールした後、ご購入時と同じ状態や設定にするために、以下の操作を行ってください。

### ■デスクトップのショートカットアイコンを削除する

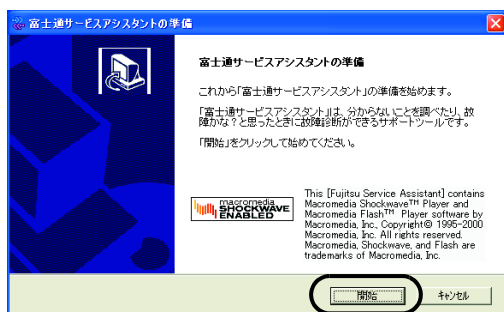
デスクトップの設定をご購入時と同じ状態にしたいときは、ソフトウェアのインストール後に表示された次のショートカットアイコンを、（ごみ箱）にドラッグして削除してください。
- （OASYSビューアV8）

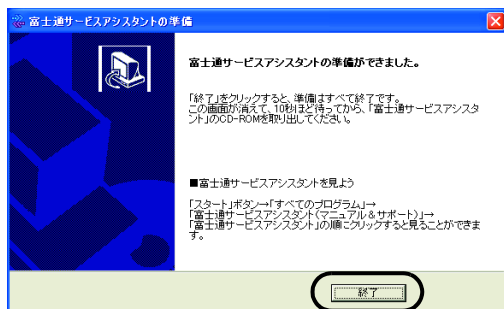
インストールしたソフトウェアによって、デスクトップに表示されるショートカットアイコンは異なります。

# 6 サービスアシスタントをインストールする

「富士通サービスアシスタント」を用意してください。

**1 「富士通サービスアシスタント」をセットします。**

**2 「富士通サービスアシスタントの準備」ウィンドウで「開始」をクリックします。**

サービスアシスタントのインストールが始まります。
しばらくすると、「富士通サービスアシスタントの準備ができました。」と表示されます。

**3 「終了」をクリックします。**

**4 「富士通サービスアシスタント」を取り出します。**

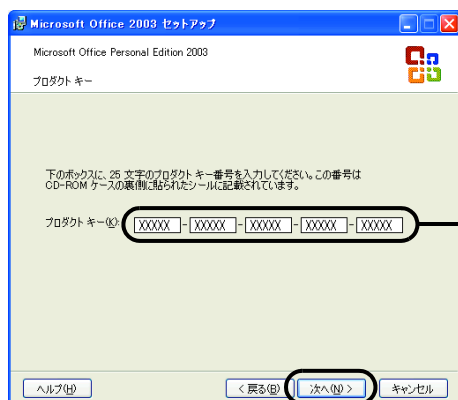
# 7 Office Personal 2003 をインストールする

「Office Personal 2003」「Home Style+」をインストールしてください。
ただし、次の場合は添付されていません。
・DESKPOWER T50H をお使いの方
・カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方

## Office Personal 2003 をインストールする

Word 2003、Excel 2003、Outlook 2003 を使えるようにします。
「Office Personal 2003 の CD-ROM」を用意してください。

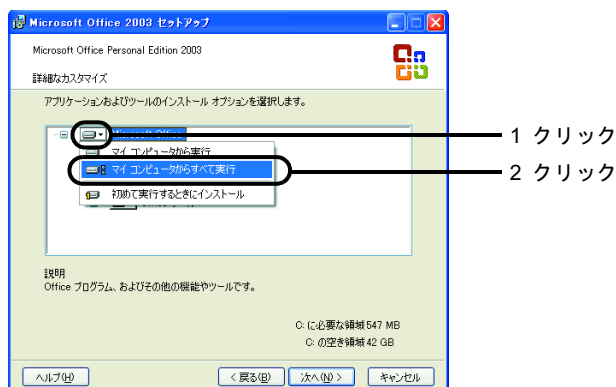
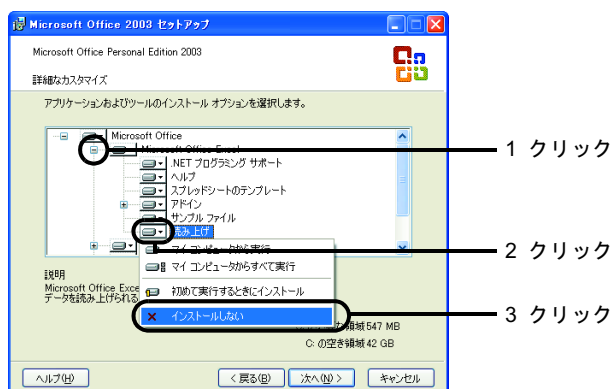
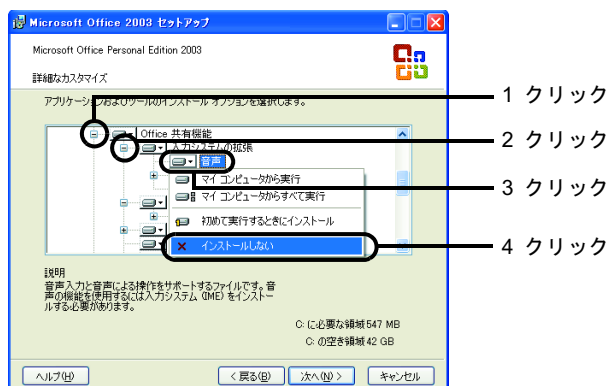
**1** **「Office Personal 2003 の CD-ROM」をセットします。**

**2** **「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。**

**3** **必要に応じて「ユーザー名」「頭文字」「所属」を入力し、「次へ」をクリックします。**

**4** **「カスタム インストール」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。**

**5** **「アプリケーションごとにオプションを指定してインストール」をクリックして☑にし、「次へ」をクリックします。**

6

## 6 「Microsoft Office」の左のをクリックし、「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。

## 7 1（Microsoft Office Excel）の左の⊞をクリックして⊟にします。2「読み上げ」の左のをクリック、3「インストールしない」をクリックします。

## 8 1（Office 共有機能）の左の⊞をクリックして⊟にし、2（入力システムの拡張）の左の⊞をクリックして⊟にします。3「音声」の左のをクリックし、4「インストールしない」をクリックします。

## 9 「次へ」をクリックします。

## 10 「ファイルの概要」ウィンドウで「完了」をクリックします。

インストールが始まります。
しばらくすると「Microsoft Office 2003 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

## 11 「セットアップの完了」ウィンドウで「完了」をクリックします。

## 12 「Office Personal 2003 の CD-ROM」を取り出します。

重要

**Office Personal 2003 ライセンス認証が必要になります**

パソコンがご購入時の状態に戻った後、実際に Office Personal 2003 のソフトウェアをお使いになる前には、「ライセンス認証」が必要になります。
詳しくは、「Office Personal 2003 をお使いになるときの注意」（••▶ P.135）をご覧ください。

POINT

**ワンタッチボタンの設定を変更する（BIBLO NH、LOOX シリーズ除く）**

ご購入時と同様に、ワンタッチボタンの「メール（「E-mail」）」ボタンを押したときに Outlook 2003 が起動するように設定し直します。

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メールソフト切り替えツール」→「メールソフト切り替えツール」の順にクリックします。
2. 「Outlook 2003」を にし、「OK」をクリックします。
3. 「設定を開始してもよろしいですか？」というメッセージで「OK」をクリックします。
4. 「設定が終了しました。」というメッセージで「OK」をクリックします。

次に、「Home Style+」のインストールを行います。

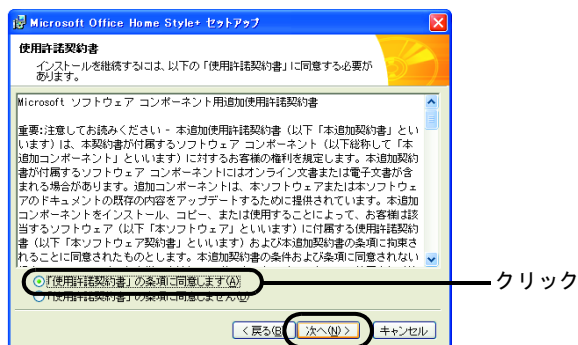
# Home Style+ をインストールする

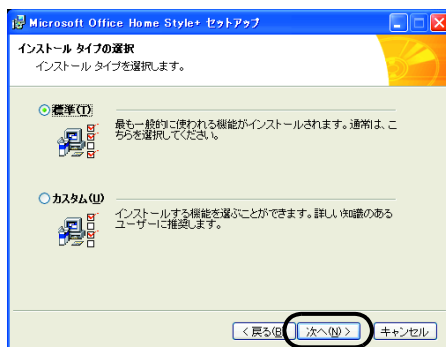
「Home Style+ の CD-ROM」を用意してください。

## 1 「Home Style+ の CD-ROM」をセットします。

## 2 「Microsoft Office Home Style+ セットアップへようこそ」ウィンドウで「次へ」をクリックします。

6

**3** **「使用許諾契約書」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。**

**4** **「セットアップ先のフォルダ」ウィンドウで「次へ」をクリックします。**

**5** **「インストールタイプの選択」ウィンドウで標準に◉がついていることを確認し、「次へ」をクリックします。**

**6** **「インストールの開始」ウィンドウで「次へ」をクリックします。**

システムの更新が始まります。しばらくお待ちください。

**7** **「セットアップは正常に終了しました」というメッセージで「OK」をクリックします。**

**8** **「Home Style+ の CD-ROM」を取り出します。**

# 8 プロアトラス W2 for FUJITSU をインストールする

「プロアトラス W2 for FUJITSU」を用意し、インストールしてください。
カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した場合は添付されていません。

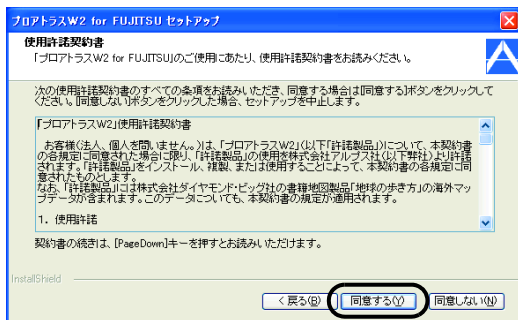
**POINT**

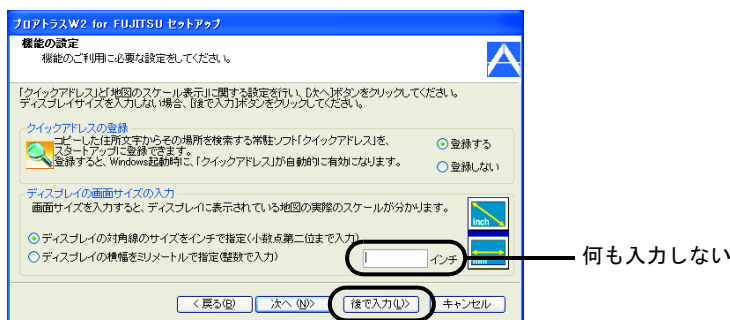
**BIBLO LOOX をお使いの方は**

BIBLO LOOX では、「プロアトラス W2 for FUJITSU」はご購入時にはインストールされていません。ご購入時と同じ状態にする場合はこの操作は不要ですが、次の手順を参考にインストールが可能です。

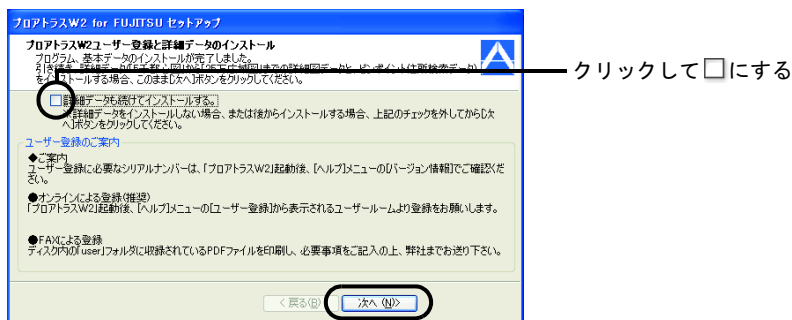
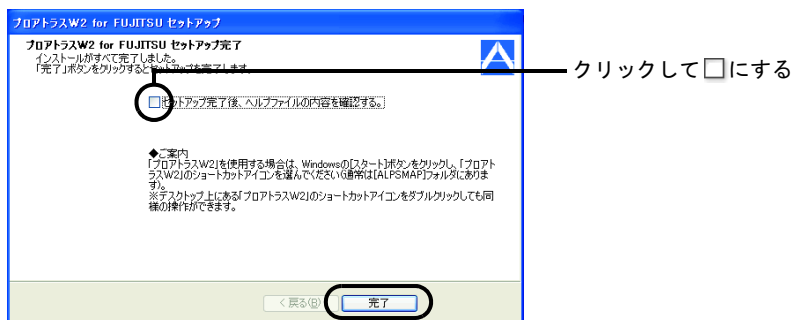
**1** **「プロアトラス W2 for FUJITSU」をセットします。**

**2** **「プロアトラス W2 for FUJITSU セットアップへようこそ」ウィンドウで「次へ」をクリックします。**

**3** **使用許諾契約書の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は、「同意する」をクリックします。**

**4** **「インストール方法の選択」ウィンドウで「標準インストール」をクリックします。**

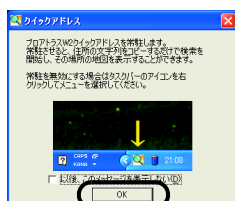
## 5 「機能の設定」ウィンドウで、そのまま何も入力しないで「後で入力」をクリックします。

## 6 「インストールの開始」ウィンドウで「インストール」をクリックします。

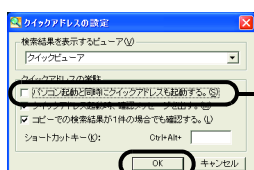
ファイルのコピーが始まります。手順 7 の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

## 7 「プロアトラス W2 ユーザー登録と詳細データのインストール」ウィンドウで「詳細データも続けてインストールする。」の☑をクリックして☐にし、「次へ」をクリックします。

## 8 「プロアトラス W2 for FUJITSU セットアップ完了」ウィンドウで「セットアップ完了後、ヘルプファイルの内容を確認する。」の☑をクリックして☐にし、「完了」をクリックします。

## 9 「プロアトラス W2 for FUJITSU」を取り出します。

「クイックアドレス」の常駐を解除します。

**10** **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ALPSMAP」→「プロアトラス W2 クイックアドレス」の順にクリックします。**

**11** **「プロアトラス W2 クイックアドレスを常駐します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。**

**12** **画面右下の通知領域で（クイックアドレス）を右クリックし、「設定」をクリックします。**

**13** **「クイックアドレスの設定」ウィンドウで「パソコン起動と同時にクイックアドレスも起動する。」の☑をクリックして□にし、「OK」をクリックします。**

**14** **画面右下の通知領域で（クイックアドレス）を右クリックし、「クイックアドレスの終了」をクリックします。**

デスクトップの設定をご購入時と同じ状態にしたい場合は、（プロアトラス W2）を（ごみ箱）にドラッグして削除します。

これで、ご購入時の状態に戻す作業は終了です。「以前の環境に近づける」（••▶ P.133）を参考に、リカバリをする前の環境に近づけてください。

6

# 9 「リカバリディスク」を実行する（カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方）

リカバリディスクを実行する前に、「リカバリの準備」（··▶ P.103）を必ずお読みください。

## 「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する

「リカバリディスク」を実行し、ハードディスクの中身を削除してから復元します。
「リカバリディスク」を実行するには、「リカバリディスク＆アプリケーションディスク1」を使います。

### ハードディスクを初期状態に戻す

**重要**

**リカバリが中断されたら**

リカバリが中断された場合は、次の点を確認した後、次の手順１からやり直してください。

・周辺機器を取り付けたままにしていませんか
　パソコンの電源を切り、周辺機器はすべて取り外してください。
・手順を確認してください
　手順を間違えた可能性があります。操作手順を間違えると中断される場合があります。

1. **「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」（··▶ P.108）手順１～11まで実行します。**

2. **復元が終わり、「復元作業が正常に終了しました。」と表示されたら、次の「Windowsの設定をする」（··▶ P.130）へ進みます。**

### Windowsの設定をする

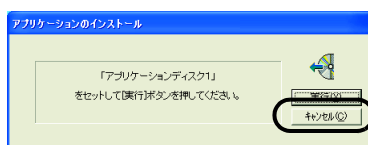
これでWindowsがご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れた時と同じように、Windowsの設定が必要です。最初に読む本『パソコンの準備』を用意してください。

## 3 Y を押し、「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

パソコンが再起動し、途中で「please wait ...」と表示されます。途中で画面が真っ暗になりますが、電源は切らないでください。途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。
その後、ご購入後初めて電源を入れたときのように Windows のセットアップが始まります。
『パソコンの準備』をご用意ください。

## 4 「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されたら、『パソコンの準備』をご覧になり、Windows の設定をします。

『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「初めて電源を入れる」→「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」の「Windows の設定」の手順で、「Microsoft Windows へようこそ」の画面から操作してください。このとき、「セットアップ時の注意事項」もあわせてご覧ください。
Windows の設定完了後に次の手順 5 のメッセージが表示されたら、再びこの『FMV 活用ガイド』の手順に戻ります。

## 5 「「アプリケーションディスク 1」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「キャンセル」をクリックします。

ここで「実行」をクリックすると、ソフトウェアをインストールすることができます。これらのソフトウェアは、ご購入時の状態ではインストールされていなかったものです。

## 6 「アプリケーションのインストールを中断します。よろしいですか？」というメッセージで「はい」をクリックします。

## 7 「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」を取り出します。

## 「必ず実行してください」を実行する

パソコンの初期設定を行うプログラムです。最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

**8** **「スタート」ボタン→「必ず実行してください」の順にクリックします。**

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

**9** **「実行する」をクリックします。**

**10** **「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。**

再び「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

**11** **「OK」をクリックします。**

パソコンが再起動します。

**12** **「アプリケーションディスク 2」をセットします。**

**POINT**

**「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウが表示されたときは**

ディスクをセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。

メッセージについては、「Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された」（••▶ P.156）もあわせてご覧ください。

**13** **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

**14** **「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。**

```
e:¥info.bat
```

自動で必要な設定が行われます。

**15** **「アプリケーションディスク 2」を取り出します。**

これで、ご購入時の状態に戻す作業は終了です。「以前の環境に近づける」（••▶ P.133）を参考に、リカバリをする前の環境に近づけてください。

**POINT**

**ご購入時にインストールされていないソフトウェアについて**

ここまでの手順で、ご購入時にインストールされているソフトウェアのみ復元されます。必要に応じて、添付の「アプリケーションディスク」などからインストールを行ってください。

「ソフトウェアをインストールする」（••▶ P.133）もあわせてご覧ください。

# 10 以前の環境に近づける

リカバリディスクを実行し、添付のディスクから必要なソフトウェアをインストールしたら、以前に使っていた環境に近づけましょう。

POINT

**ユーザー登録を再度行う必要はありません**

リカバリの前にお使いのパソコンからユーザー登録を行っている方は、リカバリ後に再度ユーザー登録を行う必要はありません。
ユーザー登録番号を再確認したり、忘れてしまったパスワードを再発行したい場合は、『サポート＆サービスのご案内』→「FMV ユーザー登録をする」→「ユーザー登録情報を変更するには（機種情報追加や住所変更など）」をご覧ください。

## 周辺機器を接続する

メモリやプリンタなどの周辺機器の接続については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「周辺機器」をご覧になり、お使いになる周辺機器を選択してください。
周辺機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

## ソフトウェアをインストールする

添付の「アプリケーションディスク」のソフトウェアや市販のソフトウェアなど、ご購入後にインストールしたソフトウェアは、改めてインストールする必要があります。
「アプリケーションディスク」からのインストールの方法は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」をご覧になり、「FM かんたんインストール」を選択してください。
その他のソフトウェアのインストール方法は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

POINT

**ソフトウェアをインストールした後は**

ソフトウェアをインストールした後は、すぐにソフトウェアを使わず、パソコンを再起動してからお使いになることをお勧めします。

# バックアップしたファイルを復元する

バックアップしたファイルを元の場所に戻します。

## コピーしてバックアップしたファイルを復元する

ファイルを元の場所にコピーします。このとき、違う場所にコピーすると使用できなかったり、別途設定が必要になったりする場合がありますのでご注意ください。
また、ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合は、先にそのソフトウェアをインストールし直してからファイルをコピーしてください。

## 「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルや設定を復元する

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルやインターネット設定を元の場所に復元します。詳しくは、「「FMかんたんバックアップ」を使う」(••▶ P.39)をご覧ください。

# インターネットに再接続するときの注意

リカバリディスクを実行すると、それまで Windows Update 機能を使って更新・修正していたプログラムなども、ご購入時の状態に戻ってしまいます。
リカバリ後、モデムや LAN などの通信回線に接続してインターネットを始める前に、まずセキュリティ対策を行ってください。

## セキュリティ問題の修正プログラムを実行する

コンピュータウイルスの感染を防ぐため、「サポートディスク」に修正プログラムが用意されている場合があります。インターネットに接続する前に、修正プログラムがあるか確認し、ある場合は修正プログラムを実行してください。
修正プログラムは、以下の手順で確認・実行できます。

1. 「サポートディスク」をセットし、マイコンピュータなどで中のファイルを表示します。
   リカバリ後の状態では、CD/DVD ドライブは、E ドライブです。
2. (OTHER) フォルダの中の (OS) フォルダを開きます。
   修正プログラムのフォルダが表示されます。
3. フォルダを開いて中のファイルを実行し、インストールしてください。
   修正プログラムのフォルダは複数ある場合があります。順番に、すべてのファイルを実行してください。

### インターネットに接続し、「Windows Update」を実行する

リカバリをする前にインターネットに接続していた方は、オンラインサインアップを行う必要はありません。接続の設定を行うだけで再びインターネットをご利用になれます。

リカバリ後初めてインターネットに接続するときは、まずセキュリティ対策をしてから「Windows Update」を実行してください。セキュリティ対策をしてから Windows の環境を最新の状態にすることで、多くのウイルスや不正アクセスからパソコンを守ることができます。また、普段パソコンをお使いになるときも、「Windows Update」を利用して、常に最新の環境にしておくことをお勧めします。

「Windows Update」については、「「Windows Update」を実行する」（→ P.46）をご覧ください。

インターネットの設定・セキュリティ対策・「Windows Update」については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」をご覧ください。

**POINT**

**「FM かんたんバックアップ」でバックアップと復元を行った方は**

インターネットへの接続がダイヤルアップ接続の方で、「FM かんたんバックアップ」でバックアップと復元を行った方は、接続の設定を行う必要はありません。『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「インターネットを始めるための準備をする」→「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」で「セキュリティ対策の流れについて」をご覧になり、「Windows Update」を実行してください。

「FM かんたんバックアップ」については、「「FM かんたんバックアップ」を使う」（→ P.39）をご覧ください。

## Office Personal 2003 をお使いになるときの注意

### ライセンス認証を行う

Office Personal 2003 のソフトウェアをお使いになる前に、ライセンス認証を行ってください。

ライセンス認証は、インターネット経由で行うことをお勧めします。インターネットに接続する際、「インターネットに再接続するときの注意」（→ P.134）もご覧ください。

認証手順については、Office Personal 2003 に添付の『スタート ガイド』→「ライセンス認証を行う」をご覧ください。

### Office のアップデートを実行する

ライセンス認証が終わったら、Office のアップデートを実行してください。最新セキュリティ アップデートが適用され、より安心して Office 製品をお使いになることができます。

Office のアップデートは、「Windows Update」の画面から選ぶことができます。

## その他

### パソコンの設定を変える

画面の背景（壁紙）、スクリーンセーバー、画面の解像度や発色数など、お客様が以前使っていたパソコンの設定に戻します。設定については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「よくある質問集」→「画面表示」をご覧ください。

7

# 第 7 章

# トラブルかなと思ったら

# 1 パソコンにトラブルが起こったときは

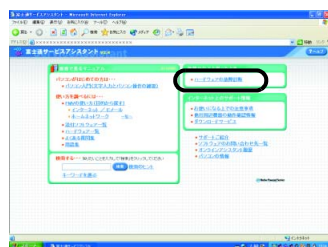
パソコンの調子がよくない、あるいは、パソコンが動かないと思ったら、状況に応じて次のことをチェックしてみてください。簡単に解決できる場合があります。

## ■「サービスアシスタント」が起動できる場合

パソコンの画面が表示できる、操作できる　など

### STEP1　「ハードウェアの故障診断」で診断する

パソコンに異常があるかどうかをチェックします。

「サービスアシスタント」のトップ画面で「ハードウェアの故障診断」を選び、トラブル箇所についてパソコンの自己診断をします。

< 診断後 >

- パソコンに問題があった場合は、修復のための適切なアドバイスが表示されます。
- パソコンに問題がなかった場合は、「画面で見るマニュアル」の「よくある質問集」内から参考になりそうなトピックが一覧表示されます。

トピックの一覧表示から解決の方法が見つからない場合は、「次へ進む」をクリックし、「よくある質問集」から探します。

「ハードウェアの故障診断」で問題が見つからず、表示されたトピックや「よくある質問集」からもトラブルが解決しなかった場合は、次のステップに進みます。
マニュアルなどから解決方法を探し、それでも解決しない場合はサポートを利用します。
探し方については「サービスアシスタントの使い方」（••▶ P.77）をご覧ください。

### STEP2　自分で探す

サービスアシスタントの画面で見るマニュアルやFMVユーザーのためのホームページから、自分で探します。

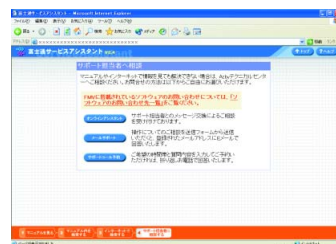
- マニュアルを見る
  「よくある質問集」だけでなく、「画面で見るマニュアル」全体から探します。
- マニュアル内を検索する
  キーワードを入力し、マニュアル全体から検索します。

→

- インターネットで検索する（無料）
  インターネットに接続して、FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（http://azby.fmworld.net/）から探します。

### STEP3　サポートを利用する★

自分で解決することが難しいときは、サポート担当者や Azby テクニカルセンターに相談できます。

- サポート担当者に相談する
  次の相談方法があります。
  - オンラインアシスタント
  - メールサポート
  - サポートコール予約

［注1］　「サービスアシスタント」の操作方法については、「サービスアシスタントの使い方」（••▶ P.77）をご覧ください。
［注2］　☆印のサポートのご利用には、ユーザー登録が必要となります。ユーザー登録方法については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。
［注3］　一部のサービスでは、インターネットへの接続環境が必要となります。また、別途通信費がかかります。

## ■ 「サービスアシスタント」が起動できない場合

パソコンの電源が入らない、パソコンの画面が表示できない、マウス／フラットポイント、キーボードが操作できない　など

### STEP1　『ＦＭＶ 活用ガイド』（この本）の Q&A 集を見る

サービスアシスタントが見られない状態のときは、「パソコンがおかしいときの Q&A 集」（P.140）から該当するトラブルを探します。
パソコンの電源が入らない、パソコンの画面が表示できない、マウス / フラットポイント、キーボードが操作できないなどのトラブルについて調べることができます。

こんなトラブルの場合は、下の「その他」も参考にしてください。

・ソフトウェアがおかしい
　→「ソフトウェアについて問い合わせる」
・買ってすぐの状態で、起動しなくなった
　→「リカバリディスクを実行し、ご購入時の状態に戻す」
・買ってすぐの状態で、青い画面やエラーが表示されてしまった
　→「リカバリディスクを実行し、ご購入時の状態に戻す」

### STEP2　電話で問い合わせる（一部有料）★

どうしてもトラブルが解決しないときは、お問い合わせください。
「お問い合わせ先について」（P.170）
『サポート＆サービスのご案内』

## その他

パソコンの状態や解決したい内容によっては、次のような方法もあります。

### ■インターネットに接続してサポート情報を手に入れる（無料）★

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（http://azby.fmworld.net/）をご覧になることができる場合
AzbyClub ホームページのサポートサイトでは、機種別の注意事項など、最新のサポート情報を掲載しています。定期的にご覧になることをお勧めします。
また、解決方法を E メールで教えてくれる「メールサポート」もご利用になれます。

### ■ソフトウェアについて問い合わせる

ソフトウェアについて問題が起きた場合
このパソコンに添付されているソフトウェアについてのお問い合わせは、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

### ■リカバリを実行し、ご購入時の状態に戻す

購入直後、起動しないなどのトラブルが発生した場合
修理が必要と判断した場合
パソコンをご購入時の状態に戻します。リカバリを実行すると、C ドライブのデータ（ご購入後に作成したもの）は消えてしまいますのでご注意ください。
「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（P.97）
[DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST をお使いの方 ]
『別冊 ＦＭＶ 活用ガイド（仮想ディスク編）』→「仮想ディスク領域からリカバリをする」

### ■その他の機能について

[ ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方 ]
ホームサーバー機能のリカバリについては、『ホームサーバー機能　取扱説明書』をご覧ください。
[インスタントテレビ/DVD機能対応の機種をお使いの方（BIBLO）]
インスタントテレビ/DVD機能のリカバリについては、『インスタントテレビ/DVD機能　取扱説明書』をご覧ください。

# 2 パソコンがおかしいときのQ&A集

## Q パソコンが起動しない、画面に何も映らない［DESKPOWER］

### A 電源を入れても何も表示されないとき、画面が真っ暗になってしまったときは、次の点を順番に確認してください。

真っ暗な画面にメッセージや文字が表示されているときは、「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）」（••▶ P.146）をご覧ください。

**重要**

**ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方は［DESKPOWER］**

パソコンの電源ケーブルを取り外す場合は、ホームサーバー機能のシステムを必ず停止してください。ホームサーバー機能のシステムの停止については、『パソコンの準備』→「パソコンを準備する」→「電源の切り方と入れ方」で「電源ケーブルをコンセントから抜く場合」をご覧ください。

**【電源（パソコン電源）ランプが消灯している場合】**

| 考えられる原因 | 対象機種 | 対処 |
|---|---|---|
| 電源ケーブルが正しく接続されていない | 全機種 | いったん電源ケーブルを抜いて 3 分ほど待ち、再び接続し直してください。電源ケーブルの接続については、『パソコンの準備』→「接続する」をご覧ください。 |
| 休止状態になっている（ご自身で設定した場合） | | 電源ボタンを押して元の状態に戻してください。 |
| 周辺機器が正しく取り付けられていない | 全機種 | 周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。→「Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（••▶ P.159） |

**【電源（パソコン電源）ランプが点灯している場合】**

電源（パソコン電源）ランプの色を確認してください。

#### ■ 電源（パソコン電源）ランプがオレンジ色に点灯している

| 考えられる原因 | 対象機種 | 対処 |
|---|---|---|
| パソコンの省電力機能が働いている | 全機種 | キーボードのスタンバイボタンを押してください。省電力機能が働いた状態から復帰します。<br>このとき、電源ボタンを 4 秒以上押さないでください。パソコンの電源が切れ、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。 |

■ 電源（パソコン電源）ランプが緑色に点灯している

| 考えられる原因 | 対象機種 | 対処 |
|---|---|---|
| 「電源オプションのプロパティ」で設定した「モニタの電源を切る」が実行されている | 全機種 | マウスを動かして数秒待つか、キーボードの[↑][↓][→][←]や[Shift]のどれかを押してください。 |
| ディスプレイのケーブルが正しく接続されていない（ディスプレイの電源ランプが消灯している場合） | ・C シリーズ<br>・CE シリーズ | ディスプレイのケーブルがパソコン本体に正しく接続されているか確認してください。<br>・17 型ワイド液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）、17 型液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）をお使いの方<br>ディスプレイの AC アダプタの接続も確認してください。<br>上記を確認してもディスプレイの電源ランプが緑色に点灯しないときは、ディスプレイの電源ボタンを押して電源を入れた後、パソコンを再起動してください。<br>再起動については、「Q どうしても電源が切れない」（→ P.153）をご覧ください。<br>ケーブルやACアダプタの接続については、『パソコンの準備』→「接続する」をご覧ください。 |
| 周辺機器が正しく取り付けられていない | 全機種 | 「Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（→ P.159）をご覧になり、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。 |
| 「おやすみディスプレイ」の機能が働いている（「おやすみディスプレイ」を設定した方のみ） | ・T シリーズ<br>・C シリーズ<br>・CE シリーズ | マウスを動かして数秒待つか、キーボードの[↑][↓][→][←]や[Shift]のどれかを押してください。<br>[Ctrl]と[Alt]を押しながら[O]を 1 回押すと、おやすみディスプレイの設定を解除できます。詳しくは「PowerUtility」のヘルプをご覧ください。 |
| リフレッシュレートや解像度が正しく設定されていない（ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯） | ・C シリーズ<br>・CE シリーズ | 「リフレッシュレートを変更する」（→ P.146）をご覧になり、設定を変更してください。その後、「解像度や発色数の設定が変わっていませんか？」（→ P.148）の手順をご覧になり、ご購入時の解像度と発色数に設定してください。 |

電源（パソコン電源）ランプが点灯している場合は、ディスプレイに関する次の原因も考えられます。次ページをご覧になり、上記とあわせて確認してください。

7

| 考えられる原因 | 対象機種（またはディスプレイ） | 対処 |
| --- | --- | --- |
| パソコンモードからテレビモードに切り換わっている | 17 型ワイド液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵） | ディスプレイ前面のモード切換ボタンを押して、パソコンモードに切り換えてください。パソコンモードへ切り換わりますと、画面右上に緑色で「PC」と表示されます。 |
| | 17型液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵） | ディスプレイ前面の入力切換ボタンを押して、PC入力を選択してください。PC入力が選択されますと、画面右上に緑色で「PC」と表示されます。 |
| | ・T シリーズ<br>・LX70H | テレビ電源ボタン、またはモード切換ボタンを押して、パソコンモードに切り換えてください。<br>パソコンモードへ切り換わりますと、画面右上に緑色で「PC」と表示されます。 |

ここまで確認してもパソコンが起動しない場合は、電源ケーブルを接続しなおすと問題が解決する場合があります。
電源ケーブルを取り外したら、3 分以上そのままの状態にしてください。
その後もう一度ケーブルを接続し、電源を入れてください。

# Q パソコンが起動しない、画面に何も映らない［BIBLO］

## A 電源を入れても何も表示されないとき、画面が真っ暗になってしまったときは、次の点を順番に確認してください。

真っ暗な画面にメッセージや文字が表示されているときは、「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）」（••▶ P.146）をご覧ください。

**【バッテリだけでお使いの場合】**

AC アダプタを接続してください。これで画面が表示できれば、バッテリが原因とも考えられます。

「Q バッテリが充電されない［BIBLO］」（••▶ P.162）もあわせてご覧ください。

| 考えられる原因 | 対処 |
|---|---|
| バッテリが切れている | 『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、AC アダプタを接続して充電してください。バッテリを充電後、パソコンを使わなかった場合でも、約 1ヶ月ほどで自然放電してしまいます。<br>ご使用の際は、バッテリの残量に注意してください。<br>バッテリ残量の表示については、(サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。 |
| バッテリが外れている | バッテリがしっかり取り付けられているか確認してください。<br>バッテリの取り付け方をあらかじめ確認したい場合は、(サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「周辺機器」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。 |

**【状態表示LED/LCDの ⏻ が消灯している場合】**
**【電源ボタンの周囲が点灯していない場合（NB75/70シリーズをお使いの方）】**

パソコンの電源が入っていません。

| 考えられる原因 | 対処 |
|---|---|
| AC アダプタが外れている | 『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、AC アダプタを正しく接続してください。 |
| 電源が入っていない | 電源ボタンをしっかりと押して電源を入れてください。 |
| 休止状態になっている<br>（ご自身で設定した場合） | 電源ボタンを押して元の状態に戻してください。 |
| 周辺機器が正しく取り付けられていない | 「Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（••▶ P.159）をご覧になり、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。 |

各ボタンやスイッチの場所については、『パソコンの準備』→「各部名称」をご覧ください。

7

**【状態表示 LED/LCD の ⏻ が点灯または点滅している場合】**
**【電源ボタンの周囲が点灯または点滅している場合（NB75/70 シリーズをお使いの方）】**

### ■ ⏻ が点灯している（電源ボタンの周囲が点灯している）

| 考えられる原因 | 対処 |
| --- | --- |
| 省電力機能が働いている | フラットポイントに触れてください。 |
| ディスプレイの明るさが正しく設定されていない | 【Fn】を押しながら【F6】、または【Fn】を押しながら【F7】を押して調整してください。 |
| 外部ディスプレイを使うように設定されている | 【Fn】を押しながら【F10】を何度か押してください。<br>【Fn】を押しながら【F10】を押すたびに、外部ディスプレイ表示と液晶ディスプレイ表示が切り替わります。 |
| テレビにのみ表示するよう設定されている | テレビを接続し、もう一度ディスプレイの表示を切り替えてください。切り換え方法については、次の POINT「ディスプレイの表示を切り換える」をご覧ください。 |

### ■ ⏻ が点滅している（電源ボタンの周囲が点滅している）

| 考えられる原因 | 対処 |
| --- | --- |
| スタンバイ状態になっている（省電力機能が働いている） | 電源ボタンを押してください。<br>このとき、電源ボタンを 4 秒以上押さないでください。パソコンの電源が切れ、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。 |

また、パソコンの電源を入れ直すと画面が表示される場合もあります。「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.153）をご覧になり、電源を入れ直してください。

**ディスプレイの表示を切り換える**

パソコンにテレビを接続した後、次の操作を行ってください。

1. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
2. 「設定」タブをクリックし、「詳細設定」をクリックします。
3. 「画面」タブ（お使いの機種によっては「Intel(R)Extreme Graphics 2 for Mobile」タブ）をクリックします。
   「Intel(R) Extreme Graphics 2 for Mobile」タブをクリックした場合は、その後「グラフィックのプロパティ」→「デバイス」タブの順にクリックします。
4. 表示するディスプレイを選びます。
5. 「OK」をクリックし、表示されているすべてのウィンドウを閉じます。
   「ATI プロパティページ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

## Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す

**A** Windows のセットアップの途中で電源を切ってしまうと、次に電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返し、Windows が起動しなくなることがあります。
次の手順に従って電源を切り、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

1. FUJITSU のロゴ画面が表示されているときに、パソコンの電源を強制的に切ります。
   電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。
2. 「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.97）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻します。

7

# Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）

## A パソコンの電源を入れると、メッセージが表示されたり、「ピッ」というようなビープ音が鳴ったりして Windows が起動しないことがあります。

電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返す場合は、「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」（••▶ P.145）をご覧ください。

### ■「規定外の信号です」などと表示されている場合

DESKPOWER の液晶ディスプレイや接続している外部ディスプレイに「規定外の信号です」「規定外の信号が入力されました」と表示されている場合は、解像度やリフレッシュレートが高く（または低く）設定されている可能性があります。「④ リフレッシュレートを変更する［DESKPOWER］」（••▶ P.146）や「⑤ 解像度や発色数を変更する」（••▶ P.147）をご覧になり、設定を変更してください。

### ■ メッセージが表示される場合

フロッピーディスクをセットしたままになっている場合は、取り出して【Enter】を押してください。それでも Windows が起動しない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.153）をご覧になり、いったんパソコンの電源を切った後、次の①〜⑥を順番に試してください。

**① パソコンとディスプレイの接続を確認する［DESKPOWER C シリーズ、DESKPOWER CE シリーズ］**

『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、パソコンとディスプレイを正しく接続してください。

**② パソコンと周辺機器の接続を確認する**

パソコンに周辺機器を接続している場合は、いったんすべての周辺機器を取り外してください。その後、パソコンの電源を入れ直してください。

**③ BIOS をご購入時の状態に戻す**

「Q BIOS をご購入時の状態に戻す」（••▶ P.166）をご覧になり、BIOS の設定を戻してください。

**④ リフレッシュレートを変更する［DESKPOWER］**

1. 「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.153）をご覧になり、パソコンの電源を切ります。
2. パソコンの電源を入れます。
3. FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されたら、【F8】を押します。
   軽くキーを押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
4. 【↑】【↓】で「VGA モードを有効にする」を選択し、【Enter】を押します。
5. 「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、【Enter】を押します。画面が表示されるまでお待ちください。
6. 画面の何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
7. 「設定」タブをクリックし、「詳細設定」をクリックします。
8. 「モニタ」タブをクリックし、「画面のリフレッシュレート」の右の▼をクリックしてリフレッシュレートの値を選択します。

9.「OK」をクリックします。

10.「モニタの設定」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

11.「OK」をクリックします。

⑤ 解像度や発色数を変更する

「④ リフレッシュレートを変更する［DESKPOWER］」（••▶ P.146）の手順 1 ～ 5 を行ってパソコンを起動した後、画面が表示されたら、「解像度や発色数の設定が変わっていませんか？」（••▶ P.148）の手順をご覧になり、ご購入時の解像度と発色数に設定してください。

⑥ パソコンをご購入時の状態に戻す

上記のことを試してもエラーメッセージが表示されたり、Windowsが正常に起動しなかったりする場合は、Windows のシステムが壊れている可能性があります。リカバリディスクを使って、パソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.97）をご覧ください。

## ■ メッセージが表示されず、ビープ音が鳴っている場合

メモリが正しく取り付けられていないか、このパソコンでサポートしていないメモリを取り付けている可能性があります。

メモリを増設している場合は、いったん電源を切り、増設したメモリが正しく取り付けてあるか確認してください。

正しく取り付けても鳴る場合や、メモリを増設していないのに鳴る場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にもご連絡ください。弊社純正品以外のメモリを増設している場合は、製造元・販売元にもご確認ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

## Q 画面が乱れる（画像が揺れる、色がずれる、画像がちらつく、画像がぼやけるなど）

**A** 次の点を順番に確認してください。

### ■ 近くにテレビなどの磁気を発生するもの、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発生するものがありませんか？

これらの磁気や電波を発生するものは、ディスプレイやパソコン本体に影響が出ない場所に置いてください。
高圧電線の近くにお住まいの場合、ディスプレイやパソコン本体の置き場所を変えることによって、画面の乱れが直る場合もあります。

### ■ ディスプレイのケーブルは正しく接続されていますか？［DESKPOWER C シリーズ、DESKPOWER CE シリーズ］

『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、ディスプレイのケーブルをパソコン本体に正しく接続してください。

### ■ ディスプレイの調整は正しいですか？［DESKPOWER］

お使いのディスプレイに付いているボタンで調整してください。LXシリーズ、Lシリーズをお使いの方は、パソコン本体側面の明るさ調整つまみで調整してください。

### ■ 解像度や発色数の設定が変わっていませんか？

解像度が低くなっていたり、発色数が少なく設定されていたりすると、画面が乱れたように感じることがあります。
次の手順に従って解像度や発色数を設定し直してください。

**画面がぼやけたように見える方は［BIBLO］**

BIBLO をお使いの方は、解像度を低く設定した状態で全画面表示になっているとき、画面がぼやけたように見えることがあります。
手順に従って解像度を設定し直す、または画面表示を通常表示に切り替えてください。
【Fn】を押しながら【F5】を押すと、画面表示が切り替わります。

1 デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。

**2**「設定」タブをクリックし、解像度や発色数を変更します。

（画面は機種や状況により異なります）

ご購入時に設定されている解像度と発色数については、「［ご購入時の解像度と発色数］」（••▶ P.150）をご覧ください。
表示可能な解像度と発色数については、(サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「各種設定」→「画面の解像度と発色数について」をご覧ください。

**3** 設定が終了したら「OK」をクリックします。

画面にメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

**「互換性の警告」ウィンドウが表示された場合は**

次のように操作してください。

1.「新しい表示設定でコンピュータを再起動する」をクリックしてにし、「OK」をクリックします。
2.「システム設定の変更」ウィンドウで「はい」をクリックします。

パソコンが再起動します。これで設定は終了です。手順 4、5 は必要ありません。

**4**「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。

**5**「再起動」をクリックします。

パソコンが再起動します。

7

### [ご購入時の解像度と発色数]

| 機種名（品名） | 解像度 | 発色数 |
|---|---|---|
| DESKPOWER T シリーズ、L シリーズ、C90HW/F、C70HW | 1280 × 768 | 最高（32 ビット） |
| DESKPOWER LX シリーズ、C70HV、C70H7/C、CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE30H7、CE50H7/S、CE50H7/M | 1280 × 1024 | 最高（32 ビット） |
| DESKPOWER CE30H5 | 1024 × 768 | 最高（32 ビット） |
| DESKPOWER C70HN、CE70HN、CE70HN、CE50HN<br>17 型ワイド液晶ディスプレイの方 | 1280 × 768 | 最高（32 ビット） |
| 17 型液晶ディスプレイの方 | 1280 × 1024 | 最高（32 ビット） |
| 15 型液晶ディスプレイの方（CE50HN のみ） | 1024 × 768 | 最高（32 ビット） |
| ディスプレイなしの方 | ［注］ | ［注］ |
| BIBLO NH シリーズ | 1400 × 1050 | 最高（32 ビット） |
| BIBLO NB シリーズ、BIBLO MG シリーズ | 1024 × 768 | 最高（32 ビット） |
| BIBLO LOOX | 1280 × 768 | 最高（32 ビット） |

［注］お使いのディスプレイにより表示できる解像度と発色数が異なります。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。

### ■ ゲームソフトなどをインストールしませんでしたか？

ゲームソフトなどをインストールした場合、このパソコンに合わないディスプレイドライバに置き換えられた可能性があります。
「Q ドライバを更新する」（••▶ P.163）をご覧になり、ディスプレイドライバを設定し直してください。

以上のすべての項目を確認しても画面の表示がおかしい場合は、（サービスアシスタント）のトップ画面で「ハードウェアの故障診断」をクリックし、お使いのパソコンの状態をチェックしてください。
ハードウェアなどに問題がなかった場合は、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻してください。
［DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST をお使いの方］
『別冊 FMV活用ガイド（仮想ディスク編）』→「仮想ディスク領域からリカバリをする」をご覧ください。
［上記以外の機種をお使いの方］
「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.97）をご覧ください。

# Q 操作中に画面が動かなくなった

## A 操作していたソフトウェアを強制終了してください。

ソフトウェアが強制終了できない場合は、強制的に再起動したり、強制的に電源を入れ直します。

**重要**

**直前の作業内容は保存されません**

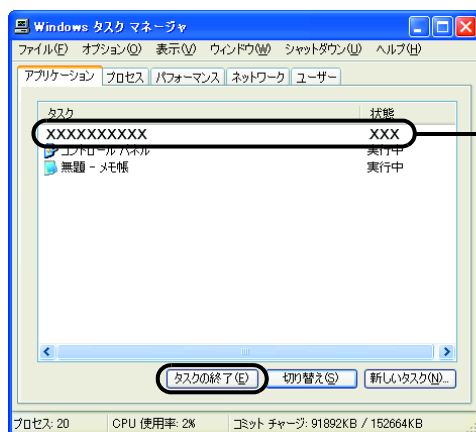
この手順でソフトウェアを強制終了した場合や、電源を切った場合は、直前の作業内容は保存されません。

### ■ ソフトウェアを強制終了する

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を1回押します。

「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。

2 「アプリケーション」タブをクリックします。

3 動かなくなったソフトウェアをクリックし、「タスクの終了」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

4 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。

選んだソフトウェアが強制終了されます。ソフトウェアによっては、強制終了に20～30秒かかることがあります。

5 「この問題を Microsoft に報告してください」というメッセージが表示された場合は、「送信しない」をクリックします。

6 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウの ☒ をクリックします。

ソフトウェアが強制終了できない場合は、次の「Windows を強制的に再起動する」（→ P.152）をご覧になり、Windows を強制的に再起動してください。

## ■ Windows を強制的に再起動する

**1** Ctrl と Alt を押しながら Delete を 1 回押します。

「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。

**2**「シャットダウン」メニュー→「再起動」の順にクリックします。

「シャットダウン」メニューから「再起動」が選べないときは、次の POINT「「シャットダウン」メニューから選べないときは」をご覧ください。

**3** 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。

前記の手順で再起動ができない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.153）をご覧になり、電源を入れ直してください。

### 「シャットダウン」メニューから選べないときは

画面が見えない、マウス／フラットポイントが使えないなどの理由でメニューから「再起動」が選べないときは、次の手順に従ってキーボードで操作してください。

1. 「Windows を強制的に再起動する」の手順 1 の後、Alt を押しながら U を押します。
2. R を押します。
   パソコンが再起動します。
3. 前記の手順で再起動ができない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.153）をご覧になり、電源を入れ直してください。

### ディスクをチェックする

ソフトウェアや Windows を強制終了した場合は、以下の手順でドライブをチェックすることをお勧めします。

1. 実行中のプログラムをすべて終了します。
2. デスクトップの（マイコンピュータ）をクリックします。
3. プログラムをインストールしてあるドライブ（ご購入時の状態は（C:））を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
4. 「ツール」タブをクリックし、「エラーチェック」の「チェックする」をクリックします。
5. 「ディスクのチェックローカルディスク」ウィンドウで「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」の□をクリックして☑にし、「開始」をクリックします。

   【C ドライブをチェックする場合】
   「次回のコンピュータの再起動後に、このディスクの検査を実行しますか？」と表示されます。
   「はい」をクリックし、「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
   その後「再起動」をクリックします。
   Windows が再起動し、エラーのチェックが行われます。

   【C ドライブ以外をチェックする場合】
   ドライブのチェックが開始されます。終了すると「ディスクの検査が完了しました。」と表示されるので、次のように操作します。
   1. 「OK」をクリックします。
   2. 「ローカルディスクのプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。
   3. 「マイコンピュータ」ウィンドウの×をクリックして閉じます。

# Q どうしても電源が切れない

**A** 「Q 操作中に画面が動かなくなった」（→ P.151）の操作を行っても問題が解決しない場合は、パソコンの電源を強制的に切り、その後もう一度電源を入れてください。

**重要**

**強制的に電源を切る前に**

次の点に注意してください。

・ハードディスクが動作しているときに電源を切ってしまうと、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れる可能性があります。
　強制的に電源を切るときは、DESKPOWER はパソコン本体前面の 、BIBLO は状態表示 LED/LCD の や が、ハードディスクが動作しているかどうかの目安となります。点灯や点滅をしている場合は、ハードディスクのデータを読み書きしている可能性があるため、しばらく待つことをお勧めします。
　上記以外にも、ハードディスクが動いていると思われる場合（音がするなど）は、動作が止まるまでしばらく待つことをお勧めします。

・ご購入後、初めて電源を入れた直後に電源を切ると、パソコンをお使いになれなくなる場合があります。Windows のセットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
　画面が映らないなど、画面が確認できない場合は、15 分ほど待ってから電源を切るようにしてください。

**1** 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押します。

**2** パソコンの電源を切ります。
　電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。

**3** この後電源を入れ直す場合は、10 秒以上待ってください。

**POINT**

**「Checking file system on C:」と表示された場合**

ソフトウェアを強制終了した後、または強制終了できずに電源を切った後は、次に Windows を起動したときに「Checking file system on C:」と表示される場合があります。
このとき、自動的に Windows やハードディスクの状態がチェックされ、必要に応じて修復が行われます。
エラーがない場合はそのままお使いください。エラーが表示された場合は、メッセージに従って修復してください。

# Q　マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない

## A　次の点を確認してください。

### ■ ソフトウェアの操作中でしたか？

ソフトウェアを強制終了し、パソコンを再起動してください。
「Q 操作中に画面が動かなくなった」（••▶ P.151）

### ■ キーボードの文字は入力できますか？

「サービスアシスタント」の「よくある質問集」に、キーボード入力についての説明があります。

・押したキーの刻印と違う文字や数字、記号が入力されてしまう
・テンキーの数字が入力できない

などの問題を解決したいときは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「よくある質問集」→「キーボード／文字入力」をご覧ください。

**［DESKPOWER の場合］**

### ■ ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなっていませんか？

「Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった［DESKPOWER］」（••▶ P.160）もあわせてご覧になり、確認してください。

### ■ 光学式のマウスが使えなくなっていませんか？

光学式のマウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。マウスを使う場所を変えてみてください。

・鏡やガラスなど、反射しやすいもの
・光沢があるもの
・濃淡のはっきりした紋模様や柄のもの（木目調など）
・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

### ■ ワイヤレスマウスのすべりが悪くなっていませんか？

マウスの裏にあるボールが汚れていたり、ローラー部分にゴミがたまったりすると、すべりが悪くなりマウスポインタがなめらかに動かせなくなる場合があります。
ボール式のマウスのお手入れのしかたについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「お手入れ」→「FMV のお手入れ」をご覧ください。

### ■ 光学式のマウスは正しく接続されていますか？　キーボードは正しく接続されていますか？

マウスやキーボードの接続がゆるんでいると、操作ができなくなります。
キーボードが使える状態なら、次の手順に従ってキーボードで Windows を終了し、パソコンの電源を切ってください。その後、接続し直してください。

**1** 【Windows】を押すか、または【Ctrl】を押しながら【Esc】を押します。
「スタート」メニューが表示されます。

**2** 【U】を押します。
「コンピュータの電源を切る」ウィンドウが表示されます。

**3** 【U】を押します。
電源が切れます。

マウスもキーボードも使えない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.153）をご覧になり、パソコンの電源を切った後にキーボードとマウスを接続し直してください。
マウス、キーボードの接続方法については、『パソコンの準備』→「接続する」をご覧ください。

## ■ スクロールボタン（マウスの真ん中のボタン）を押していませんか？

クリックしてみてください。マウスポインタが表示される（動かせる）場合があります。
知らずにスクロールボタンを押してしまった場合、マウスポインタが変わってしまい、好きな方向に動かせないように見える場合があります。
添付されているマウスのスクロールボタンの使い方については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「マウスを使う」をご覧ください。

### ［BIBLO の場合］

## ■ フラットポイントが汚れていませんか？

フラットポイントは表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいはフラットポイントの表面が汚れている場合は、マウスポインタが正常に動作しないことがあります。
電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

## ■ フラットポイントの設定を変更しましたか？

USB マウスを接続した状態でフラットポイントを無効にし、その後でマウスを取り外すと、フラットポイントで操作ができなくなることがあります。
次の方法でフラットポイントを有効にすることができます。

- 【Fn】を押しながら【F4】を押す
  フラットポイントが有効の場合は「Internal pointing device:Enable」、無効の場合は「Internal pointing device:Disable」と画面に表示されます。
  ただし、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントの有効と無効を切り替えていた場合は、この方法で切り替えることはできません。
- 「マウスのプロパティ」ウィンドウで設定を変更する
  キー操作で切り替えられない場合は、もう一度 USB マウスを接続し、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントを有効にしてください。

マウスの接続方法やフラットポイントの設定変更については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「周辺機器」→「マウスを接続する」をご覧ください。
また、マウスを接続してお使いの場合は、「［DESKPOWER の場合］」（••▶ P.154）の項目も必要に応じてご確認ください。

**BIOS セットアップのパスワードを設定した場合**

スタンバイから復帰（レジューム）したとき、フラットポイントやマウスが使えない場合があります。BIOS セットアップで設定したパスワードを入力して【Enter】を押してください。

7

# Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された

**A** Windows の操作中に、突然メッセージ画面が表示されることがあります。操作を続けるには、表示された内容に応じて、次のように対処してください。

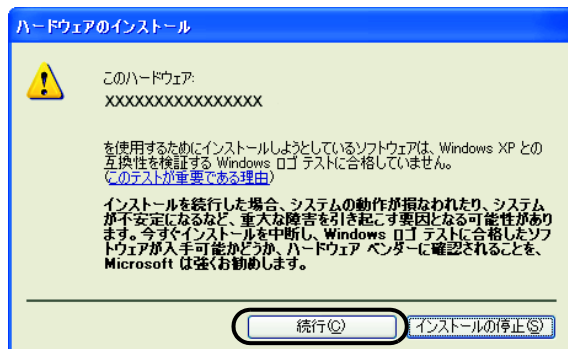
表示内容はお使いの状況によって変わります。サービスアシスタントを起動するときに表示されたメッセージについては、「「サービスアシスタント」がうまく動かないときは」(••▶ P.82) もあわせてご覧ください。

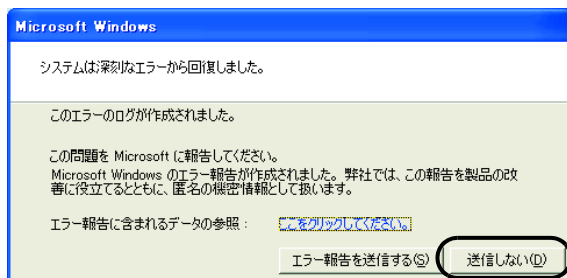
### ■「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」と表示された

お使いの状況に応じた動作を選択し、「OK」をクリックします。どの動作かわからない場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

「何もしない」をクリックした後「OK」をクリックしても、「キャンセル」と同じ操作になります。このとき、「常に選択した動作を行う。」と表示されている場合は、☐をクリックして☑にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

### ■「このハードウェア××××××を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは・・・」と表示された

そのまま操作を続けるには、「続行」をクリックします。

## ■「・・・この問題を Microsoft に報告してください。・・・」と表示された

「エラー報告を送信する」をクリックすると、Microsoft 社のサーバーに接続され、エラーの詳細レポートが送信されます（送信には、インターネット接続環境が必要です）。
このレポートはインターネットを通じて匿名の機密情報として送信され、Microsoft 社の製品改善に使用されます。
エラー報告をしない場合は、「送信しない」をクリックします。

## ■「デスクトップクリーンアップウィザードの開始」と表示された

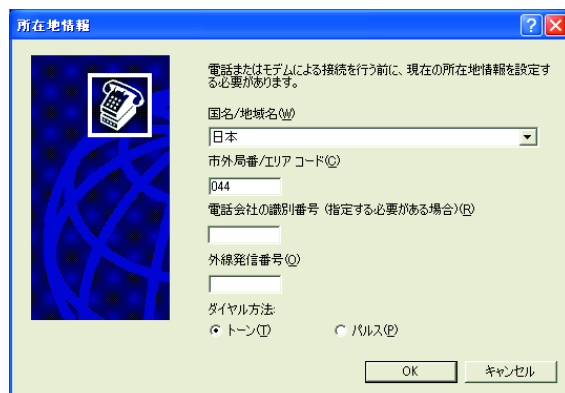
「キャンセル」をクリックします。
「次へ」をクリックして実行すると、デスクトップがクリーンアップされ、使っていないショートカットがデスクトップから見えなくなります。これは「使用していないショートカット」フォルダにまとめて移動されたためです。

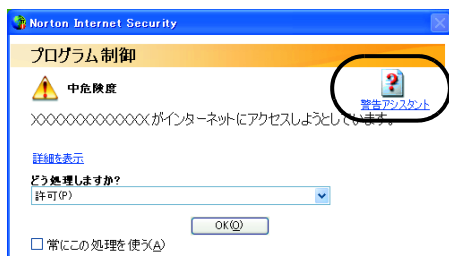
**「デスクトップクリーンアップウィザード」を表示したくないときは**

今後「デスクトップクリーンアップウィザードの開始」という画面を表示しないようにするには、次の手順に従って操作してください。

1. デスクトップの何もないところで右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
2. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「デスクトップ」タブをクリックし、「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。
3. 「デスクトップ項目」ウィンドウで「60 日ごとにデスクトップクリーンアップウィザードを実行する」の☑をクリックして□にし、「OK」をクリックします。
4. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

## ■「所在地情報」のウィンドウが表示された

お使いのパソコンに所在地情報の設定がされていないとき、この画面が表示されます。お使いの通信回線にあわせて、設定を行ってください。
設定項目とその内容については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「各種設定」→「所在地情報を設定する」をご覧ください。

## ■「プログラム制御」のウィンドウが表示された

「Norton Internet Security」というソフトウェアをお使いの場合は、インターネットへのアクセスが監視されているためにこのウィンドウが表示されます。操作を進めるためには、ウィンドウが表示されたソフトウェアごとに適切な処理を選ぶ必要があります。
処理のしかたについては、「警告アシスタント」をクリックし「インターネットアクセス制御警告」についての説明をご覧になるか、必要に応じて「Norton Internet Security」のヘルプをご覧になり、ご自身で判断してください。
「Norton Internet Security」については、「セキュリティソフトを使う」(••▶ P.50)をご覧ください。

**「mad.exe」、「jsharpde.exe」、「updatenv.exe」、「MyMediaServer.exe」について**

「mad.exe」、「jsharpde.exe」は、サービスアシスタントが使用しているプログラムです。
「updatenv.exe」は、「アップデートナビ」が使用しているプログラムです。
「MyMediaServer.exe」は、「MyMedia」が使用しているプログラムです。
セキュリティ上の問題はありませんので、▼をクリックして「常にすべてのポートでこのプログラムからの接続を許可する」を選択し、「OK」をクリックして先に進んでください。

## Q サービスアシスタントがうまく動かない

**A** 「「サービスアシスタント」がうまく動かないときは」（→ P.82）をご覧になり対処してください。

## Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった

**A** 次の点を確認してください。

### ■ 正しく接続されていますか？

いったんパソコンと周辺機器の電源を切った後、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

### ■ 正しく設定されていますか？

周辺機器の設定（ドライバのインストールなど）が正しくされているか確認してください。詳しくは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

### ■ 周辺機器がお使いのパソコンに対応していますか？

周辺機器に添付のマニュアル、および（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMVの使い方」→「周辺機器」をご覧ください。

**POINT**

**ACPI について**

このパソコンは、ACPI（省電力に関する電源制御規格の 1 つ）によって動作していますので、周辺機器も ACPI に対応したものをお使いください。スタンバイ状態での省電力機能のレベルのことを S1、S3 などと表します。
ACPI に対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器が ACPI に対応しているかどうかは周辺機器の製造元にお問い合わせください。
BIBLO（LOOX を除く）は、低レベルのスタンバイ（ACPI S1）には対応していません。お使いの周辺機器が S1 にしか対応していない場合は、パソコンをスタンバイ／休止状態にしないでください。
スタンバイ／休止状態については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「省電力機能を使う」をご覧ください。

**正常に起動したときの設定に戻す**

周辺機器を取り付けた後で、Windows が起動できなくなった場合、前回正常起動時の構成を使用して、Windows を起動することができます。次の手順に従って操作してください。

1. パソコンの電源を切り、追加した周辺機器を取り外します。
2. パソコンの電源を入れます。
3. FUJITSU のロゴ画面下に、メッセージが表示されたら【F8】を押します。
4. 【↑】【↓】で、「前回正常起動時の構成（正しく動作した最新の設定）」を選択し、【Enter】を押します。
5. 「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、【Enter】を押します。

これで、前回正常起動時の構成を利用して Windows が起動します。

7

# Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった［DESKPOWER］

## A パソコンに添付されているワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いの方は、次の点を確認してください。

「Q マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない」（••▶ P.154）の対処方法も参考にしてください。

### ■ 液晶ディスプレイとパソコン本体が正常に接続されていますか？ また、起動時にインジケータの NumLock は点灯しましたか？［DESKPOWER C シリーズ、CE シリーズ］

電源を切り、パソコン本体の付属ディスプレイ専用コネクタからディスプレイのケーブルを取り外します。
その後、もう一度ディスプレイのケーブルを取り付け直してください。

### ■ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いの場所は適当ですか？

パソコン設置場所やお使いの状況によっては、通信を妨げる原因となる場合があります。
『パソコンの準備』→「付録」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて」をご覧になり、正しい配置とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用するときの注意事項を確認してください。

### ■ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスに正しく電池がセットされていますか？

適切な乾電池を正しくセットする必要があります。
『パソコンの準備』→「付録」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて」をご覧になり、セットした電池の種類・向きや寿命について確認してください。

### ■ 通信周波数 ／ ID は正しく設定されていますか？

お使いの状況により、通信周波数／ ID を設定し直す必要があります。
『パソコンの準備』→「付録」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて」→「通信周波数／ ID 設定値について」をご覧になり、必要に応じてこれらの値を変更してください。

パソコンに USB 機器を接続している方は、次の点もご確認ください。

### ■ USB 機器のドライバはお使いの OS に対応していますか？

接続している USB 機器のドライバが正しくないと、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの動作に影響を与える場合があります。今お使いの OS にドライバが対応しているかどうかを確認し、対応していない場合は USB 機器のメーカーからお使いの OS に対応したドライバを入手してください。
入手したドライバをインストールするときは、今お使いのドライバを削除してください。

### ■ 液晶ディスプレイの USB コネクタに USB 機器を接続していませんか？

USB 機器によっては、液晶ディスプレイの USB コネクタに接続すると、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの動作に影響を与えることがあります。その場合は、パソコン本体に接続してください。

## Q ワイヤレスキーボードのキーやボタンを押していないのに、キーを押し続けた状態になったり、音量設定が不安定になったりする［DESKPOWER］

**A** ワイヤレスキーボードの通信状態が悪化したためです。次の点を順番に確認してください。

### ■ 操作中にワイヤレスキーボードを移動しましたか？

ワイヤレスキーボードを元の位置に戻してもう一度同じキーまたはボタンを押してください。

### ■ 周辺の環境が変わりましたか？

周辺の環境を確認して通信可能な状態にし、もう一度同じキーまたはボタンを押してください。
周辺の環境の確認点については、DESKPOWER をお使いの方は『パソコンの準備』→「付録」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて」をご覧ください。

## Q 状態表示 LED/LCD がおかしい［BIBLO］

**A** 状態によって対処法が異なります。

### ■ が赤く点灯／点滅している（NH シリーズ）

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていない、などの原因が考えられます。
AC アダプタを接続し、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。

### ■ や の点滅が止まらない（NB75/70 シリーズ、LOOX シリーズ）

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていない、などの原因が考えられます。AC アダプタを接続し、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。

### ■ や の点滅が止まらない（NB55/50 シリーズ、MG シリーズ）

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていない、などの原因が考えられます。
AC アダプタを接続し、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。

### ■ CD/DVDをセットしていないのにが点滅している（状態表示LED/LCDにがある機種のみ）

故障ではありません。これは、Windows がパソコンに CD/DVD が入っているかどうか定期的に調べているためです。

7

## Q ハードディスクからカシャカシャという音がする［BIBLO］

### A 次のような場合に、ハードディスクからカシャカシャという音がすることがあります。

- Windows を終了した直後
- スタンバイや休止状態にした直後
- パソコンの操作を一時中断した場合（ハードディスクへのアクセスが数秒間なかった場合）
- 操作を中断した状態から、再度パソコンを操作した場合
- パソコンを操作しない場合でも、常駐しているソフトウェアなどが動作した場合（ハードディスクへのアクセスがあった場合）

これはハードディスクの特性です。故障ではありませんので、そのままお使いください。

## Q バッテリが充電されない［BIBLO］

### A 次のような原因が考えられます。順番に確認してください。

| 原因 | 対処 |
| --- | --- |
| バッテリが外れている | 内蔵バッテリパックの取り付け方法は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「周辺機器」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。 |
| AC アダプタが外れている | コンセントおよびパソコン本体に正しく接続し直してください。<br>『パソコンの準備』→「接続する」→「ACアダプタを接続する」をご覧ください。 |
| パソコン本体が熱くなり、保護機能が働いている（状態表示 LED/LCD の「バッテリ充電表示」[注]が点滅） | 保護機能が働いて、充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。 |
| パソコン本体が冷たくなり、保護機能が働いている（状態表示LED/LCD の「バッテリ充電表示」[注]が点滅） | パソコンを暖かいところに置いて、AC アダプタを接続し直してください。暖かいところに移す際は、結露が発生しないようご注意ください。<br>バッテリの温度が 5 ℃以下になると、保護機能が働いて充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。 |

[注] 機種により「バッテリ充電ランプ」／「バッテリ充電表示ランプ」／「内蔵（増設）バッテリパック充電ランプ」となります

**バッテリが 90%以上残っているとき**

バッテリが約 90%以上残っているときは、充電を開始しない場合があります。

バッテリについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。

# 3 設定を変えたいときの Q&A 集

## Q ドライバを更新する

**A サウンドの再生や画面表示などが正常に行われないとき、ドライバを更新すると問題が解決できる場合があります。**

**ドライバを更新する前に**

ドライバを更新する前に、起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。
スクリーンセーバーを設定している場合は、(サービスアシスタント）のトップ画面→「よくある質問集」→「画面表示」→「スクリーンセーバー」→「スクリーンセーバーを設定したい」をご覧になり、スクリーンセーバーを「なし」に設定してください。

### ■ ドライバのある場所

**添付のディスク**
**[DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST をお使いの方]**
**「リカバリ起動＆ユーティリティディスク」**
**[上記以外の機種をお使いの方]**
**「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」**
**または「アプリケーションディスク 2」（(Update）フォルダがある場合）**

2004 年 3 月時点でのドライバが用意されています。
ご購入時のドライバとそのフォルダ名については、ディスクの中の(Indexcd）というファイルをクリックしてご確認ください。
また、ご購入時よりも新しいドライバが(Update）というフォルダの中に用意されている場合があります。(Update）フォルダもご確認になり、ドライバがある場合はこちらをお使いください。

**FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（http://azby.fmworld.net/）**

各ドライバは、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
ご購入時に添付されているものよりも新しいバージョンのドライバがインターネット上で公開されている場合があります。最新版のドライバについては、FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（http://azby.fmworld.net/）の「ダウンロード」をご覧ください。
「ダウンロード」については、(サービスアシスタント）のトップ画面→「ダウンロードサービス」からもご覧いただけます。

**その他**

プリンタなど、このパソコンに添付されていない周辺機器のドライバについては、お使いの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

## ■ 添付のディスクからドライバを更新する場合

(Indexcd) をクリックして開くと、次のような表が表示されます。この表から、お使いの機種に対応するドライバを調べて更新してください。

| フォルダ / ファイル名 | ディスク内容一覧 | 適応機種 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | CXXABC | CXXDE | CEXXFG |
| ¥Atmail | @ メール | ● | ● | ● |
| ¥Atmenu | @ メニュー | ● | ● | ● |
| ¥Ezbackup | FM かんたんバックアップ | ● | ● | ● |
| 〜〜〜 | 〜〜〜 | 〜〜〜 | 〜〜〜 | 〜〜〜 |

この表は一例です。実際の表とは内容が異なります。

［表の見かた］

1 「ディスク内容一覧」欄から必要なドライバを探します。「適応機種」欄で、お使いの機種に対応しているか（●がついているか）どうか確認してください。

2 「フォルダ / ファイル名」欄で、ドライバが入っているフォルダ名を確認します。
ドライバを更新するときはこのフォルダを開き、readme.txt や install.txt を参照してください。インストールに必要な注意事項や手順が書かれています。

インストール手順ファイル（readme.txt または install.txt）を参照してドライバを更新するとき、次の点に気をつけてください。

・ドライバは「更新」の手順に従ってください。
・フロッピーディスクを使用するように記述されていても、添付のディスクをお使いください。

**「アップデートナビ」で最新のドライバを確認する**

お使いのパソコンに搭載されているドライバなどの最新情報は、「アップデートナビ」で確認することもできます。更新情報の確認後、そのままインストールすることができるので便利です。
アップデートナビについては、「アップデートナビについて」（••▶ P.72）をご覧ください。

# Q 最小限の機能で起動する（セーフモード）

**A** パソコンに何らかのトラブルが発生したときに、Windows をセーフモードで起動すると、最小限の機能で起動できます。次の手順に従って操作してください。

**1** パソコンの電源を入れます。
電源が入っている場合は再起動します。

**2** FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されたら【F8】を押します。

**POINT**

**【F8】を押すのが遅すぎた場合**
セーフモードではなく、通常の状態で Windows が起動します。
次の操作を行い、手順 2（【F8】を押す）からやり直してください。
1. 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
2. 「再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。

**3** 【↑】【↓】で「セーフモード」を選択し、【Enter】を押します。

**「前回正常起動時の構成」とは**
前回正常に Windows が起動したときの設定が保存されています。
原因がよくわからない場合は、こちらを選択することをお勧めします。

**4** 「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、【Enter】を押します。
この後、「開始するにはユーザー名をクリックしてください。」というメッセージが表示された場合は、「Owner」をクリックします。

**5** メッセージを確認し、「はい」をクリックします。
セーフモードで起動します。

セーフモードで起動しても問題が見つけられず、Windows が正常に起動しない場合は、次の記載をご覧になりパソコンをご購入時の状態に戻してください。
［DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST をお使いの方］
→『別冊 FMV活用ガイド（仮想ディスク編）』→「仮想ディスク領域からリカバリをする」
［上記以外の機種をお使いの方］
→「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.97）

7

# BIOS をご購入時の状態に戻す

**A** Windowsが起動しないときなど、BIOSセットアップを起動し、BIOSの設定を戻すと問題が解決できることがあります。

### ［DESKPOWER の場合］

1. パソコンの電源を入れ、FUJITSUのロゴ画面の下にメッセージが表示されたら【F2】を押します。
   【F2】を軽く押しただけでは BIOS セットアップが起動しない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
   タイミングが合わずに BIOS セットアップが起動しなかったら、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、もう一度手順 1 から操作をやり直してください。
2. 「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで【Enter】を押します。
3. 【Y】を押して【Enter】を押します。
4. 内蔵デバイスの設定を行います。
   以下に該当しない方は、手順 5 へ進んでください。
   ［Windows XP Professional をお使いの方］
   「起動」メニュー→「ネットワークからの起動」を「使用する」に設定します。
   ［C90HW/F をお使いの方］
   「起動」メニュー→「LAN コントローラ」を「使用しない」に設定します。
5. 「終了」メニュー→「変更を保存して終了する（再起動）」の順に選び、【Enter】を押します。
6. 【Y】を押して【Enter】を押します。
   パソコンが再起動します。

### ［BIBLO の場合］

1. パソコンの電源を入れ、FUJITSUのロゴ画面の下にメッセージが表示されたら【F2】を押します。
   【F2】を軽く押しただけでは BIOS セットアップが起動しない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
   タイミングが合わずに BIOS セットアップが起動しなかったら、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、もう一度手順 1 から操作をやり直してください。
2. 「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで【Enter】を押します。
3. 「はい」を選んで【Enter】を押します。
4. 「変更を保存して終了する」を選んで【Enter】を押します。
5. 「はい」を選んで【Enter】を押します。
   パソコンが再起動します。

# Q　CドライブとDドライブの割合を変更する

## A　「リカバリディスク」を使ってCドライブとDドライブの割合を変更することができます。

次の手順を参考にしてください。

**重要**

**全データが削除されます**

この操作をすると、ハードディスク内のすべてのデータ（Cドライブ、Dドライブ共に）が削除されます。「バックアップをする」（••▶ P.103）をご覧になり、必要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

**NTFSに設定されます**

FAT32に設定してある場合も、Cドライブ、Dドライブ共に自動でNTFSに変更されます。

**ドライブの容量制限**

Cドライブの最小サイズは15GB、Dドライブの最小サイズは10.2GBです。これより小さくすることはできません。

**POINT**

**ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方は［DESKPOWER］**

CドライブとDドライブの容量を変更した場合は、ホームサーバー機能のリカバリが必要になります。
詳しくは、『ホームサーバー機能　取扱説明書』をご覧ください。

**インスタントテレビ/DVD機能対応の機種をお使いの方は［BIBLO］**

CドライブとDドライブの容量を変更した場合は、通常のリカバリ手順と異なります。「インスタントテレビ/DVD機能リカバリディスク」もあわせて使いますのであらかじめ用意してください。

1. ［DESKOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/STをお使いの方］
   『別冊FMVガイド（仮想ディスク編）』→「リカバリを開始する」の手順1～6を行います。
   ［上記以外の機種をお使いの方］
   「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」（••▶ P.108）の手順1～8を行います。
2. 表示された項目から「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選んで【Enter】を押します。
3. 「領域を任意に設定して戻す」を選び、【Enter】を押します。
   ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方は手順4へ、それ以外の方は手順5へ進みます。
4. ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方は、【→】／【←】でホームサーバー機能のシステムがインストールされた領域のサイズを変更することができます。
   次へ進むには、【Enter】を押します。

**5** 画面に表示されるインジケータで容量を確認しながら、[→]／[←]でＣドライブの容量を指定します。

**POINT**

**ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方は［DESKPOWER］**

画面に表示される「現在のハードディスク容量」の「その他のドライブ」には、Ｄドライブとホームサーバー機能の領域を合計した容量が表示されます。「変更後のハードディスク容量」には、ＣドライブとＤドライブの容量のみが表示されます。

**インスタントテレビ/DVD機能対応の機種をお使いの方は［BIBLO］**

画面に表示される「現在のハードディスク容量」の「その他のドライブ」には、Ｄドライブとインスタントテレビ/DVD機能の領域を合計した容量が表示されます。「変更後のハードディスク容量」には、ＣドライブとＤドライブの容量のみが表示されます。

**領域をご購入時の状態に戻したいときは**

手順３で「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、[Enter]を押してください。
この後は、「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」の手順 10（••▶ P.111）へ進んでください。

**6** 容量を決めたら、[Enter]を押します。

**7** 変更後のハードディスク容量を確認し、[Y]を押します。

画面の下に「復元しています...」と表示され、ファイルコピーが始まります。しばらくお待ちください。

**8** ［DESKOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/STをお使いの方］

『別冊 FMV 活用ガイド（仮想ディスク編）』→「リカバリを開始する」の手順 10 へ進みます。

［上記以外の機種をお使いの方］

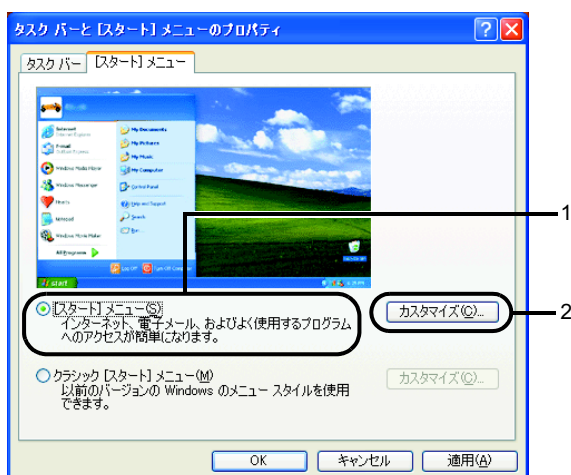
「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」の手順 11（••▶ P.111）へ進みます。

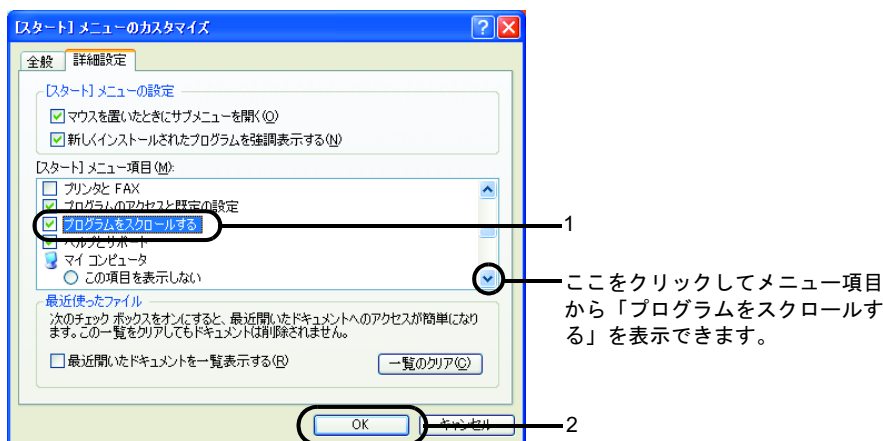
# Q 「スタート」ボタンからプログラムを表示するとき画面からはみ出さないようにする

## A 「すべてのプログラム」の表示方法を上下にスクロールするように変更することができます。次の手順に従って操作してください。

**1** タスクバーを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

**2** 「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウで「［スタート］メニュー」タブをクリックします。

**3** 1.［スタート］メニューの左が◉になっていることを確認し、2.「カスタマイズ」をクリックします。

**4** 「［スタート］メニューのカスタマイズ」ウィンドウで「詳細設定」タブをクリックします。

**5** 1「［スタート］メニュー項目」で「プログラムをスクロールする」の☐をクリックして☑にし、2「OK」をクリックします。

**6** 「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

7

# 4 お問い合わせ先について

## ソフトウェアに関するお問い合わせ

このパソコンに添付されているソフトウェアの内容については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせください。後から購入した市販のソフトウェアについては、各ソフトウェアの開発元にお問い合わせください。
電話番号、FAX 番号などはお間違えのないよう、お確かめのうえおかけくださるようお願いいたします。
なお、お使いの機種やモデルにより、添付されているソフトウェアは異なります。

## 富士通製品に関するお問い合わせ

次のような場合、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へご相談ください。

- パソコンを誤って壊してしまったときなどの、故障、修理に関するお問い合わせ。
- サービスアシスタントや添付のマニュアルを調べても、どうしてもパソコンの使い方がわからないとき。
- 「トラブルかなと思ったら」(→ P.137)、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」(→ P.97) DESKOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST をお使いの方は『別冊 ＦＭＶ活用ガイド（仮想ディスク編)』→「仮想ディスク領域からリカバリをする」を実行しても、どうしてもパソコンの調子がおかしいとき。

**重要**

**お使いのパソコンの修理を依頼するときは**

- データをバックアップしてください。
  パソコンの修理を依頼した場合、パソコンの内容が修理前と異なり、作成したデータが何も入っていない状態や、ご購入時の状態になってしまう場合があります。大切なデータは必ずフロッピーディスクや CD-R などの媒体にバックアップをしておいてください。
- リカバリディスクをご用意ください
  パソコンの修理を依頼するとき、添付のリカバリディスクが必要になります（DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST を除く）。修理を依頼するときは、必ず同梱してください。

### ■ 保証期間について

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
Windows が起動する場合、(サービスアシスタント）のトップ画面→「パソコンの情報」から、このパソコンの保証開始日を確認できます。表示される保証開始日を保証書に必ずご記入ください。保証書に保証開始日の記入がないと、保証期間内であっても有償修理となります。

## ■「QT-PC/U」で診断する

Windows が起動しなくなったときは、「富士通サービスアシスタント」に入っている「QT-PC/U」という診断プログラムでパソコンを診断してください。

診断時間は通常 5 ～ 10 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えておき、富士通パーソナルエコーセンターにお問い合わせください。富士通パーソナルエコーセンターについては、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

**1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

**2 キーボードの【F12】の位置を確認します。**

パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。

**3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、【F12】を押します。**

【F12】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

**4 起動メニューが表示されたら、「富士通サービスアシスタント」をセットします。**

**5 【↓】を押して「CD ／ DVD」または「CD-ROM ドライブ」を選択し、【Enter】を押します。**

自動的に診断が始まります。診断は 6 項目について行われ、各項目の診断結果は画面の上部に表示されます。

・エラーが発生した場合は「STATUS」部に「ERROR」と表示され、画面の「Message Display」部に 8 桁のエラーコードが表示されます。

・お問い合わせの際は、表示されたエラーコードをお知らせください。

・エラーが発生しなかった場合、「STATUS」部に「NO ERROR」と表示されます。

**6 診断が終了し、画面の「Message Display」部の一番下に次のように表示されたら、「富士通サービスアシスタント」を取り出します。**

```
Eject CD-ROM.
Press Ctrl+ALT+DEL for power off
```

**7 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押します。**

**8 次のように表示されたら、【Enter】を押します。**

```
[Ctrl+ALT+DEL Push] -> Power off execute ok (ENTER)?
```

約 5 秒後に電源が切断されます。

機種によっては次のように表示され、自動的に電源が切断されない場合があります。

```
Please power off manually
```

電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押して電源を切ってください。

**エラーが発生しなかったときは**

「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（→ P.97）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

7

第 8 章

# 廃棄・リサイクルについて

# 1 ご不要になったときの廃棄・リサイクルについて

## 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

### 液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

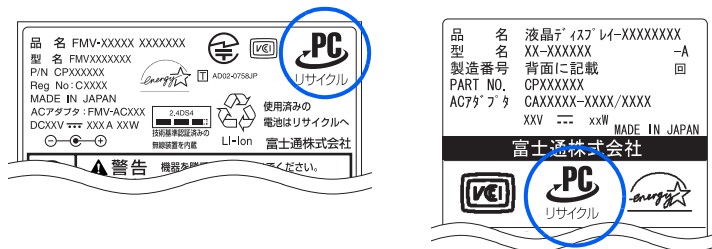
本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

### PC リサイクルマークについて

本製品の、パソコン本体の装置銘板およびディスプレイの装置銘板には、PC リサイクルマークが記載されています。
PC リサイクルマークが付いた使用済みパソコン本体およびディスプレイは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」にて、無償で回収・再資源化いたします。

**POINT**

**装置銘板と PC リサイクルマークについて**

装置銘板とは、パソコン本体やディスプレイの背面や下面に付いている、品名や型名などが記載されているシールです。PC リサイクルマークは、通常装置銘板に記載されていますが、機種により装置銘板とは別に、PC リサイクルマークのみ記載されたシールが付いている場合もあります。

（装置銘板は機種により異なります）

### 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申込みください。
受付窓口の電話番号、お申込み方法などについては『サポート & サービスのご案内』または AzbyClub ホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

### 法人、企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社「富士通リサイクル受付センター」をご利用ください。
詳しくは、ホームページ http://eco.fujitsu.com の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。
なお、「富士通パソコンリサイクル受付センター」は、個人のお客様専用受付窓口のため、ご利用いただけませんのでご注意ください。

## パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに入っているハードディスクという記憶装置には、お客様の重要なデータが記録されています。したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- ・データを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作を行う
- ・「ごみ箱を空にする」を使って消す
- ・ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ・リカバリを実行して、ご購入時の状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にはデータが見えなくなっているだけという状態です。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS からデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているのです。したがって、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
パソコンの廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアやサービス（有料）を利用することをお勧めします。また、廃棄する場合は、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊することをお勧めします。
なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、ソフトウェアなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。
このパソコンには、パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の一つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除や初期化と違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。
ただし、「ハードディスクデータ消去」で消去した場合でも、特殊な設備や特殊なソフトウェ

8

アの使用によりデータを復元される可能性はゼロではありませんので、あらかじめご了承ください。
DESKPOWER C90HW/F をお使いの方は、最初に『ホームサーバー機能　取扱説明書』→「第 7 章付録」→「1 補足情報」→「リサイクルについて」をご覧になり、ホームサーバー機能のハードディスクのデータ消去を行ってください。

## 「ハードディスクデータ消去」の使い方

「ハードディスクデータ消去」を実行する前に、次の点にご注意ください。

- 必要なデータはバックアップしてください。
- データ消去終了まで、数時間かかります。
- 途中で電源を切らないでください。ハードディスクが壊れる可能性があります。
- BIBLO の場合、必ず AC アダプタを使用してください。
- 周辺機器は取り外してください。
- 「リカバリディスク＆アプリケーションディスク1」を用意してください。
  DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/STをお使いの方は、「リカバリ起動＆ユーティリティディスク」を用意してください。
- ご購入時に取り付けられている内蔵ハードディスクのみ消去できます。

準備ができたら、次の手順にしたがって、「ハードディスクデータ消去」を実行します。

**1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

**2 キーボードの【F12】の位置を確認します。**

パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーやボタンを押せるようにしてください。

**3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、【F12】を押します。**

【F12】やボタンを軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。
しばらくすると、起動メニューが表示されます。

**4 「リカバリディスク＆アプリケーションディスク 1」（DESKPOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST をお使いの方は「リカバリ起動＆ユーティリティディスク」）をセットします。**

ディスクが認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

**5 【↓】を押して次の項目を選択し、【Enter】を押します。**

・DESKPOWER シリーズをお使いの方・・・・・・CD/DVD
・BIBLO シリーズをお使いの方・・・・・・CD-ROM ドライブ
しばらくすると、「リカバリメニュー」が表示されます。

**6 【↑】または【↓】を押して「ハードディスクデータ消去」を選び、【Enter】を押します。**

ハードディスクデータ消去に関する注意事項が表示されます。

**7 内容をよくお読みになり、同意していただいた場合は、【A】を押します。**

書き込みエラー発生時の処理を選択する画面が表示されます。

**8 内容をよくお読みになり、エラー発生時に処理を中断する場合は【E】を、エラーをスキップして消去を続ける場合は【S】を押します。**

ハードディスクの情報と、消去手順中の注意が表示されます。

**9 内容をよくお読みになり、消去を実行してもよい場合は、【Y】を押します。**

データ消去が始まります。

**10**「データ消去が完了しました。」と表示されたらリカバリディスクを取り出し、次の方法で電源を切ります。

・DESKPOWER シリーズの場合は、電源（パソコン電源）ボタンで電源を切ります。
・BIBLO シリーズの場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ります。

### 法人、企業のお客様へ

弊社では、法人・企業のお客様向けに、専門スタッフがお客様のもとへお伺いし、短時間でデータを消去する、「データ完全消去サービス」をご用意しております。
消去方法は、専用ソフトウェアによる「ソフト消去」と、消磁装置による「ハード消去」があります。

| ソフト消去 | 弊社標準と定めている２回書き（ランダムデータ＋０データ）から海外規格（NSA, DoD・・・）に対応 |
|---|---|
| ハード消去 | 消磁装置による磁気破壊（媒体表面水平磁力 10500 ガウス） |

消去証明として富士通が消去証明書を発行し、消去済フォログラフシールを対象ディスクに貼付して、納品物とします。

詳しくは、ストレージ統合サービス（http://storage-system.fujitsu.com/jp/service/）をご覧ください。
お問い合わせ／お申し込み先　メールアドレス：fbprj@support.fujitsu.com

## 使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

### 個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

### 法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

8

# 使用済みバッテリの取り扱いについて［DESKPOWER を除く］

- リチウムイオン電池およびニッケル水素電池のバッテリパック、バッテリユニットは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済みバッテリは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

バッテリの仕様については、『パソコンの準備』の「仕様一覧」、またはバッテリの取扱説明書をご覧ください。
バッテリの取り外し方については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「周辺機器」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。

## 個人のお客様へ

使用済みバッテリは、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従って廃棄するか、または「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の販売店などに設置してあるリサイクル BOX に入れてください。
詳細は、社団法人電池工業会小型二次電池再資源化推進センターのホームページ（http://www.JBRC.com/）をご覧ください。

弊社は JBRC（小型二次電池再資源化推進センター）に加盟し、リサイクルを実施しています。

## 法人・企業のお客様へ

使用済みバッテリを廃棄する場合は、富士通株式会社環境本部（電話：044-754-3411）にお問い合わせください。

Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

Ni-MH

このマークは、ニッケル水素電池のリサイクルマークです。

# 索引

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！

（サービスアシスタント）のトップ画面 → 検索
キーワードを選ぶ

## 記号



## A



## B



## C



## E



## F



## H



## I



## M



## N



## O



## P



## W



## あ行



## か行



［DESKOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST をお使いの方］
★印の付いたキーワードは、『別冊 ＦＭＶ 活用ガイド（仮想ディスク編）』をご覧ください。

［DESKOWER C70H7/C、BIBLO MG75H/ST をお使いの方］
★印の付いたキーワードは、『別冊 ＦＭＶ 活用ガイド（仮想ディスク編）』をご覧ください。

FMVをお買い上げの方だけの

# うれしい特典!!

特典 2 ダイヤルアップだってしっかりおトク!!

無制限コース

@nifty月額料金が

最大2カ月間 0円!!

対象者 同梱の「@nifty入会マニュアル」P.4に記載のオンラインサインアップ、巻末の「入会申込書」または「@niftyブロードバンド導入ご相談窓口」で、2004年12月31日までにアット・ニフティに新規にお申し込みをされた方が対象です。

特典 1 ブロードバンドがとってもおトク!!

アット・ニフティの

光ファイバー/ADSL

にお申し込みいただくと!!

初期費用が

@nifty月額料金が

最大5カ月間 0円!!

対象者 同梱の「@nifty入会マニュアル」P.4に記載のオンラインサインアップまたは、下記の「@niftyブロードバンド導入ご相談窓口」で、2004年12月31日までに光ファイバー/ADSLに新規にお申し込みをされ、2005年3月31日までに開通された方が対象です。

ブロードバンドやサービス内容、特典について詳しくは、パソコンに同梱の「@nifty入会マニュアル」または「@nifty特典のご案内」チラシをご覧ください。

お電話の際に、「富士通U9」を見たとお伝えいただくと特典が適用されます。

@niftyブロードバンド導入ご相談窓口 受付時間: 毎日9:00~21:00

0120-816-042

(携帯電話・PHS・海外の場合) 03-5753-2374